SONY

3-222-218-**03** (1)

コードレス留守番電話機

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

えらんでメロディ 和音

77セレクティ搭載！
0077市外電話へ自動接続
0077 SELECTY

ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ 対応

名のってる

SPP-VC111

SONY コードレス留守番電話機 SPP-VC111

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源アダプターや充電台のプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、電源アダプターや充電台などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災　感電

行為を禁止する記号


禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く　強制

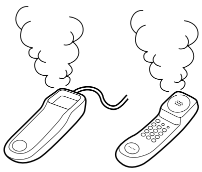
親機から変な音・においがしたら、煙が出たら



↓

❶電源アダプターをコンセントから抜く
❷電話回線コードを抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する
（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

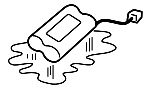
子機・充電台から変な音・においがしたら、煙が出たら



↓

❶子機なら、バッテリーをはずす
充電台なら、電源プラグをコンセントから抜く
❷お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する
（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

バッテリーパックから液が漏れたら



↓

- すぐに火気から遠ざける
- 目に入った場合は、きれいな水で洗った後、すぐに医師に相談する
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する
（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

目次　初めてお使いになるかたは、まず「設置と接続」（☞10ページ）をお読みください。

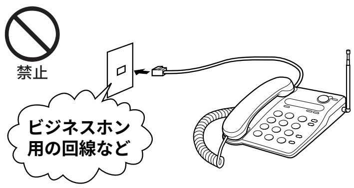
⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの原因となります。

ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などに接続しない

家庭用電話をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に接続すると必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
回線の種類などをお確かめのうえご使用ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源アダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本機は国内専用です

電源アダプター・充電台は交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

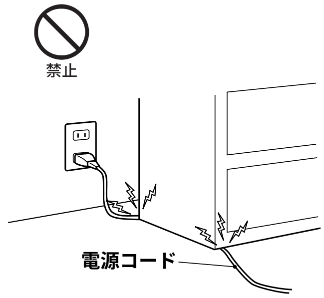


電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグまたはアダプター本体を持って抜く。
- 電源コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



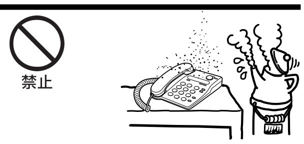
内部を開けない

故障・感電・火災の原因となります。 お客様が本機の分解や改造をすることは法律で禁止されています。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



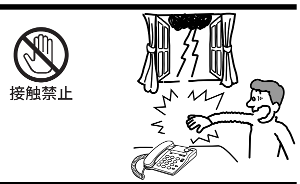
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、本機、電話回線コード、電源アダプター、充電台に触れない

感電の原因となります。



電子レンジや高圧容器に、バッテリーパック、電話機本体や充電台を入れない

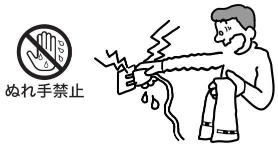
バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、電話機本体、充電台の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。



⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグまたは電源アダプターに触らない

感電の原因となることがあります。

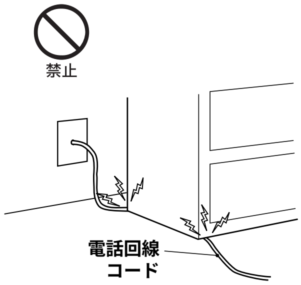


電話回線コードを傷つけない

電話回線コードを傷つけると、感電の原因となることがあります。

- 電話回線コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電話回線コードを抜くときは、必ずプラグのツメを押さえて抜く。
- 電話回線コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電話回線コードが傷んだら、新しいものにお取り替えください。詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



医療機器の近くで使用する場合は必ず使用許可を得る

本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず使用許可を得てください。



お手入れの際、電源プラグまたは電源アダプターを抜く

電源プラグまたは電源アダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



壁にしっかり取り付ける

壁に取り付ける場合は、機器の重みにより落下しないよう堅固に取付・設置してください。けがの原因となることがあります。



幼児の手の届かないところに置く

小さい部品や付属品を幼児が誤飲する恐れがあります。



スピーカー部や充電台に磁気カード類を近づけない

キャッシュカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気を使用したカード類をスピーカー部や充電台に近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電台以外で充電しない。
- 火の中に入れない。電池の＋と－端子を金属などでショートさせたり、分解、加熱しない。コイン、ヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。
- 水、雨水、海水などで濡れた電池を充電したり、使用しない。
- 電池内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 指定された電池を使用する。
- 電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

⚠注意

- コネクターを正しい向きで差し込む。コネクターのコードはねじらない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 付属のバッテリーパックの充電温度範囲は5°C～35°Cです。この温度範囲以外で使用すると、充電池の液が漏れたり、発熱する原因となることがあります。
- ニカド電池はそのまま廃棄しないで下記の「リサイクルのお願い」に従ってください。

リサイクルのお願い

Ni-Cd

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会　TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

この説明書の読みかた

本機をお使いになる前に、接続と初期設定の作業が必要です。この取扱説明書の10～18ページにある設置と接続の項目を必ずお読みになって、設置と接続と初期設定を確実に行ってください。

SPP-VC111には子機が1台付属されています。

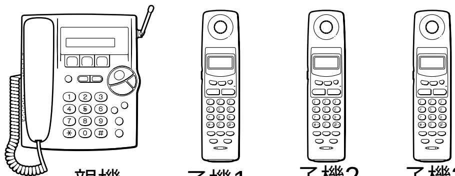
別売りの子機を増設していない場合



親機　子機

「子機1台の場合」と書いてある部分をお読みください。

別売りの子機SPP-HC333、HC111**または**
SPP-HG600**を増設している場合**



親機　子機1　子機2　子機3

別売り

「子機が2台以上ある場合」と書いてある部分をお読みください。

本書で使っているマーク

- ボイスガイドの内容
- 参照ページ
- ご注意または確認事項
- ちょっと一言（知っていると便利な情報）

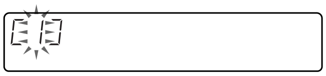
親機、子機　親機と子機で操作方法が違うときに、使っています。
どちらかで操作してください。

こんなことができます

- 親機、子機とも20件の電話番号を登録して簡単に電話をかけることができます。
  —**電話帳機能（☞40～49ページ）**
- 親機、子機それぞれで、最近かけた10件の電話番号が残り、それを電話帳に登録することもできます。 —**再ダイヤル機能（☞58ページ）**
- 指定した時刻に、子機でベルを鳴らすことができます。—**モーニングコール機能（☞62ページ）**
- 親機の受話器を置いたまま電話をかけることができます。—**オンフックダイヤル（☞29ページ）**
- テープ不要のDSP録音（Digital Signal Processor）で、簡単に留守録の用件再生やスキップなどができます。 **（☞74ページ）**
- おトクな市外回線を自動的に選んで電話がかけられます。また、「えらんでメロディ」サービスを利用して、お好きなメロディーを取り込み、呼び出し音として使うことができます。
  —77**セレクティ（☞86、92ページ）**
- 電話がかかってきたとき、子機のベルを親機よりも先に鳴らすことができます。
  —**優先着信（☞65ページ）**
- おやすみ中に電話がかかってきたとき、応答メッセージや相手の声を聞こえなくすることができます。 —**おやすみ応答設定（☞67ページ）**
- 正しく動作していないとき、その状態をお知らせします。—**自己診断表示機能（☞102ページ）**
- 設定や登録などの操作を音声（親機）で案内してくれます。
  —**登録メニュー・ボイスガイド（☞下記）**

親機

(flash/program)を押すと、下記の登録メニュー番号入力表示が出て、次のボイスガイドが流れます。



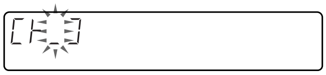
「1 電話帳登録、2 日時設定、3 おやすみ応答設定、4 暗証番号登録、5 ナンバー・ディスプレイ選択、6 応答メッセージ録音、7 77セレクティ、8 メロディー転送、＃（シャープ）おことわり先登録、＊（アスタ）その他の登録操作です。番号をひとつ押してください。」

このあと①～⑧または(＃) (＊)のダイヤルボタンを押すと、選択された登録の手順をボイスガイドでお知らせします。

(flash/program)の次に押すボタン	内容	参照ページ
①	電話帳登録	☞41
②	日付、時刻設定	☞15
③	おやすみ応答設定	☞67
④	暗証番号登録	☞79
⑤	ナンバー・ディスプレイ選択	☞30
⑥	応答メッセージ録音	☞75
⑦	77セレクティ	☞88
⑧	メロディー転送	☞69
(＃)	おことわり先電話番号登録	☞36
(＊)	その他の登録操作	☞下記

ちょっと一言
ボイスガイドは最後まで聞かずにすぐに次の手順に進んでも構いません。
また、①～⑧以外のボタンを使って登録する場合もボイスガイドを聞く必要はありません。

(＊)ボタン（その他の登録操作）を押すと、下記のその他の登録メニュー番号入力表示が出て、次のボイスガイドが流れます。



「1 ベル回数、2 自動応答設定、3 回線選択、4 応答メッセージ選択、 5 非通知理由音声呼び出し設定、6 着信メロディー設定。番号をひとつ押してください。」
このあと①～⑥のダイヤルボタンを押すと、選択された登録の手順をボイスガイドでお知らせします。

(flash/program)(＊)の次に押すボタン	内容	参照ページ
①	ベル回数設定	☞77
②	自動応答設定	☞68
③	回線選択	☞16
④	応答メッセージ選択	☞76
⑤	非通知理由 音声呼び出し設定	☞39
⑥	着信メロディー設定	☞70

ちょっと一言
ボイスガイドは最後まで聞かずにすぐに次の手順に進んでも構いません。

登録操作についてのご注意

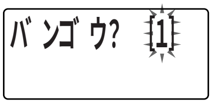
- 登録操作中に電話がかかってくると、登録は中止されます。受話器を取るか(on hook)を押して電話をかけようとしたときも、登録は中止されます。
- 20秒以上何も操作しないと登録は中止されます。
- 途中で登録操作をやめるには、(play/stop)を押します。

ちょっと一言

ボイスガイドの再生中にvolumeボタンを押すと、音量の調節ができます。

子機

(flash/program)ボタンを押すと、下記の登録メニュー番号入力表示が出ます。



(flash/program)の次に押すボタン	内容	参照ページ
(1)	電話帳登録	☞41
(2)または(＊)	ベル音量設定	☞66
(3)または(#)	モーニングコール設定	☞62
(4)または(talk)	クイック通話設定	☞64
(5)	メロディー設定	☞70

登録操作についてのご注意

- 登録操作中に電話がかかってくると、登録は中止されます。(talk)を押して電話をかけようとしたときも、登録は中止されます。
- 20秒以上何も操作しないと登録は中止されます。
- 途中で登録操作をやめるには、(off)を押します。

ナンバー・ディスプレイを使うと、以下のようなことができます。

● 電話に出る前に、かけてきた相手の電話番号などが分かります。

—ナンバー･ディスプレイ対応(☞30ページ)

● NTTの通信中情報通知サービスに対応、通話中に割り込み者の電話番号などが分かります。

—キャッチホン･ディスプレイ対応(☞56ページ)

● 二度と受けたくない電話(おことわり先は10件まで登録可能)を自動的に切ってくれます。

—おことわり機能(☞36ページ)

● かかってきた相手の電話番号などが日時とともに自動的に10件まで残ります。

—着信記録(☞32ページ)

● 着信記録の検索中に留守番電話の用件を簡単に再生できます。

—ダイレクト用件再生(☞35ページ)

● 非通知のおことわり登録ができます。

(☞37ページ)

電話帳機能とあわせて使うと

● 電話帳に登録してある相手の呼び出し音を名前や宛先に変えて使うことができます(親機)。

—音声呼び出し機能(☞50ページ)

● 電話帳に登録してある人からの電話は、ベルの鳴りかたが変わります。

—着信音鳴り分け機能(☞35ページ)

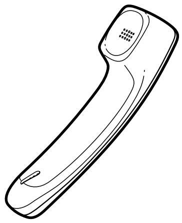
● 電話帳、着信記録、再ダイヤルを検索すると、電話帳の呼び出し音声が確認できます(親機)。

—電話帳･着信記録･再ダイヤル音声確認(☞47ページ)

設置と接続の前に

箱の中身を確かめる

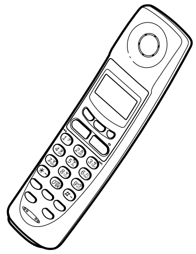
受話器



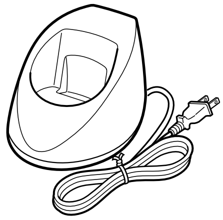
親機



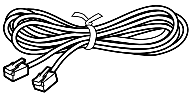
子機



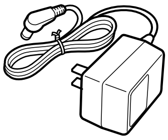
充電台



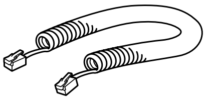
電話回線コード
（長さ2m、6極2芯）



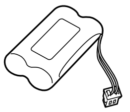
電源アダプター
（コード長さ1.8m）



受話器コード



バッテリーパック



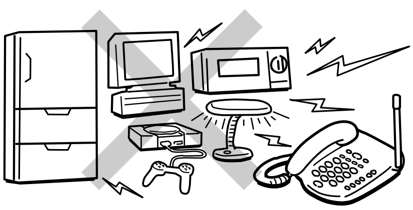
- 取扱説明書
- 保証書
- ソニーご相談窓口のご案内
- 「77セレクティ」パンフレット（1式）

親機の置き場所について

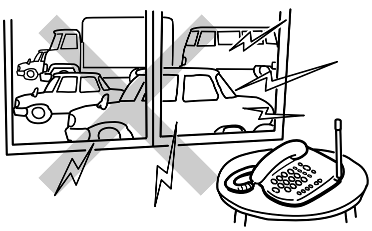
- コードレス電話機は、親機と子機の間で電波を使って交信します。磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音が入ったり、通話が切れたりすることがあります。
  次のような場所では使用しないでください。

ー 妨害電波を発生する恐れがあるものの近く

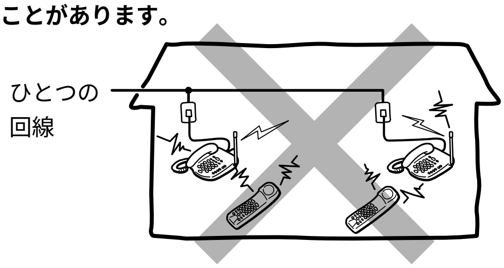
テレビゲーム機、パソコン、テレビ、ビデオ、ステレオ、電子レンジ、冷蔵庫、こたつ、無線機、インバーター式蛍光灯、携帯電話の充電器など。

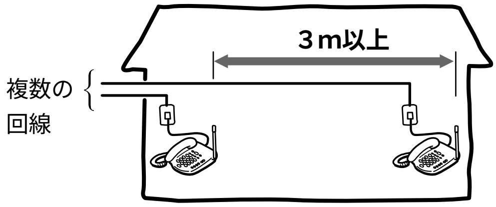


ー 交通の激しい道路の近く



- 2組以上のコードレス電話機（親機を2台以上）をお使いの場合は、
  - **ひとつの電話回線につなぐと、正常に動作しないことがあります。**
  - **複数の電話回線（異なる電話番号）につなぐときは、3m以上離す。**



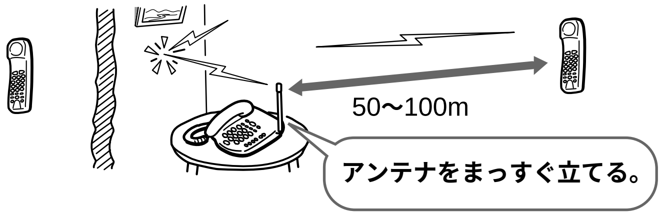


- ターミナルアダプターのアナログポートに、複数のコードレス電話機をつなぐ場合は、親機間を3m以上離してください。

ご注意
- この電話機は、コードレス電話、留守番電話として使うために、電源が必要です。電話回線と家庭用電源コンセントの両方につなぐことができる場所を選んでください。
- 次のような場所には置かないでください。誤動作、変形、変色、故障の原因となることがあります。
  - 直射日光の当たる場所
  - 熱い場所（ストーブなどの暖房機の近く）、極端に寒い場所
  - 不安定な場所、振動の多い場所
  - 湿気の多い場所
  - 風通しの悪い場所、ほこりの多い場所
- 雑音が大きいときは、親機の設置場所を変えてみてください。
- 放送局の近くで使う場合やラジオ放送が混信するときは、お買い求めの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

子機の通話範囲について

親機から約50〜100メートルの範囲で使えます。子機が2台以上ある場合、子機間通話は子機が親機から約25〜50メートルまでの範囲で使えます。ただし、使用環境（コンクリート壁、金属の扉、金属箔のついた断熱材など）によって通話範囲は左右されます。初めてお使いのとき、使用できる範囲をご確認ください。



子機が親機から離れすぎていると

通話できないことがあります。子機から「ピッ・ピッ・ピッ…」という音（圏外警告音）が出たら、通話できる距離まで親機に近づいてください。約15秒以内ならそのまま通話できます。離れすぎたままでいると通話が切れてしまいます。

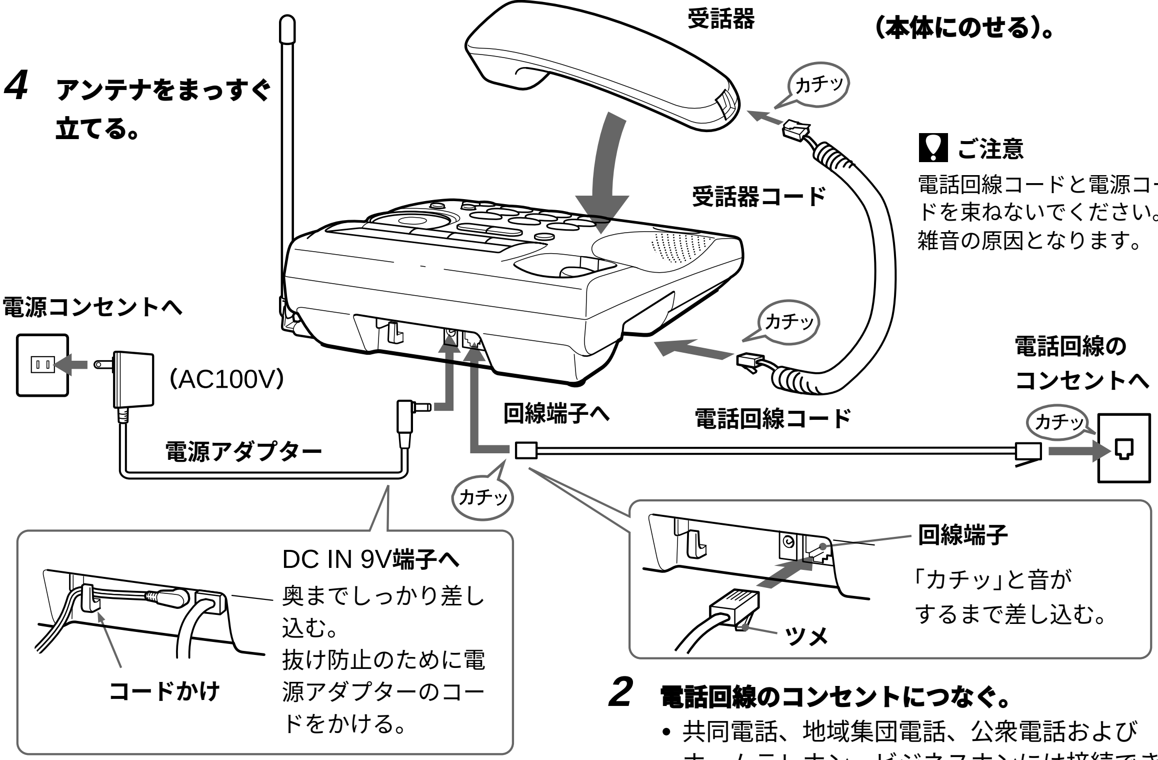
準備1: 親機を準備する

親機をつなぐ

電話回線と家庭用電源コンセントにつなぎます。

1 受話器を本体につなぐ（本体にのせる）。

4 アンテナをまっすぐ立てる。



ご注意
電話回線コードと電源コードを束ねないでください。雑音の原因となります。

3 電源コンセント（AC100V）につなぐ。

ISDN回線のターミナルアダプターをご利用のかたへ
ターミナルアダプターの仕様によっては、本機との接続に不具合が生じる場合があります。
詳しくは、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。

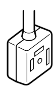
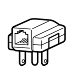
- 1つの回線に複数の電話機をつなぐ場合は14ページをご覧ください。

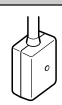
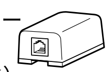
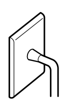
2 電話回線のコンセントにつなぐ。

- 共同電話、地域集団電話、公衆電話およびホームテレホン、ビジネスホンには接続できません。
- 構内交換機（PBX）に接続すると、「内線ベルが鳴ったとき電話が切れる」など、正しく動作しないことがあります。詳しくはお使いの構内交換機のメーカーにお問い合わせください。
- コンセントの形が合わないときは、別売りアクセサリーが必要です。（☞下記「電話回線のコンセントの種類」）

電話回線のコンセントの種類

電話回線のコンセントには以下の4種類があります。
ご自宅のコンセントに合った方法で接続してください。

コンセントの型	接続に必要なソニーの別売りアクセサリー
モジュラー 	不要（そのままつなぐことができます）
3ピンジャック 	テレホンモジュラーアダプターTL-30 

コンセントの型	接続に必要なソニーの別売りアクセサリー
直付け型ローゼット 	テレホンモジュラーローゼットTL-32CRなど（取り付け工事が必要*） 
埋め込み 	テレホンモジュラージャックコンセントTL-31（取り付け工事が必要*） 

* 電話工事担任者による工事が必要です。お買い上げ店かソニーサービス窓口、またはNTT（局番なしの116番）へご依頼ください。

つづく→

電源アダプターを接続すると

約30秒間、留守番電話の初期設定が行われます。

↓

初期設定が行われている間は使えません。
「ピー」と鳴るまでお待ちください。

↓

「ピー」と鳴ります。

「この電話機は、お取り付けいただくだけで、KDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は、次の操作を行ってください。登録*、7、#（シャープ）と押して液晶の「0077」マークが消灯したことを確認してください。」続けて、「日時を設定してください。」が2回聞こえます。

* 登録ボタンとは、(flash/program)ボタンのことです。

↓

必ず15ページ「準備2:日付、時刻を合わせる」を行ってください。

データ受信が終わると、表示窓の「0077」が点灯し、77セレクティがご利用いただけます。

ご注意

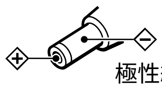
電話回線コードを接続しないで電源アダプターを接続すると、デモモード（色々な表示が次々に出て、ボタンを押しても操作できない）が始まることがあります。この場合、電話回線コードを接続してしばらくすると、デモモードは止まり初期設定が行われます。

ちょっと一言

本機はお買い上げ時にナンバー・ディスプレイが解除されています。ナンバー・ディスプレイを使うかたは設定してください（☞30ページ）。

電源アダプターの接続について

- この製品には、付属の電源アダプター（極性統一型プラグ・EIAJ*規格）をご使用ください。付属以外の電源アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一型プラグ

- プラグは最後まで押し込んでください。
  ＊日本電子機械工業会の略

ご使用にあたってのお願い

本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は、不要となります。詳しくは局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

0077（77セレクティ）とは

「77セレクティ」は、親機をつなぐだけで、市外へ電話をかける場合、ダイヤルした相手先の電話番号と、曜日、時間帯により、KDDIの0077市外電話サービスとNTT回線のうち、通常通話料金のおトクな回線を本機が自動的に選択してくれる機能です。
電話をかけるとき、「0077」をダイヤルする必要がありません。
これまで通り市外局番からダイヤルするだけで、そのままKDDIの0077市外電話サービスがご利用いただけます。

- 親機をつなぐだけで、通常約1時間後にはそのままご利用いただけます。

本機には77セレクティがついています。77セレクティは、親機をつなぐだけで、そのままご利用いただけます。登録料などはかかりません。0077市外電話をご利用になった通話料金のみKDDIから請求されます。

- NTTの基本料金は従来通りNTTから請求されます。
- 77セレクティのお問い合わせは、下記にご連絡ください。

KDDI **カスタマサービスセンター**

0077-772 **（無料）**

受付時間 9:00〜21:00
（土・日・祝も受付中）

- 77セレクティについて、詳しくは86ページをご覧ください。

準備1: 親機を準備する（つづき）

ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

ご注意

- 1つの回線にはナンバー・ディスプレイ対応の電話機は1台しかつなげません。
  2台以上お使いのときは、本機以外の電話機はナンバー・ディスプレイが機能しないように設定してください。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用できない場合があります。詳しくは、NTTにお問い合わせください。

- **他の電話機をお使いの場合**

相手が電話をかけると

本機

ベルは鳴らない。
電話を取っても、通話できません。電話を切ってお待ちください。

↓

ベルが鳴って、表示窓に電話番号などが表示される。
電話を取ると通話できます。

データ受信中

他の電話機

短い間隔でベルが鳴る。
電話を取っても通話できません。（このときは、すぐに受話器を戻してお待ちください。）ここで電話を取ると、本機のナンバー・ディスプレイ機能は使えません。

↓

ふつうにベルが鳴る。
電話を取ると通話できます。

本機以外に留守番電話をご使用の場合は、他の電話機の留守番機能が働かないようにしてください。留守番応答すると、本機のナンバー・ディスプレイ機能が使えない場合があります。

- **FAX、モデムとの接続**
  機種によっては、本機、FAX、モデムの動作が制約されたり、本機と接続できない場合があります。詳しくは、FAX、モデムのメーカーにお問い合わせください。
- **ISDN回線のターミナルアダプターとの接続**
  ナンバー・ディスプレイ機器対応のターミナルアダプターをお使いください。詳しくは、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。
- **新電電アダプター（回線自動選択装置）との接続**
  アダプターの事業者にお問い合わせください。
- **ホームテレホン、ドアホンアダプター、構内交換機（PBX）など**
  接続できません。詳しくは、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

同じ回線に他の電話機をつないだ場合の取り次ぎについて

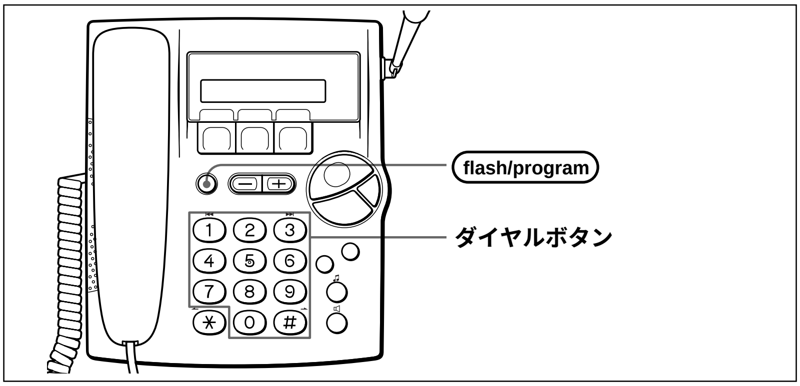
1つの回線で複数の電話機コンセントがある場合、または別売りの電話機アクセサリーを使って1つの回線から複数のジャックに分岐する場合は、同じ回線に本機と他の電話機を同時につなぐことができます。その際、以下の点にご注意ください。

- **本機の親機または子機で保留（☞22ページ）にした電話に他の電話機で出るには**
  本機の親機で保留にした場合は、必ず受話器を戻してください。
  本機の子機で保留にした場合は、必ず充電台に戻すか（off）を押してください。
  その後で他の電話機の受話器を取ると、保留は自動的に解除されます。（電話機の種類によっては自動的に解除されない場合もあります。）
- **他の電話機で取った電話を本機の親機または子機に取り次いだ場合**
  その電話をさらに子機（または親機）に取り次ぐ（☞23ページ）ときは、必ず（hold/message transfer）（親機）（hold/erase）（子機）を押してから（intercom）を押してください。

準備2: 日付、時刻を合わせる

年、月、日、時刻の設定が必要です。

親機で操作します。



ご注意

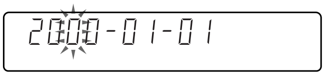
- 時計の精度は1ヵ月に±60秒程度の誤差があります（25°Cにて）。
- 長い停電のあとは、2000年1月1日にリセットされます。
  日付、時刻を設定し直してください。
- 日時設定を行わないと、モーニングコールの時刻設定（☞62ページ）はできません。

ちょっと一言

- 手順3で時刻を間違えて入力したときは、(＊)、(＃)で点滅しているところを動かして、正しい時刻を上書きすることができます。
- 手順4は、テレビなどの時報に合わせて(flash/program)を押すと便利です。手順3と4の間は約60秒待つことができます。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(2)を続けて押す。**

「日時設定」

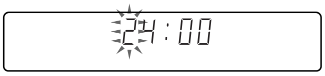


2 **年月日を押す。**

年は、西暦の末尾2桁を入力します。

ひと桁の月日を設定するときは前に「0」を付けます。

例：2000年12月5日は「0」「0」「1」「2」「0」「5」と押す。

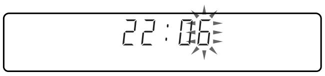


時刻表示になります。

3 **時刻を押す。**

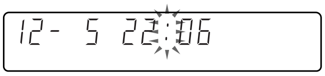
24時間制です。ひと桁の時刻を設定するときは前に「0」を付けて4桁を入力します。

例：午後10時6分は「2」「2」「0」「6」と押す。



4 **(flash/program)を押す。**

「ピー」と鳴り、時計が動き始めます。



時刻がずれると、77セレクティが正しく働かない場合がありますので、定期的に時刻を確認し、ずれていたら正しい時刻に設定し直してください。

準備3: 電話がかかることを確かめる

電話回線には3種類あります。この種類は、NTTとの回線契約により異なります。初めてお使いになるとき、親機を接続するだけで自動的に回線の種類を検出し設定します（自動回線選択）。

親機で操作します。

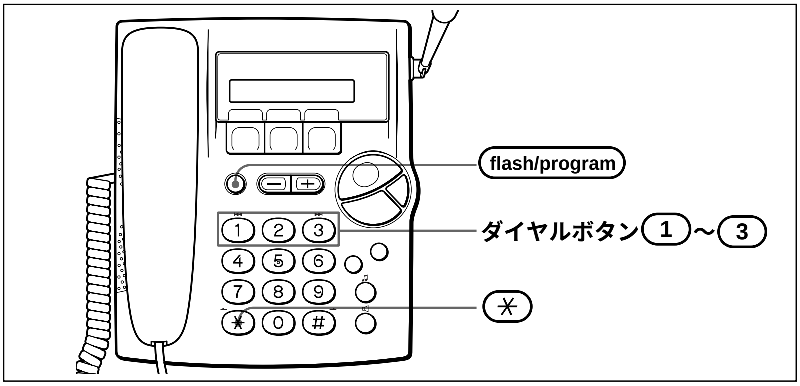
電話をかけてみる

117（時報）や177（天気予報）などにかけてみてください。（有料）

かかったときは下記の回線選択は不要です。17ページの「準備4：子機を充電する」に進んでください。

かからなかった場合は、下記の手順で回線選択を行ってください。

電話がかからないときは（回線選択）

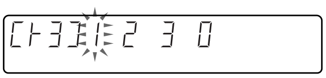


💡 **ちょっと一言**

- 以下のような場合、設定が必要になります。
  - 引っ越しなどで、電話会社との回線契約を変更されたとき
  - ファクシミリにつないだとき
  - 構内交換機（PBX）につないだとき
- 回線の種類は3つあります。手順2でそのうちの1つを選びます。
  - (1) 低速ダイヤル回線（10PPS*）
  - (2) 高速ダイヤル回線（20PPS*）
  - (3) プッシュ回線
  - * PPS（Pulse Per Second）：ダイヤル速度の単位です。
- 手順2で(0)を選ぶと自動回線選択に戻ります。（自動回線選択中は、ランプが点滅します。）

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(✱)、(3)を続けて押す。**

「回線選択」



2 **(3)を押す。**



3 **(flash/program)を押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

4 **電話をかけてみる。**

電話がかかったらプッシュ回線です。

電話がかからなかったら

手順2で(2)を押します。電話がかかったら、高速ダイヤル回線です。

かからなかったら、低速ダイヤル回線です。手順2で(1)を押します。

準備4: 子機を充電する

⚠危険 • バッテリーパックに巻かれているビニールを、はがしたり傷つけたりしないでください。
• バッテリーパックのコードをねじらないでください。

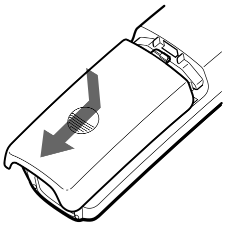
ちょっと一言
子機の充電中に電話をかけるときは親機でかけてください。

初めてお使いになるときは、まず付属のバッテリーを約10時間充電してください。

充電のしかた

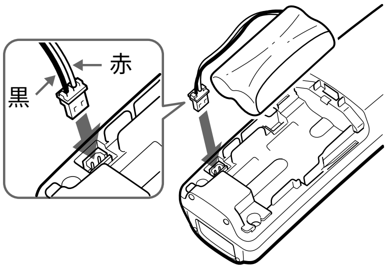
1 バッテリーを入れる。

①電池ぶたを開ける。



少し押しながらずらす。

②コネクターをしっかり差し込む。

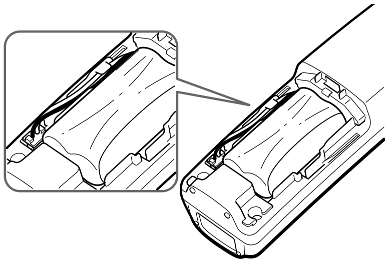


電池入れの指示通りの向きで、最後まで確実に差し込みます(はずすときは、コネクターを持って引き抜く)。

③バッテリーを入れる。

コードをコードかけにかけてください。

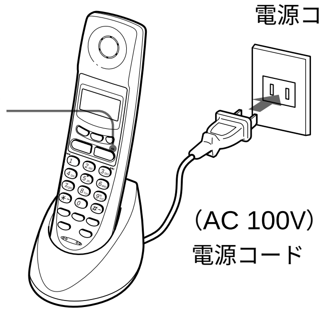
ご注意
コードはねじらないでください。



④電池ぶたを閉める

2 電源コンセントにつないだ充電台に、子機を置く。

in use/chargeランプが点灯し、充電が始まります。10時間以上そのままにしておいてください。



ボタン面を手前に向けて置いてください。

ご注意
- 充電中は充電台や子機が温かくなりますが、故障ではありません。
- 充電台の電源コードは束ねないでください。雑音の原因になります。

充電中は充電台の電源コードを抜かないでください。
子機をのせたまま充電台の電源コードをはずすと、子機が通話状態(talkボタンのランプが点灯)になります。この場合は、充電台を電源コンセントにつないでください。

バッテリーについて

子機は充電台の上に常に置いていなくても使えますが、長時間充電台から離しておくとバッテリーが空になってしまうので、通話後は充電台に戻すことをおすすめします。バッテリーが常に充電された状態でお使いになれます。

使用可能時間について（充分に充電されたバッテリーの場合）

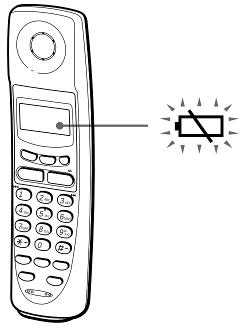
通話しているとき： 連続約6時間
充電台に戻さずに電話を待っているとき：約240時間（約10日間）
長期間お使いにならないときは10時間以上充電してからバッテリーを抜いておいてください。

通話中にバッテリーが消耗したとき（表示窓に表示が点滅し、「ピッ・・・ピッ・・・」と鳴ったとき）は

次の方法で親機で通話できます。

1 子機の(hold/erase)を押す。
2 子機を充電台に戻すか(off)を押す。
3 親機の受話器を取り上げる。

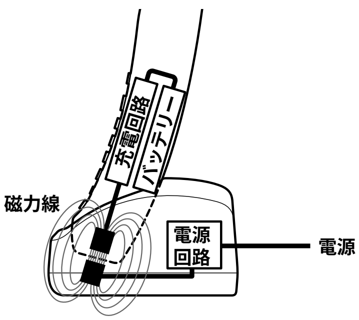
子機はその後充電台にのせておき、約10時間以上充電してください。



バッテリーの寿命について

- 子機のバッテリーは消耗品です。バッテリーの寿命は使いかたや使用頻度によりますが、1～2年が目安です。
- 充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなってきたら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリー（別売りのバッテリーパックBP-T50）にお取り替えください。詳しくは、販売店かソニーサービス窓口にお問い合わせください。
- バッテリーを長持ちさせるには、通話が終わるたびに子機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

充電台について



付属の充電台は、電磁誘導による、充電端子のない無接点充電方式を採用しています。

ご注意

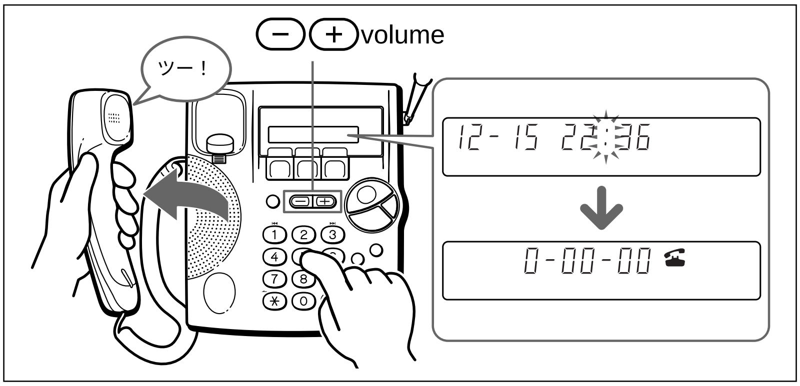
- 金属（コイン、クリップなど）を充電台の上に置かないでください。充電台や金属が熱くなることがあり危険です。
- 磁気に弱い物（キャッシュカード、テレホンカード、フロッピーディスクなど）は近づけないでください。充電台から出ている磁力線により、それらが使えなくなってしまうことがあります。
- ラジオを近くに置かないでください。
  ラジオから「ブーン」という雑音が聞こえることがあります。その場合は、ラジオの向きを変えるか、雑音のなくなる位置まで離してみてください。

電話をかける

つづく→

接続はお済みですか？（☞10ページ「設置と接続」）

親機でかける



ご注意

表示窓に「C 43」が出たら、子機が使われています。

受話器を取り「ツー」という音を確かめてから電話番号を押す。

通話が終わったら

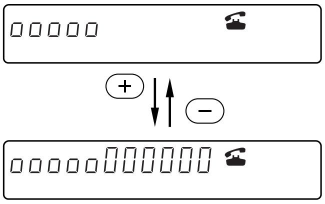
受話器を戻します。

受話音量を調節するには（標準←→大の2段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。

受話器を持って通話中に(+)（大）または(−)（小）volumeボタンを押します。

お買い上げ時は「標準」になっています。

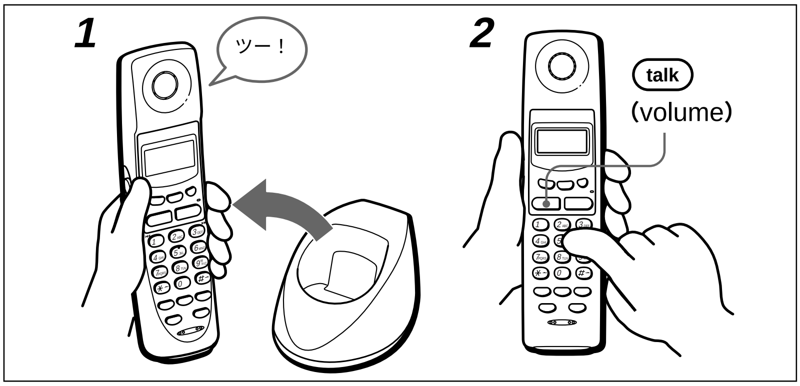


標準

大

電話をかける（つづき）

子機でかける



ちょっとー言

バッテリーを長持ちさせるためには、通話が終わるたびに子機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

ご注意

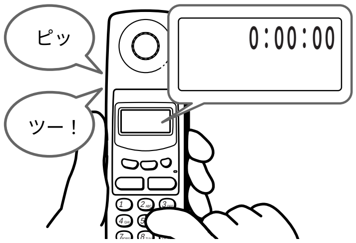
- 子機の充電中に充電台の電源コードを抜かないでください。電源コードをはずすと、子機が通話状態（talkボタンのランプが点灯）になります。
- (talk)を押したときに「ピーピー・・・」という音がした場合は、親機が使われているので、子機で通話できません。

1 **充電台から取る。**

充電台にのせていないときは

(talk)を押します。

2 **電話番号を押す。**



通話が終わったら

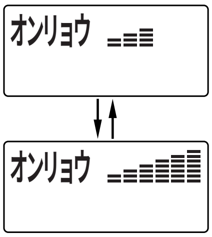
充電台に戻すか、(off)を押します。

受話音量を調節するには（標準←→大の2段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。

子機を持って通話中に(talk)(volume) を押します。

お買い上げ時は、「標準」になっています。

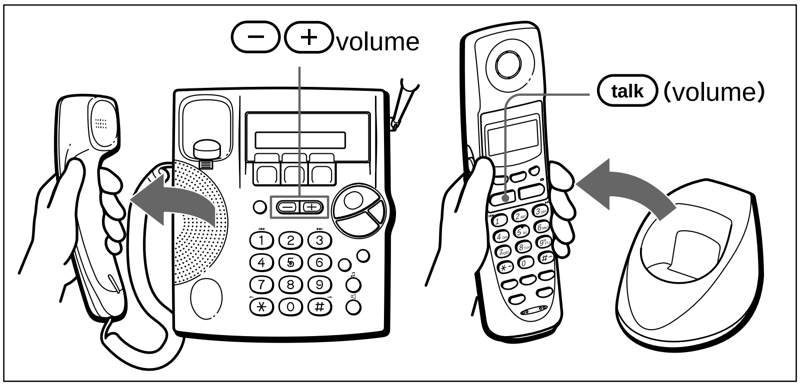


標準

大

(talk)を押すごとに切り換わります。

電話を受ける



ご注意

- 子機のベルは親機より1、2回遅れて鳴る場合があります。子機のベルが鳴り始めてから子機を取ってください。
- 子機の充電中に充電台の電源コードを抜かないでください。電源コードをはずすと、子機が通話状態（talkボタンのランプが点灯）になります。

ちょっと一言

バッテリーを長持ちさせるためには、通話が終わるたびに子機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

親機 **ベルが鳴ったら受話器を取る。**

子機 **ベルが鳴ったら充電台から取る。**

充電台にのせていないときは

ベルが鳴ったら(talk)を押します。



通話が終わったら

親機 受話器を戻します。

子機 充電台に戻すか、(off)を押します。

ベルが鳴っても電話に出ないと

15回ベルが鳴ると、「ただ今留守にしています、のちほどおかけ直しください。」のメッセージが流れます。

このメッセージを流さないようにする方法については、「電話の自動応答をやめる」（☞68ページ）をご覧ください。

キャッチホンが入ったときは

(flash/program)を押します。

もとの通話に戻るにはもう一度(flash/program)を押します。（詳しくは☞60ページ）

受話音量を調節するには（標準←→大の2段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。

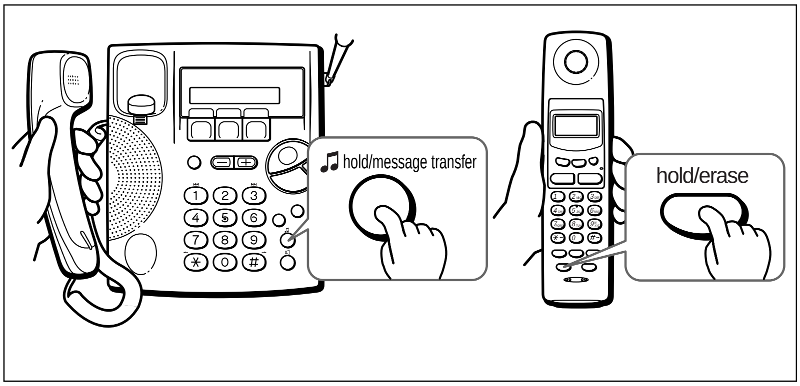
親機 受話器を持って通話中に(+)（大）または(−)（小）volumeボタンを押します。

子機 子機を持って通話中に(talk)(volume）を押します。

かける・受ける

通話の相手を待たせる（保留）

相手に待ってもらう間、メロディーが流れます。



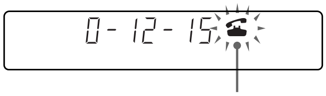
かける・受ける

ちょっと一言
- オンフックダイヤル中（☞29ページ）も同じように保留にすることができます。
- 同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。

親機で通話中に保留にする

ちょっと一言
- 右の手順1で保留にしたあと、受話器を戻しても電話は切れません。通話に戻るには受話器を取ります。
- 保留にしたあと、(intercom)を使って取り次ぐことができます（☞23ページ）。

1 **通話中に(hold/message transfer)を押す。**



点滅します。

2 **通話に戻るにはもう一度(hold/message transfer)を押す。**

親機で保留にした電話に子機で出るには

親機で保留にしたあと、受話器を戻します。子機を充電台から取るか(talk)を押すと、子機で出られます。

子機で通話中に保留にする

ちょっと一言
- 右の手順1で保留にしたあと、充電台に戻すか、(off)を押しても電話は切れません。通話に戻るには充電台から取るか(talk)を押します。
- 保留にしたあと、(intercom)を使って子機から親機へ取り次ぐことができます（☞24ページ）。また子機が2台以上ある場合は、子機から子機へ取り次ぐこともできます（☞25ページ）。

1 **通話中に(hold/erase)を押す。**
talkボタンのランプが点滅します。

2 **通話に戻るにはもう一度(hold/erase)または(talk)を押す。**

子機で保留にした電話に親機（または他の子機）で出るには

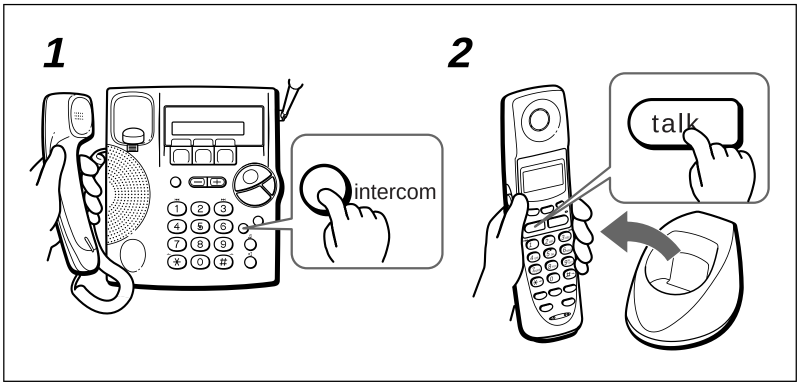
子機で保留にしたあと、充電台に戻す、または(off)を押します。親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。
受話器を取ると、親機で出られます。（他の子機で取る場合は充電台から取るか(talk)を押します。）

つづく→

親機から子機へ取り次ぐ

親機で取った電話を子機にまわすとき、親機と子機の間で話（内線通話）をしてから電話を取り次ぐことができます。





1 子機1台の場合：通話中に(intercom)を押す。
子機が2台以上ある場合：通話中に(intercom)を押してから、子機番号を1つ選んで押す。

子機1	(1)
子機2	(2)
子機3	(3)
すべての子機*	(#)

子機1台の場合

CALL　1☎

子機が3台ある場合

PUSH:1 2 3 H☎

* 最初に出た子機につながります。

電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

2 子機のベルが鳴ったら充電台から取る。充電台にのせていないときは、(talk)を押す。

ナイセンチャクシン

3 親機から子機へ電話をまわすことを伝える。

4 親機の受話器を戻す。

子機で外からの電話に出られます。

子機が出ないときは

もう一度(intercom)を押すと、もとの通話に戻れます。

ちょっと一言

同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 子機が2台以上ある場合、表示窓には「H（すべての子機）」とすべての子機番号が表示されます。
- (hold/message transfer)を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 親機で(intercom)を押したあと、受話器を戻すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。親機、子機どちらかが出れば外からの電話に出られます。
- 手順3のあとで子機が内線通話を切ると、親機で再び外からの電話に出られます。

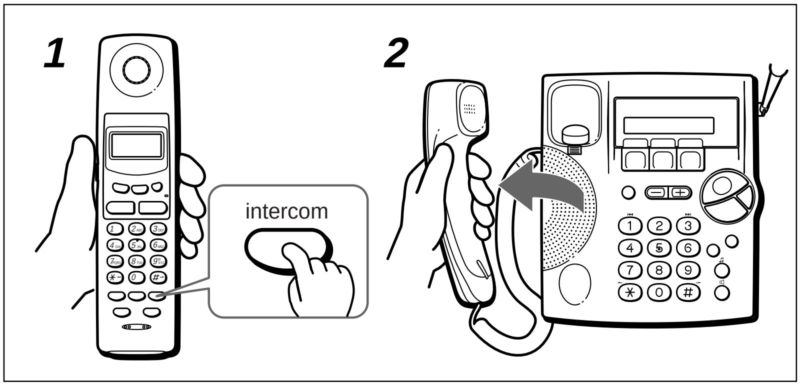
ご注意

親機から子機へ取り次いだ場合、子機に表示されるのは、子機で通話を始めた時点からの通話時間表示です。

子機から親機へ取り次ぐ

子機で取った電話を親機にまわすとき、子機と親機の間で話（内線通話）をしてから電話を取り次ぐことができます。





1 **子機1台の場合：通話中に（intercom）を押す。**
子機が2台以上ある場合：通話中に（intercom）（0）を押す。

```
オヤキヲ ヨビ ダ シ
```

電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

2 **親機のベルが鳴ったら受話器を取る。**
（オンフックダイヤル（☞29ページ）で受けることはできません。）

3 **子機から親機へ電話をまわすことを伝える。**

4 **子機を充電台に戻すか、（off）を押す。**
親機で外からの電話に出られます。

親機が出ないときは

もう一度（intercom）または（talk）を押すと、もとの通話に戻れます。

ちょっと一言
同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。

ちょっと一言
- （hold/erase）を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 子機で（intercom）を押したあと、充電台に戻すか、（off）を押すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。親機、子機どちらかが出れば外からの電話に出られます。
- 手順3のあとで親機が内線通話を切ると、子機で再び外からの電話に出られます。

ご注意
子機から親機へ取り次いだ場合、親機に表示されるのは、子機と親機の合計の通話時間表示です。

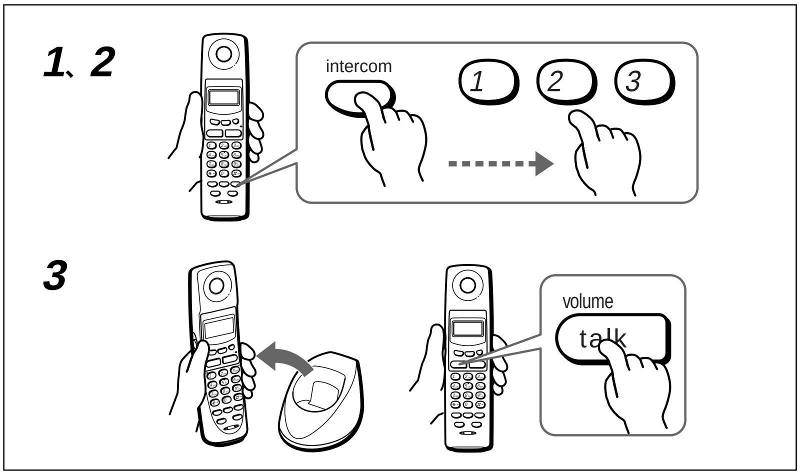
つづく→

子機から子機へ取り次ぐ（子機が2台以上ある場合のみ）

子機が2台以上ある場合は、子機で取った電話を他の子機に取り次ぐことができます。取り次ぐときにトランシーバー感覚で内線通話ができます。ただし、増設子機がSPP-HG600では、内線通話はできません。取り次ぎのみですので、呼び出された子機を取ると、すぐに外からの電話につながります。

電話を受けた子機で　　取り次ぎ先の子機で





ちょっと一言
同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。

ちょっと一言
- 子機が2台以上ある場合、手順2で、(#)（すべての子機と親機）を押すと、「イッセイ ヨビダシ」と表示されます。（増設子機SPP-HG600は、一斉呼び出しはできません。）
- (hold/erase)を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 取り次ぎ先の子機には取り次ぎ元の子機の番号が表示されます。
- 子機が2台以上ある場合、表示窓には親機の番号（「0」）と今話している子機以外の番号が表示されます。

1 **通話中に(intercom)を押す。**

子機が3台のとき（子機1の表示）

アイテ? 0 2 3 #

2 **子機番号を押す。**

例：子機1から子機2へ取り次ぐ場合、子機1で(2)を押す。

子機1　コキ2ヲ ヨビダシ

子機2　コキ1カラ ヨビダシ

電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

3 **ベルが鳴ったら、取り次ぎ先の子機を充電台から取る。充電台にのせていないときは、(talk)を押す。**

子機間で通話ができます（☞26ページ、「子機間通話をするには」）。増設子機SPP-HG600をお使いの場合は、取り次がれた子機で外からの電話に出られます。

4 **取り次ぎが終わったら、子機を充電台に戻す。**

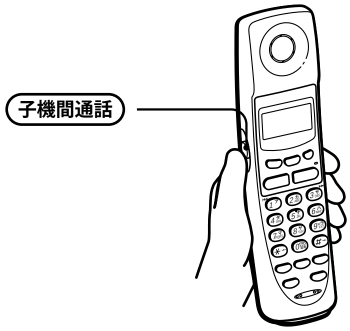
子機が出ないときは

もう一度(intercom)または(talk)を押すと、もとの通話に戻れます。

電話を取り次ぐ（つづき）

子機間通話をするには

トランシーバー感覚で（話すときはボタンを押して、聞くときはボタンを離して）子機間で通話できます。



内線呼び出しのベルが鳴ると

例：かけた子機を子機1、受ける子機を子機2とする

子機1

コキ2ヲ ヨビダシ

コキカンツウワ

「プププ」と鳴り続けます。

↓

（子機間通話）を押したままで「ピー」と鳴ったら、話す。

ソウシン

相手の声は聞こえません。

↓

話し終えたら、（子機間通話）を離す。

コキカンツウワ

「プププ」と鳴り続けます。

子機2

コキ1カラ ヨビダシ

ベルが鳴ったら充電台から取る。充電台にのせていないときは（talk）を押す。

コキカンツウワ

「プププ」と鳴り続けます。

↓

相手の声が聞こえる。

ジュシン

こちらの声は相手には聞こえません。

↓

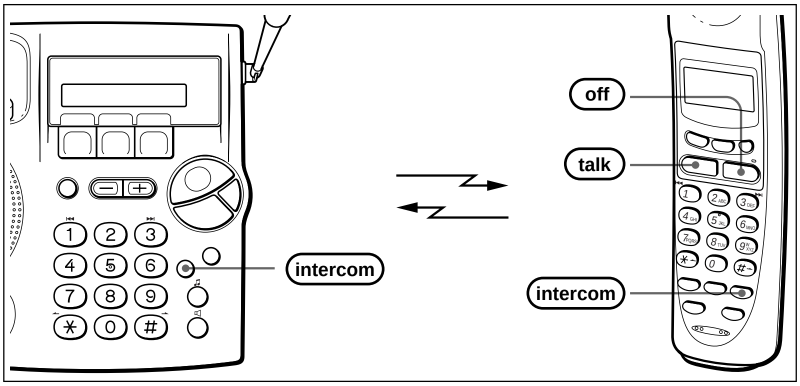
コキカンツウワ

「プププ」と鳴り続けます。

子機2から話すには、表示窓に「コキカンツウワ」と表示され、「プププ」と鳴っているときに、子機2で（子機間通話）を押したまま話します。話し終えたら子機2側の（子機間通話）を離します。

親機と子機、子機と他の子機の間で話す（内線通話）

つづく→



親機から子機にかけるには（子機1台の場合）

ちょっと一言
親機では受話器を取らずに(intercom)を押して、そのままオンフックダイヤルすることもできます。

1 **親機：受話器を取り、(intercom)を押す。**
子機のベルが鳴ります。

2 **子機：充電台にのせているときは：充電台から取る。**
充電台にのせていないときは：(talk)を押す。
子機と親機で通話できます。

3 **通話が終わったら、**
親機 **受話器を戻す。**
子機 **充電台に戻すか、(off)を押す。**

親機から子機にかけるには（子機が2台以上ある場合）

ちょっと一言
親機では受話器を取らずに(intercom)を押して、そのままオンフックダイヤルすることもできます。

1 **親機：受話器を取り、(intercom)を押す。**

2 **子機番号を押す。**

呼び出し先	押すボタン
子機1	(1)
子機2	(2)
子機3	(3)
すべての子機を同時に*	(#)

* 最初に出た子機に電話がつながります。

子機のベルが鳴ります。

3 **子機：充電台にのせているときは：充電台から取る。**
充電台にのせていないときは：(talk)を押す。
子機と親機で通話できます。

4 **通話が終わったら、**
親機 **受話器を戻す。**
子機 **充電台に戻すか、(off)を押す。**

親機と子機、子機と他の子機の間で話す（内線通話）（つづき）

子機から親機にかけるには

1 **子機が1台の場合：充電台から取り、(intercom)を押す。**
子機が2台以上ある場合：充電台から取り、(intercom)、(0)を押す。
親機のベルが鳴ります。

2 **親機：受話器を取る。**
子機と親機で通話できます。

3 **通話が終わったら、**
親機▶ 受話器を戻す。
子機▶ 充電台に戻すか、(off)を押す。

子機から他の子機にかけるには（子機が2台以上ある場合のみ）

ご注意
- 増設子機SPP-HG600は、子機どうしでの内線通話および一斉呼び出しはできません。
- 手順1で表示する子機番号は、操作中の子機以外のすべての子機番号を表示します。内線通話できない子機番号を押した場合は、エラー音が鳴り、「C61」が出たあと、もとの表示に戻ります。

ちょっと一言
子機間通話は、トランシーバー感覚の内線通話となります。詳しくは26ページの「子機間通話をするには」をご覧ください。

ただし、増設子機SPP-HG600では、内線通話はできません。

1 **充電台から取り、(intercom)を押してから、表示窓に出た子機番号を1つ押す。**

子機1	(1)
子機2	(2)
子機3	(3)
すべての子機と親機を同時に*	(#)

* 最初に出た子機または親機につながります。

子機のベルが鳴ります。

2 **子機のベルが鳴ったら充電台から取る。充電台にのせていないときは、(talk)を押す。**
子機と他の子機で通話できます。

3 **通話が終わったら、充電台に戻すか、(off)を押す。**

途中で内線の呼び出しを中止するには

もう一度(intercom)を押す。

内線通話中に電話がかかってきたときは

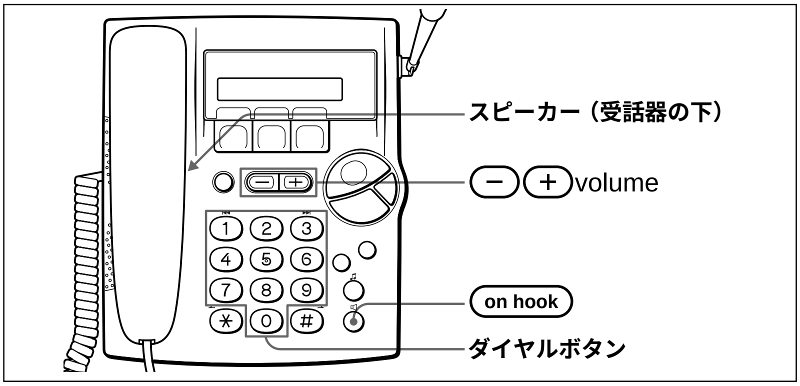
ご注意
- 子機では、ベル音の前に「ピー、ピー、ピー、ピー」という音が鳴ります。
- 子機で外からの電話を受けたときも、親機の受話器は戻しておいてください。

内線通話は中止されます。親機または子機で電話を受けてください。

親機▶ いったん受話器を戻してから電話を取ります。
子機▶ 子機のベルが鳴ってから(talk)を押します。

受話器を置いたまま電話をかける（オンフックダイヤル）

受話器を取らずに電話をかけ、呼び出し音や相手の声を聞くことができます。相手が電話に出たことを確認してから受話器を取ることができます。時報や天気予報など、相手の声を聞くだけのときにも便利です。



ご注意

- 相手側の音声が小さいと、しばらくの間、相手の声が聞こえないことがあります。
- まわりの音が騒がしいときは、相手の声が途切れることがあります。静かなところでお使いください。
- 押し間違えたときは（on hook）を押し、手順1からやり直してください。

1 **受話器を置いたままで、（on hook）を押す。**

「ツー」という音が聞こえます。

2 **相手の電話番号を押す。**

3 **相手の声が聞こえたら受話器を取って通話する。**

最後まで受話器を取らずに時報や天気予報などを聞いたときは、（on hook）をもう一度押して電話を切ってください。

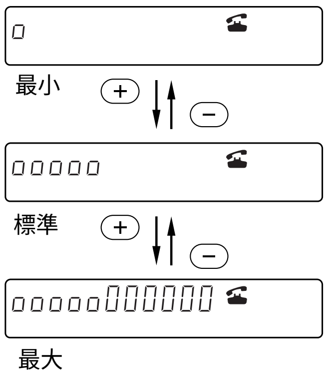
スピーカー音量を調節するには（小←→大の8段階）

ちょっと一言

オンフックダイヤル時のスピーカー音量と用件再生などの音量とは別々に調節できます。

オンフックダイヤル時のスピーカー音量、用件再生などの音量を調節します。スピーカーから音が出ているときに（+）（大）または（−）（小）volumeボタンを押します。

お買い上げ時は、「標準」になっています。



オンフックダイヤルと普通の通話を切り換えるには

- **オンフックダイヤル中に、普通の通話に切り換えるには**

  受話器を取り上げます。
- **受話器を持って通話中に、オンフックダイヤルに切り換えるには**

  （on hook）を押します。

  そのまま受話器を戻しても、電話は切れません。

ナンバー・ディスプレイを使うために

「ナンバー・ディスプレイ」サービスとは

電話に出る前にかけてきた相手の電話番号を専用の電話機などの表示窓に表示するNTTのサービスです。

「ナンバー・ディスプレイ」サービスを利用するには

ご注意

- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- 接続については、14ページをご覧ください。

1 NTTの「ナンバー・ディスプレイ」サービス（有料）に加入してください。

ナンバー・ディスプレイに関するお問い合わせは、局番なしの116番におかけください。

2 ナンバー・ディスプレイの設定をします。

本機はNTTの「キャッチホン・ディスプレイ」サービスに対応しています。詳しくは56ページをご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを設定するには

お買い上げ時にはナンバー・ディスプレイは解除になっています。

1 受話器を置いたままで、(flash/program)、(5)を続けて押す。

「ナンバー・ディスプレイ選択」

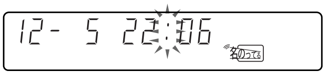


2 (1)を押す。



3 (flash/program)を押す。

「ピー」と鳴り、確認のため、「設定しました」と聞こえます。
表示窓に「名のってる」が点灯します。



ISDN回線のターミナルアダプターに接続している場合

ターミナルアダプター側のスイッチをアナログ回線に切り換える必要があります。詳しくはターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイを再び解除するには

上の手順2で(0)を押します。
(flash/program)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のため、「設定を解除しました」と聞こえます。
表示窓の「名のってる」が消灯します。

ナンバー・ディスプレイ情報の受信について

回線事情や雑音によってナンバー・ディスプレイの情報が正しく受信されない場合、電話番号が表示されません。このとき、自己診断機能により「C74」と表示されますが、本機は正常に動作しているので、通常通りお使いいただけます。

電話がかかってきたときの表示

	親機の表示	子機の表示
相手の電話番号が、電話帳に登録してある電話番号と一致しない場合	03XXXX2233	03XXXX5678
相手の電話番号が電話帳に登録してある電話番号と一致した場合	03XXXX5678	フジ ノユミ
公衆電話からかけてきた場合	-C-	コウシュウデ ンワ
番号通知できない地域や回線からかけてきた場合 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*	-O-	ヒョウジ ケンガ イ
「184」をつけてかけてきた場合 「通常非通知（回線ごと非通知）」の電話からかけてきた場合 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*	-P-	ヒツウチ
本機がナンバー・ディスプレイ未加入／手続き中、または本機のナンバー・ディスプレイ「切」の場合	12- 5 22:06	チャクシン
番号データの受信に失敗した場合	C74	C74
おことわり登録している電話番号と一致した場合	03XXXX5678 おことわり	

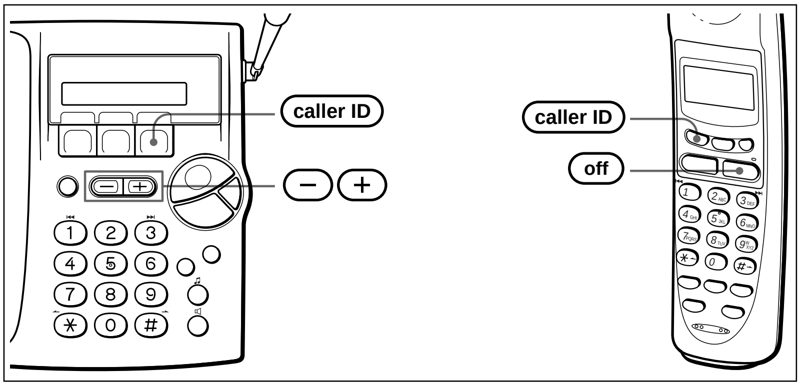
* 携帯、PHSは、「-P-」「ヒツウチ」または「-O-」「ヒョウジケンガイ」と表示される場合があります。詳しくは、携帯、PHSの契約会社にお問い合わせください。

ご注意

表示窓に「-P-」または「ヒツウチ」と表示される相手が電話をかけてきてもベルは普通に鳴ります。ベルを鳴らさずに自動的に切るようにするためには、37ページをご覧になって「非通知」をおことわり登録してください。

ナンバー・ディスプレイを使う

着信記録を確認する



💡 **ちょっと一言**
着信記録から電話帳に登録することもできます。詳しくは、「着信記録から登録する」（☞43ページ）をご覧ください。

1 **親機** **通話を切った状態で、caller IDを押す。**

最新の着信記録が表示されます。

03XXXX2233

20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときはもう一度caller IDを押してください。

2 **+を押す。**

押すたびに新しい着信記録から順に10件まで確認できます。

呼び出し音声が録音（☞54ページ）または登録（☞51、53ページ）された電話番号と一致する着信記録を表示すると、呼び出し音声が聞こえ確認できます。

最後の記録を表示後、更に+を押すと、「ピッ」という音が鳴ります。−を押すたびに1つ前の記録に戻ります。

子機 **通話を切った状態で、caller IDを押す。**

最新の着信記録が表示されます。

03XXXX2233
着信記録

20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときはoffを押してください。

続けてcaller IDを押す。

押すたびに新しい着信記録から順に10件まで確認できます。最後までいったとき、更にcaller IDを押すと、「ピッ」という音が鳴り、最新の着信記録に戻ります。

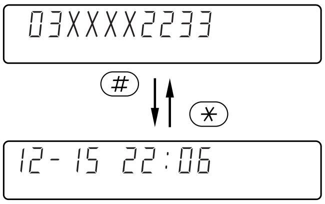
つづく→

着信電話番号表示と着信日時表示の切り換え

手順1や2の表示が着信電話番号を表示しているとき、(#)（親機）または(#)（子機）を押すと、その番号の着信日時表示に切り換わります。また、表示が着信日時を表示しているとき、(＊)（親機）または(＊)（子機）を押すと、その日時の着信電話番号表示に切り換わります。

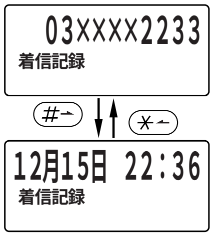
親機

着信電話番号が11桁以下の場合

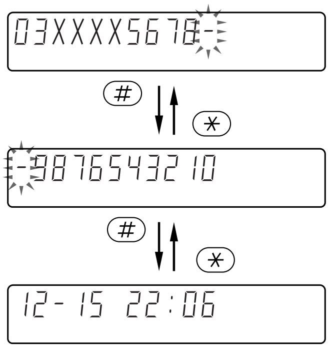


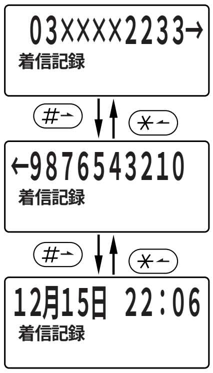
子機

12桁以下の場合



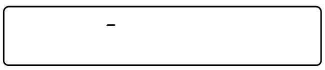
着信電話番号が20桁の場合





着信記録がないときは

手順1で、表示窓に次の表示が出ます。



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(caller ID)を押してください。



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(off)を押してください。

着信記録が10件を超えると

古いものから消えます。

着信記録から電話をかける

ご注意

着信記録に電話番号がない場合（「- P -」、「ヒツウチ」など）は、着信記録から電話をかけることはできません。

親機

1 受話器を置いたままで、かけたい着信記録を表示させる。

2 受話器を取る。

子機

1 電話を切った状態で、かけたい着信記録を表示させる。

2 充電台から取る、または（talk）を押す。

着信記録を消す

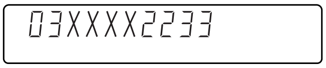
ちょっと一言

- 消したい着信記録に用件がある場合、着信記録を消去しても用件は消去されません。
- 着信記録を消去すると、表示は次の着信記録になります。続けて消去するときは、手順2〜3を行ってください。

1件ずつ消去します。

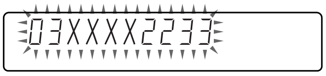
親機

1 受話器を置いたままで、消したい着信記録を表示させる。



2 （erase）を押す。

電話番号が点滅します。



3 もう一度（erase）を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

子機

1 通話を切った状態で、消したい着信記録を表示させる。



2 （hold/erase）を押す。

「スル」が点滅します。



3 もう一度（hold/erase）を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

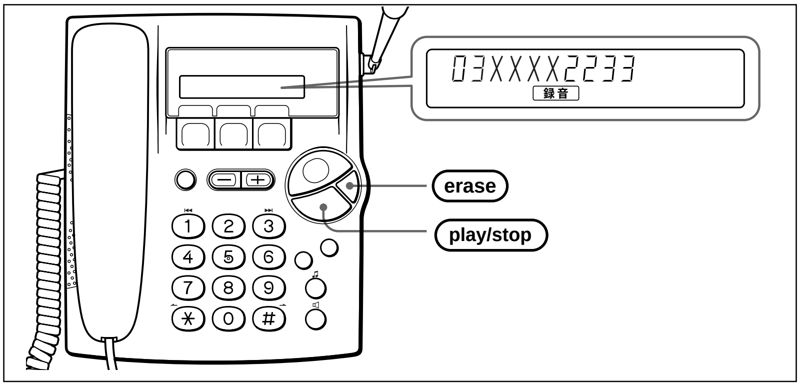
消去を中止するには

親機　手順2のあとで、（play/stop）を押します。

子機　手順2のあとで、（#）を押して、「シナイ」を点滅させ、（flash/program）を押します。

着信記録から用件を再生／消去する（親機のみ）

着信記録を表示中、「録音」が点灯したら、その着信記録には留守番電話の用件が録音されています。用件を再生したり、消去したりするには、**親機で操作します。**



着信記録から用件を再生するには（ダイレクト用件再生）

ちょっと一言
今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）、(1)（I◀◀）を押します。

(play/stop)を押す。

その用件のみを再生します。

用件がなかった場合

(play/stop)を押すと「用件はありません」のメッセージが流れます。

着信記録から用件を消去するには

1 **(play/stop)を押して、消したい用件を再生する。**

2 **用件を再生中に(erase)を押す。**
「もう一度消去を押してください」

3 **もう一度(erase)を押す。**
表示窓の「録音」が消えます。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

着信音鳴り分け機能を使う

ご注意
電話帳が市外局番から登録されていないと、鳴り分け機能は使えません（☞41ページ）。

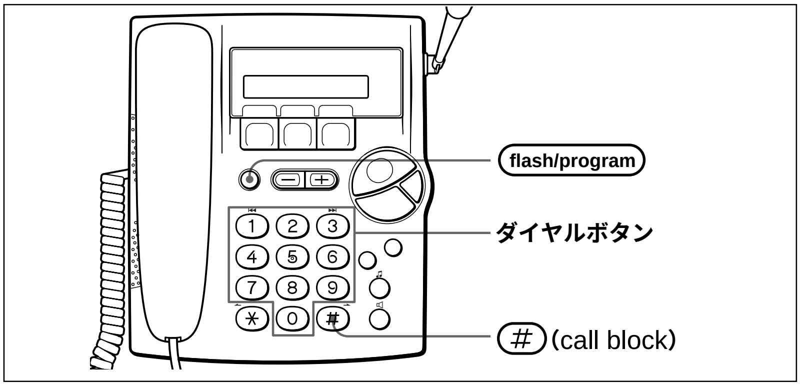
ナンバー・ディスプレイ（☞30ページ）と、電話帳機能（☞40ページ）をあわせて使うとこの機能が使えます。親機、子機それぞれの電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたときに、ベル音が変わり、親しい人からであることが分かります（☞40ページ）。

特定の電話からつながらないようにする（おことわり機能）

ご注意

- おことわり動作中に受話器を上げると、通話状態になってしまいます。表示窓に「おことわり」が点滅しているときはご注意ください。
- おことわり動作中に子機は使えません。

ナンバー・ディスプレイを使うと、特定の電話からつながらないようにできます。いたずら電話など、二度と受けたくない電話を登録しておけば、次回からはベルを鳴らさずに自動的に応答し、切ります。（相手には通話料金がかかります。）最大10件まで登録できます。
親機で操作します。
おことわり先に登録した相手から電話がかかってくると「この電話は、お受けできません」というおことわりメッセージが、3回相手の電話に流れて、自動的に電話を切ります。



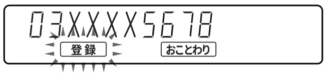
ことわりたい相手を着信記録から登録する

ご注意

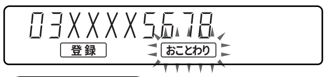
- 表示窓に「C42 FULL」が出たら、おことわりが満杯です。不要なおことわりデータを消去して（☞38ページ）、登録し直してください。
- 着信記録のうち、「-C-」、「-0-」、「C74」はおことわり登録できません。

1 **受話器を置いたままで、おことわり登録したい着信記録を表示させる。**

2 **(flash/program)を押す。**



3 **(#)を押して、「おことわり」を点滅させる。**



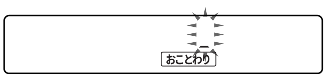
4 **(flash/program)を押す。**
確認のために「ピー」と鳴ります。

ことわりたい相手を電話番号で登録する

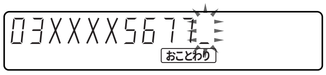
ご注意

- 表示窓に「C42 FULL」が出たら、おことわりが満杯です。不要なおことわりデータを消去して（☞38ページ）、登録し直してください。
- 市外局番から入れなかった場合は、「ピピピピピ」と鳴ります。手順1からやり直してください。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(#)(call block) を続けて押す。**
「おことわり先を市外局番から押して、最後に登録を押してください」



2 **ダイヤルボタンを使って、相手の電話番号を市外局番から押す。**



3 **(flash/program)を押す。**
確認のために「ピー」と鳴ります。

「非通知」をおことわり登録する

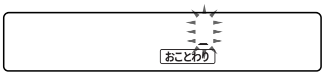
ご注意

すべての非通知の電話を受けられなくなりますのでご注意ください。

「非通知」の相手から電話がかかってくると、「恐れいりますが、186を最初にダイヤルしてからおかけ直しください」というおことわりのメッセージが3回流れ、電話を自動的に切ります。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(#)(call block) を続けて を押す。**

「おことわり先を市外局番から押して、最後に登録を押してください」と聞こえます。



2 **電話番号の代わりに、(1)(8)(4)を押す。**

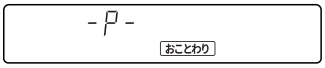


3 **(flash/program)を押す。**

確認のために「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

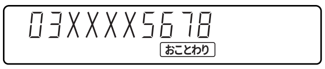
- おことわり先を確認すると、下記のように表示されます。

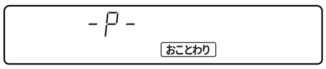


- 「非通知」をおことわり先から消去する方法については38ページをご覧ください。

おことわり先を確認する

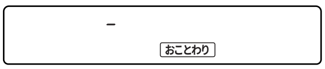
受話器を置いたままで、(#)(call block) を押します。





表示窓に「おことわり」が点灯し、相手の電話番号を表示します。
(+)を押すたびに登録順に10件まで確認できます（(−)を押すたびに1つ前の表示に戻ります)。
20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(play/stop)を押してください。

1件もおことわりの登録がされていないときは

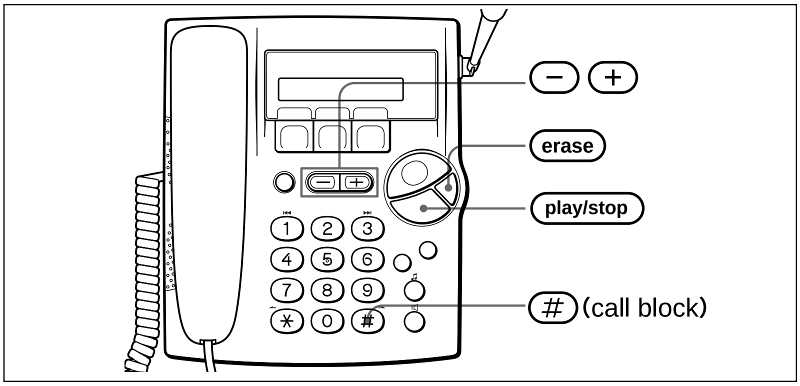


5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(play/stop)を押してください。

おことわり登録から消去する

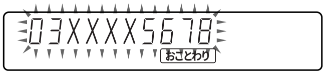
1件ずつ消去します。

親機で操作します。



1 **受話器を置いたままで、＃(call block) と＋、－を使っておことわりから消去したい電話番号を表示させる。**

2 **eraseを押す。**



3 **もう一度eraseを押す。**

確認のために「ピー」と鳴ります。

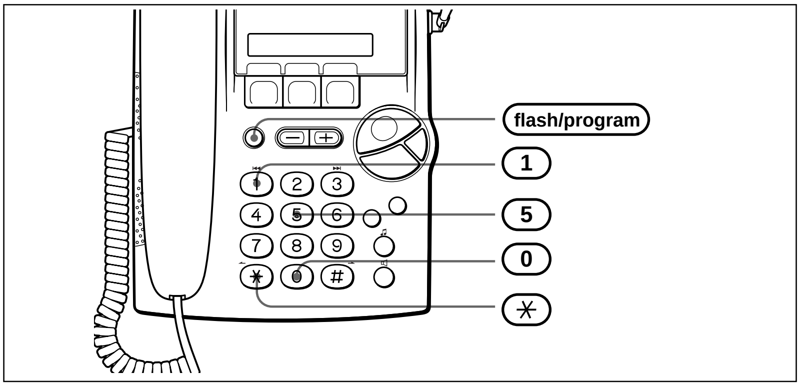
消去を中止するときは、手順2の後にplay/stopを押してください。

「非通知」をおことわり登録から消去する

上記の手順1で「非通知」(－P－)を表示させてから、eraseを2回押す。

非通知理由音声呼び出し機能（親機のみ）を解除する

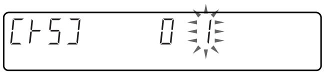
非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があると、非通知理由「非通知です」、「公衆電話です」、「表示圏外です」とお知らせするようになっています。この機能を解除することができます。



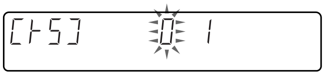
ちょっと一言
お買い上げ時は非通知理由音声呼び出し機能は設定になっています。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(＊)、(5)を続けて押す。**

「非通知理由音声呼び出し設定」



2 **(0)を押す。**



3 **(flash/program)を押す。**

確認のために「ピー」と鳴り、「設定を解除しました」と聞こえます。

非通知理由音声呼び出しを設定に戻すには

上記の手順2で(1)（設定）を押します。

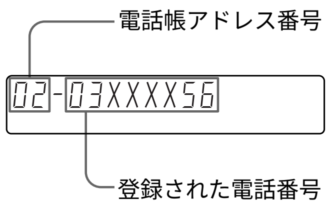
(flash/program)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のために「設定しました」と聞こえます。

電話帳機能について

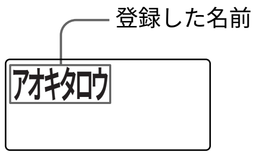
電話帳機能とは

よくかける電話番号（子機では名前と電話番号）を登録しておくと、簡単に検索して、電話をかけることができます。
親機、子機とも20件まで登録することができます。
1件の電話番号は20桁まで、名前（子機のみ）は12文字まで登録できます。

親機



子機



電話帳機能とナンバー・ディスプレイ（☞30ページ）を使うと

●電話帳に登録されている相手からの着信ベル音を変えます（着信音鳴り分け機能）。

親機



子機

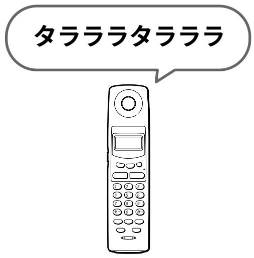


電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたとき

親機



子機

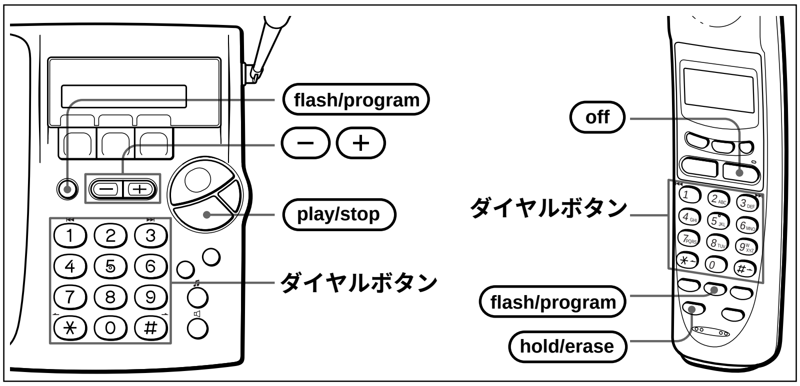


●相手の名前がベル音と交互に再生され、誰からの着信か分かるようにできます（親機のみ、音声呼び出し機能、☞50ページ）。

電話帳に名前と電話番号を登録する

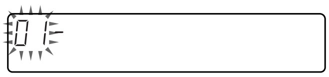
つづく→

よくかける電話番号（子機では名前と電話番号）を登録しておくと、簡単に検索して、電話をかけることができます。



1 **親機** **受話器を置いたままで、(flash/program)、(1)を続けて押す。**

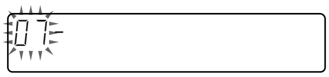
01〜20のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。



子機 **通話を切った状態で(flash/program)、(1)を続けて押す。**



2 **(+)または(−)を押して、登録したいアドレス番号を表示させる。**



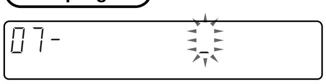
ダイヤルボタンを押して、名前を入力する（12文字以内）。

名前を入れない場合は、手順3に進んでください。

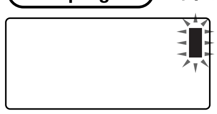
入力できる文字については42ページをご覧ください。



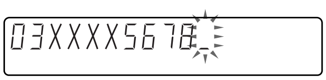
3 **(flash/program)を押す。**



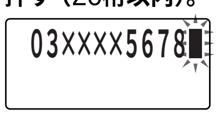
(flash/program)を押す。



4 **ダイヤルボタンを使って、登録したい電話番号を市外局番から押す（20桁以内）。**



ダイヤルボタンを使って、登録したい電話番号を市外局番から押す（20桁以内）。



ちょっと一言

- 電話帳の修正はできません。消去してから登録し直してください。
- 手順1で(1)を押す代わりに、(flash/program)または(directory)を押すこともできます。
- 電話番号の前に「184」や「186」をつけて登録することもできます。
- 子機で名前を入力したときは、手順3の前なら修正できます。(＊←)または(#→)を押して修正したい文字を点滅させて入力し直してください。文字を消すには、その文字を点滅させて(hold/erase)を押します。

ちょっと一言

- 構内交換機に接続して使う場合はポーズ（待ち時間）が必要なことがあります。
- 電話番号の間に(redial)を押すと、約4秒間の待ち時間ができます。表示窓には「P」が表示されます。必要な待ち時間の長さに合わせて(redial)を何度か押します。

ちょっと一言
市内の相手に市外局番からダイヤルしても、同じ料金でかかります。

5 親機：**(flash/program)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

子機：**(flash/program)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

電話帳が満杯のときは

手順1を行うと、エラー音が鳴り表示窓に次の表示が出ます。

親機

C42　　FULL

5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは (play/stop)を押してください。

子機

C42　　メモリフル

5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは (off)を押してください。

子機で入力できる文字について

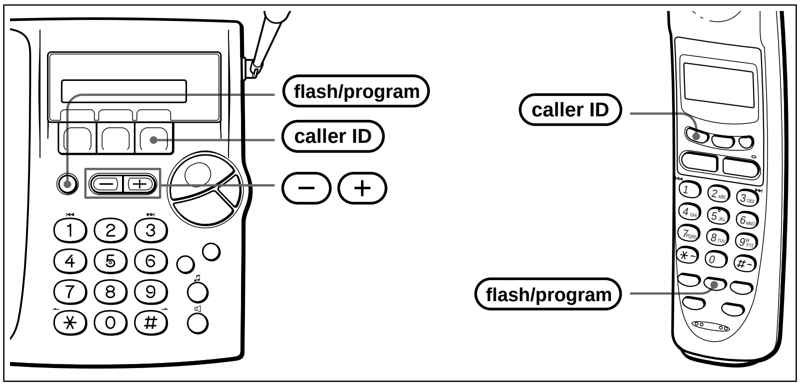
ちょっと一言
- 入力位置は、(#)、(＊)でも変更できます。
- 濁点、半濁点も1文字にかぞえます。
- スペースを入れるときは(#)を押します。

子機のダイヤルボタンを使って、電話帳に登録する名前の文字を入力することができます。カタカナ、英字（大文字のみ）、数字が入力できます。
入力される文字は、それぞれのダイヤルボタンを押すたびに以下の順序で変化します。
- 別のダイヤルボタンを押すとその文字が確定され、入力位置は右に移動します。
- 「゛」、「゜」「ー」のとき、新しいダイヤルボタンを押すとカタカナから表示されます。
- 前の文字がアルファベット、数字、または上記以外の記号の場合は、アルファベットから表示されます。

(1)：ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ→1→ア→・・・・
(2)：カ→キ→ク→ ケ→コ→A→B→C→2→カ→・・・・
(3)：サ→シ→ス→セ→ソ→D→E→F→3→サ→・・・・
(4)：タ→チ→ツ→テ→ト→ッ→G→H→I→4→タ→・・・・
(5)：ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→J→K→L→5→ナ→・・・・
(6)：ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→M→N→O→6→ハ→・・・・
(7)：マ→ミ→ム→メ→モ→P→Q→R→S→7→マ→・・・・
(8)：ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ→T→U→V→8→ヤ→・・・・
(9)：ラ→リ→ル→レ→ロ→W→X→Y→Z→9→ラ→・・・・
(0)：ワ→ヲ→ン→゛→゜→ー→．→・→’→：→／→0→ワ→・・

着信記録から登録する

ナンバー・ディスプレイ（☞30ページ）をお使いのかたは、着信記録を使って電話帳登録ができます。

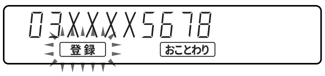


ちょっと一言
- 電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り、もとの状態へ戻ります。
- 電話番号以外の着信記録は登録できません。

1 **親機** **受話器を置いたままで、(caller ID)と(＋)または(−)を使って、登録したい電話番号を表示する。**

子機 **通話を切った状態で、(caller ID)を使って、登録したい電話番号を選ぶ。**

2 **(flash/program)を押す。**



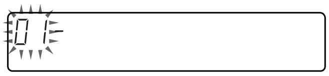
子機 **(flash/program)を押す。**



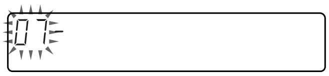
ダイヤルボタンを使って名前を入力する（12文字以内）。
文字入力については42ページをご覧ください。



3 **もう一度(flash/program)を押す。**
01〜20のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。



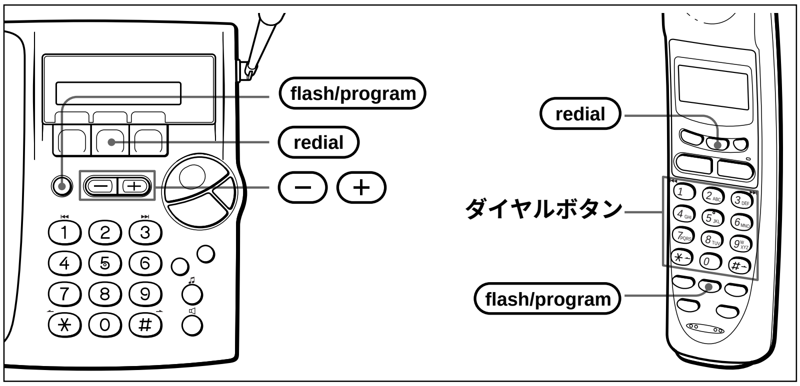
4 **(＋)または(−)を押して、登録したいアドレス番号を表示させる。**



5 **(flash/program)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

子機 **(flash/program)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

再ダイヤルから登録する



ご注意
電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り、もとの状態に戻ります。

電話帳機能の使いかた

1 **親機** **受話器を置いたままで、(redial)と(＋)または(－)を使って、登録したい電話番号を選ぶ。**

子機 **通話を切った状態で、(redial)を使って、登録したい電話番号を選ぶ。**

2 **(flash/program)を押す。**
01～20のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。

01

(flash/program)を押す。

▮ナマエ?

3 **(＋)または(－)を押して、登録したいアドレス番号を表示させる。**

07

ダイヤルボタンを使って名前を入力する（12文字以内）。
文字入力については42ページをご覧ください。

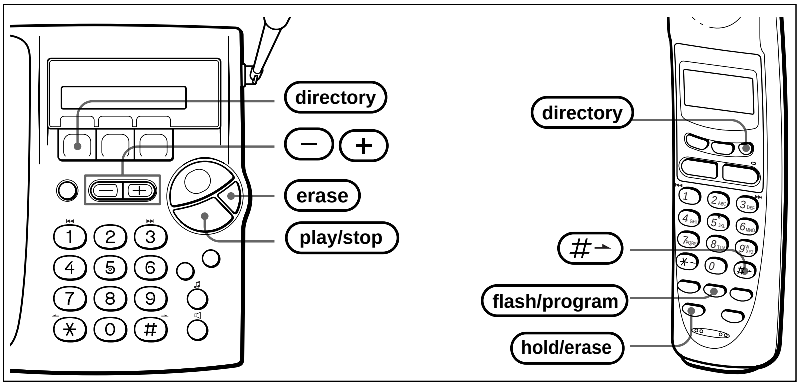
カ

4 **(flash/program)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

(flash/program)を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

登録した電話帳を消去する

1件ずつ消去してください。



ちょっと一言
電話帳データが1件もなかった場合、「ー」が出たあともとの状態に戻ります（親機）。

1 **親機** **受話器を置いたままで、(directory)と(+)または(−)を使って、消去したい電話番号を選ぶ。**

03XXXX5678

子機 **通話を切った状態で、(directory)またはダイヤルボタンを使って、消去したい電話番号を選ぶ。**

カイシャ

2 **(erase)を押す。**

03XXXX5678

(hold/erase)を押す。

ショウキョ スル/シナイ

3 **もう一度(erase)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

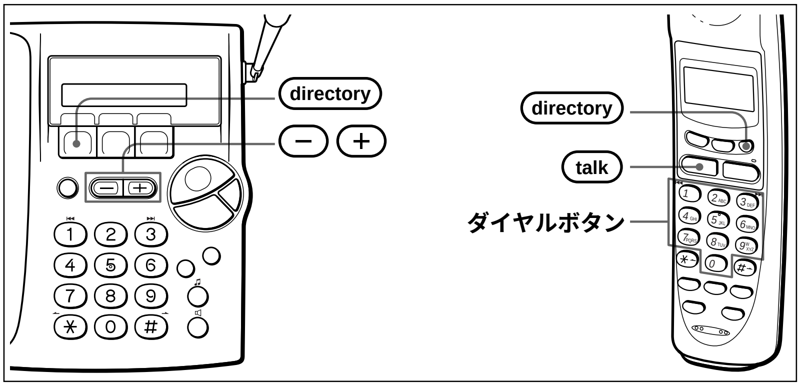
もう一度(hold/erase)を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

消去を中止するには

親機 手順2のあとで、(play/stop)を押します。
子機 手順2のあとで、(#)を押して、「シナイ」を点滅させてから、(flash/program)を押します。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録してある電話番号を、手早く検索して電話をかけることができます。



ちょっと一言
電話帳データが1件もなかった場合、「ー」が出たあともとの状態に戻ります（親機）。

1 **親機** **受話器を置いたままで、directoryと＋または－を使って、かけたい電話番号を表示させる。**

03XXXX5678

子機 **通話を切った状態で、directoryまたはダイヤルボタンを使って、かけたい電話番号を表示させる。**
検索のしかたについては47ページをご覧ください。

カイシャ

2 **受話器を取る。**
電話番号が11桁以下の場合

03XXXX5678

表示された電話番号に電話がかかります。

talkを押す。
電話番号が12桁以下の場合

カイシャ
↓
03XXXX5678

表示された電話番号に電話がかかります。

電話帳機能の使いかた

つづく→

検索のしかたについて

ちょっと一言
未登録の電話帳アドレス番号はスキップされ、次に登録済みの電話帳アドレス番号と電話番号を表示します（親機）。

親機

電話帳は電話帳アドレス番号（☞40ページ）の順番に並べられています。
(directory)を押すと最初の電話帳が表示されます。(+)を押すたびに次の電話帳が表示され、(−)を押すたびに1つ前の電話帳に戻ります。
呼び出し音声が登録（☞51、53ページ）または録音された（☞54ページ）電話番号と一致する電話帳を表示すると、呼び出し音声が聞こえ確認できます。

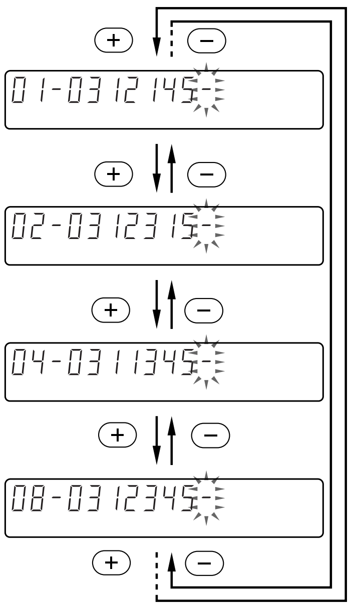
子機

電話帳は名前の順番に並べられています。
(directory)を押すたびに、名前順に表示されます。名前が表示される順番は、カタカナ（50音順）→英文字（アルファベット順）→数字（0〜9）→記号（.・ ’： ／゛゜ –）です。
ただし、先頭4文字が同じものは、登録した順に表示します。
* 文字入力のときと違い、小さいカタカナは、ァィゥ・・・のように、それぞれ普通のカタカナの次に表示されます。

また、名前が登録されていない場合や名前の一文字目にスペース（空白）が登録されているものは、他の名前より前に表示されます。

親機

まず(directory)を押してから



子機



ダイヤルボタンで検索する（子機のみ）

ダイヤルボタンを使って、電話帳に登録された名前の1文字目を指定して検索することができます。
該当する文字の電話帳データが存在しない場合は、指定文字に最も近い電話帳データ（後ろ側）を表示します。
ダイヤルボタンを押すたびに、以下の順序で検索できます。

(1)：ア（ァ）→イ（ィ）→ウ（ゥ）→エ（ェ）→オ（ォ）→1→ア→・・
(2)：カ→キ→ク→ケ→コ→A→B→C→2→カ→・・・・
(3)：サ→シ→ス→セ→ソ→D→E→F→3→サ→・・・・
(4)：タ→チ→ツ（ッ）→テ→ト→G→H→I→4→タ→・・・・
(5)：ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→J→K→L→5→ナ→・・・・
(6)：ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→M→N→O→6→ハ→・・・・
(7)：マ→ミ→ム→メ→モ→P→Q→R→S→7→マ→・・・・
(8)：ヤ（ャ）→ユ（ュ）→ヨ（ョ）→T→U→V→8→ヤ→・・・・
(9)：ラ→リ→ル→レ→ロ→W→X→Y→Z→9→ラ→・・・・
(0)：ワ→ヲ→ン→．→・→’→：→／→゛→゜→ー→0→ワ→・・

ちょっと一言
検索を行う電話帳の先頭文字を1秒間表示したあと、検索結果を表示します。

例：フクイユミを検索する場合

1 ダイヤルボタン(6)を押す。

ーハー　　ハシモトタロウ

2 ダイヤルボタン(6)を押す。

ーヒー　　ヒロタユミ

3 ダイヤルボタン(6)を押す。

ーフー　　フクイシロウ

4 (directory)を押す。

フクイユミ

または手順1のあと「フクイユミ」が表示されるまで(directory)を押します。

電話帳検索を中止するには

親機 (play/stop)を押す。　　子機 (off)を押す。

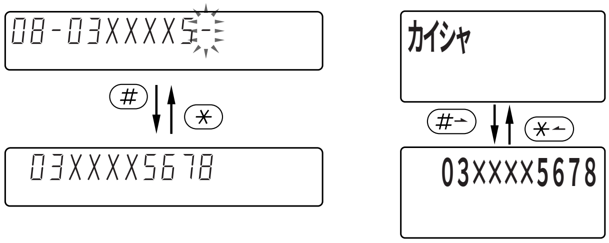
電話番号を表示窓で確認するには

親機 電話番号が9桁以上のときは、始めの7桁しか表示されません。続きを表示させるには、(#)を押して表示を切り換えます。表示は(✳)で戻ります。（9桁以上11桁以下の場合は、1秒後自動的に全桁を表示します。）

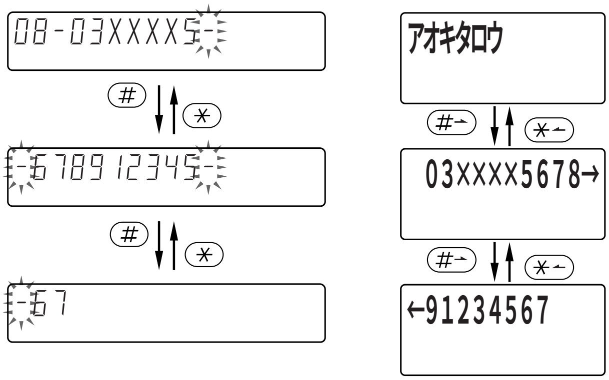
子機 まず名前を表示します。電話番号を表示させるには、(#⌒)を押します。電話番号が13桁以上のときは、始めの10桁しか表示されませんので、続けて(#⌒)を押します。(✳⌒)を押すたびに1つ前の表示に戻ります。

例1： 電話番号が03XXXX5678の場合

親機　　子機

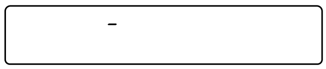


例2： 電話番号が03XXXX567891234567の場合（18桁以上のとき）



1件も電話帳に登録されていないときは

親機



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻すには(play/stop)を押してください。

子機



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻すには(off)を押してください。

電話帳機能の使いかた

親機の呼び出し音を相手の名前や宛先に変える（音声呼び出し機能）

呼び出し音を相手の名前や宛先に変える（音声呼び出し機能）と、色々な使いかたができます。

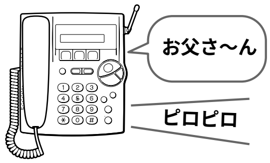
- ナンバー・ディスプレイと電話帳をあわせて使うと、電話が鳴ったときの呼び出し音を下記の音声のどれかに変えることができます。1つの電話番号の呼び出し音声は1つなので、既に登録・録音されている番号にもう一度登録・録音すると上書きされます。電話帳については40ページをご覧ください。

誰からコール



70種類の中から選んでください（☞51、52ページ）。

ご指名コール



10種類の中から選んでください（☞53、54ページ）。

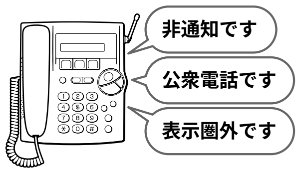
自分で録音



ご自分で、お好きな名前を録音して使えます（☞54、55ページ）。

非通知理由音声呼び出し機能

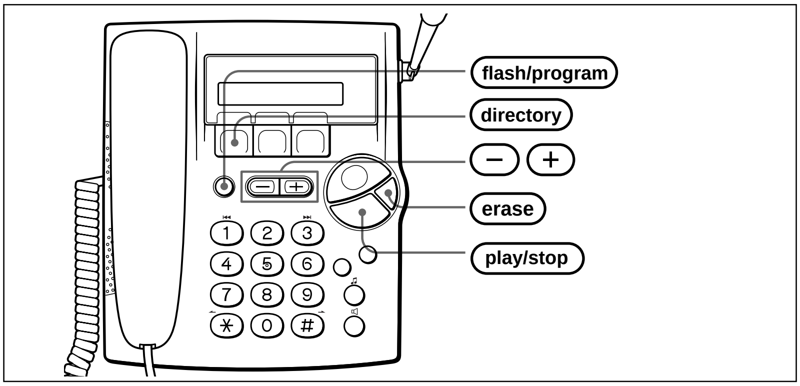
お買い上げ時には電話番号を表示できないときにその理由を音声でお知らせするようになっています。この機能を解除することもできます（☞39ページ）。



つづく→

誰からコールを登録する

本機には、よく使う呼び名20種類・名字50種類があらかじめ録音されています（☞52ページ）。その番号を選ぶことで、電話帳に登録されている人からの呼び出し音を音声に変えることができます。
電話帳については40ページをご覧ください。
親機で操作します。



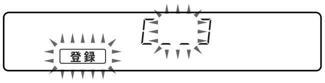
1 **受話器を置いたままで、(directory)と(+)または(−)を使って誰からコールを登録したい電話番号を検索して表示し、(flash/program)を押す。**



2 **そのまま(flash/program)を押す。**



3 **(flash/program)を押す。**
「誰からコール登録」



誰からコールが登録済みの場合は、登録された誰からコールの番号が出て、再生されます。

4 **2桁の番号を押すか、(+)または(−)を押して、登録したい誰からコールを選ぶ。**
選択された誰からコールが聞こえます。



ご注意

呼び出し音声が録音されている同じ電話帳の相手に登録すると、登録した誰からコールが優先され、録音された内容が消去されます。

5 (flash/program)を押す。

確認のために、「ピー」と鳴り、登録した誰からコールが聞こえます。

登録した誰からコールを確認するには

受話器を置いたままで、(directory)と(+)または(−)を使って確認したい電話番号を検索して表示させます。

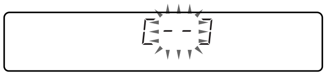
登録をやり直すには

51、52ページの手順1～5をもう一度行ってください。誰からコールは新しく登録されたものに変更されます。

登録した誰からコールを消去するには

1 手順3の後で 登録した誰からコールの番号が出ているときに(erase)を押す。

「もう一度消去を押してください」



2 ボイスガイド終了後、20秒以内にもう一度 (erase)を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

誰からコールは下記の番号で登録されています。

00 お父さん	18 彼氏	36 ゴトウさん	54 ハヤシさん
01 お母さん	19 彼女	37 コバヤシさん	55 フジイさん
02 パパ	20 アベさん	38 コンドウさん	56 フジタさん
03 ママ	21 アライさん	39 サイトウさん	57 フジワラさん
04 お兄さん	22 イケダさん	40 サカモトさん	58 マエダさん
05 お姉さん	23 イシイさん	41 ササキさん	59 マツモトさん
06 弟さん	24 イシカワさん	42 サトウさん	60 ムラカミさん
07 妹さん	25 イトウさん	43 シミズさん	61 モチヅキさん
08 お爺ちゃん	26 イノウエさん	44 スズキさん	62 モリさん
09 お婆ちゃん	27 ウエダさん	45 タカハシさん	63 ヤマグチさん
10 おじさん	28 エンドウさん	46 タナカさん	64 ヤマザキさん
11 おばさん	29 オオニシさん	47 タニグチさん	65 ヤマシタさん
12 お孫さん	30 オカモトさん	48 チバさん	66 ヤマダさん
13 実家	31 カトウさん	49 ナカジマさん	67 ヤマモトさん
14 お得意様	32 キクチさん	50 ナカムラさん	68 ヨシダさん
15 会社	33 キムラさん	51 ニシムラさん	69 ワタナベさん
16 社長さん	34 クドウさん	52 ハシモトさん	
17 お店	35 コウノさん	53 ハマダさん	

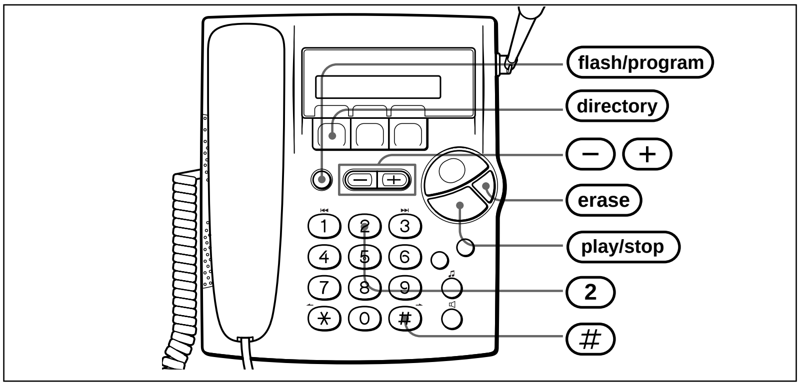
ご注意

- 実際にはこのあとに「からです」がつきます。
- 手順5ではボイスガイドは「XXXからです」となります。

つづく→

ご指名コールを登録する

本機には、10種類の呼びかけかたがあらかじめ録音されています（☞下記）。その番号を選ぶことで呼び出し音を音声に変えることができます（電話帳に登録された相手のみ）。
電話帳については40ページをご覧ください。



ご注意
呼び出し音声が録音されている同じ電話帳の相手に登録すると、登録したご指名コールが優先され、録音された内容が消去されます。

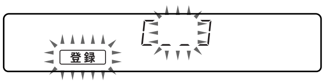
1 **通話を切った状態で、directoryと＋または−を使ってご指名コールを登録したい電話番号を検索して表示し、flash/programを押す。**



2 **そのままflash/programを押す。**



3 **2を押す。**
「ご指名コール登録」



ご指名コールが登録済みの場合は登録されたご指名コールの番号が出て、再生されます。

4 **2桁の番号を押すか、＋または−を押して、登録したいご指名コールを選ぶ。**
選択されたご指名コールが聞こえます。



5 **flash/programを押す。**
確認のために、「ピー」と鳴り、登録された音声が聞こえます。

ご指名コールは下記の番号で登録されています。

00	お父さ〜ん
01	お母さ〜ん
02	パパ〜
03	ママ〜
04	お兄ちゃ〜ん
05	お姉ちゃ〜ん
06	お爺ちゃ〜ん
07	お婆ちゃ〜ん
08	旦那さま〜
09	奥さま〜

登録したご指名コールを確認するには

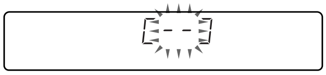
受話器を置いたままで、(directory)と(＋)または(－)を使って確認したい電話番号を検索して表示させます。

登録をやり直すには

53ページの手順1～5をもう一度行ってください。ご指名コールは新しく登録されたものに変更されます。

登録したご指名コールを消去するには

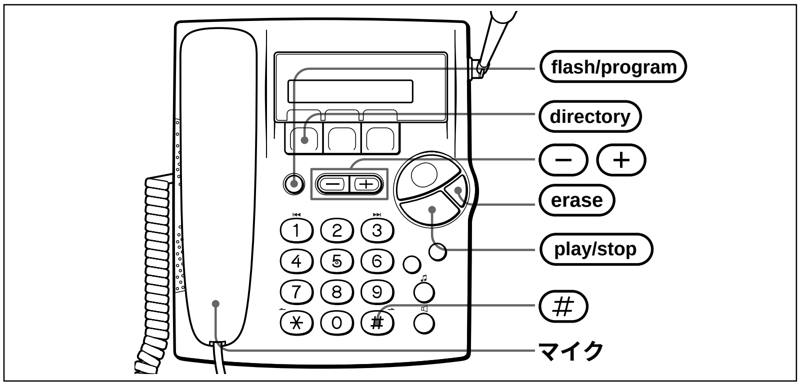
1 手順4の後で 登録したご指名コールの番号が出ているときに(erase)を押す。
「もう一度消去を押してください」



2 ボイスガイド終了後、20秒以内にもう一度 (erase)を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

呼び出し音声を録音する

誰からコール、ご指名コール以外に、ご自分で呼び出し音声を録音することもできます（電話帳に登録された相手のみ）。
電話帳については40ページをご覧ください。



1 受話器を置いたままで、(directory)と(＋)または(－)を使って、音声を録音したい電話番号を検索して、(flash/program)を押す。



2 (＃)を押して、「録音」を点滅させる。



ご注意
- 呼び出し音声を録音すると、留守番電話の用件録音時間がやや短くなります。
- 呼び出し音声は、聞き取りやすいようにはっきりと話してください。
- 誰からコール、ご指名コールが登録されている同じ電話帳の相手に録音すると、録音した呼び出し音声が優先され、登録された内容が消去されます。

ご注意

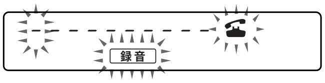
- 録音しようとするとき、エラー音が聞こえ、「C42 FULL」と表示されたら、用件がいっぱいに録音されていて、メモリーが満杯です。不要な用件を消去してください（☞78ページ）。用件の録音時間は、自分で録音した応答メッセージ、呼び出し音声を含め、約10分です。
- 手順4で20秒以内に受話器を取らないと、録音できません。手順1からやり直してください。
- 各手順は20秒以上かけないでください。

3 **(flash/program)を押す。**

- 呼び出し音声が録音されていない場合



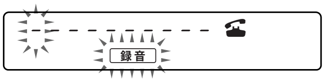
- 呼び出し音声が録音済みの場合（呼び出し音声を再生しながら、バー表示が2秒間で左から右へ1つずつ消灯します。再生終了後、上の表示になります。）



「呼び出し音声録音。受話器を取って発信音のあとにお話しください」

4 **受話器を取り、「ピー」と鳴ったら受話器のマイクに向かって呼び出し音声を話す。**

「ピー」と鳴ると、バー表示が2秒間左から右へ1つずつ消灯します。



「ピー」と鳴り、電話番号が点灯し、録音した呼び出し音声が聞こえます。録音内容を確認してください。

録音した呼び出し音声を確認するには

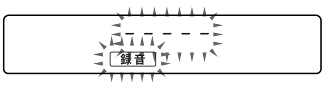
受話器を置いたままで、(directory)と(＋)または(－)を使って確認したい電話番号を検索して表示させます。

登録をやり直すには

54、55ページの手順1～4をもう一度行ってください。呼び出し音声は新しく登録されたものに変更されます。

録音した呼び出し音声を消去するには

1 手順3の後で 録音した呼び出し音声を再生中に(erase)を押す。
「もう一度消去を押してください」



2 ボイスガイド終了後、20秒以内にもう一度 (erase)を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

キャッチホン・ディスプレイを使うために

「キャッチホン・ディスプレイ」サービスとは

通話中に電話がかかってきた場合、かけてきた相手（割り込み者）の電話番号を専用の電話機などの表示窓に表示するNTTの「ナンバー・ディスプレイ」のオプションサービスです。

「キャッチホン・ディスプレイ」サービスを利用するには

1 NTTの**「キャッチホン・ディスプレイ」サービス（有料）に加入してください。**
（「ナンバー・ディスプレイ」（有料）と「キャッチホン」（有料）の両方のサービスに加えて月額付加機能使用料が必要です。）

> キャッチホン・ディスプレイに関するお問い合わせは、局番なしの116番におかけください。

2 本機のキャッチホン・ディスプレイの設定をしてください。詳しくは下記をご覧ください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する

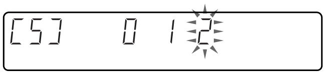
ご注意
- 「キャッチホン・ディスプレイ」に加入しない場合は、本機のキャッチホン・ディスプレイの設定を行わないでください。
- 通話の保留中や、取り次ぎ中にかかってきた電話の番号は表示されません。

ちょっと一言
キャッチホン・ディスプレイを設定すると、同時にナンバー・ディスプレイも設定されます。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(5)を続けて押す。**
「ナンバー・ディスプレイ選択」



2 **(2)を押す。**



3 **(flash/program)を押す。**
「ピー」と鳴り、確認のため「設定しました」と聞こえます。
表示窓に「名のってる」が点灯します。

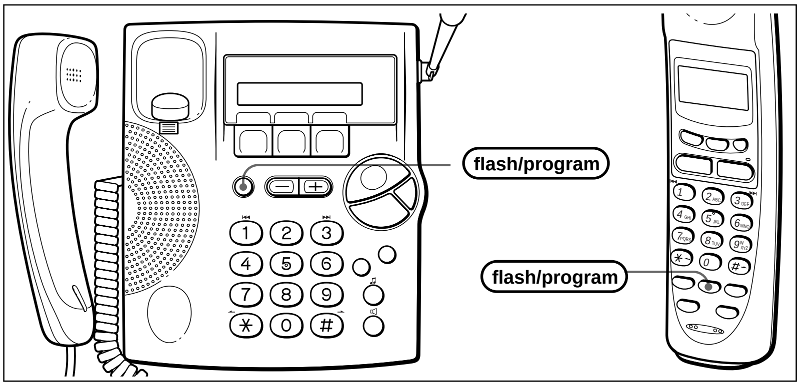


キャッチホン・ディスプレイを解除するには

上記の手順2で(1)を押します。
(flash/program)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のため「設定を解除しました」と聞こえます。
このとき、ナンバー・ディスプレイのみが設定となります（表示窓の「名のってる」は点灯したままです）。

キャッチホン・ディスプレイを受ける（flashボタン）

flashボタンは、通話中情報通知サービス「キャッチホン・ディスプレイ」を利用するためのボタンです。



ちょっと一言
通話中にキャッチホン・ディスプレイを受けて相手の番号が表示されてから、約20秒後に通話時間表示に戻ります。

ご注意
- キャッチホン・ディスプレイで表示された相手が、おことわり登録してある電話番号でも、おことわり動作は行いません。
- キャッチホンの呼び出し音がしていないときに押すと通話が切れてしまいます。
- キャッチホン・ディスプレイの表示は、親機で通話中の場合は親機にのみ、子機で通話中の場合は子機のみに表示されます。

キャッチホンの呼び出し音に続き、「ピッ」という割り込み音がしたあと、約1秒間の無音状態になります。そのあと、あとからかかってきた電話の電話番号などが表示されます。表示は「ナンバー・ディスプレイ」の表示と同じです（☞31ページ）。

1 **flash/program を押す。**
あとからかかってきた電話に出られます。

2 **もとの通話に戻るには、もう一度 flash/program を押す。**

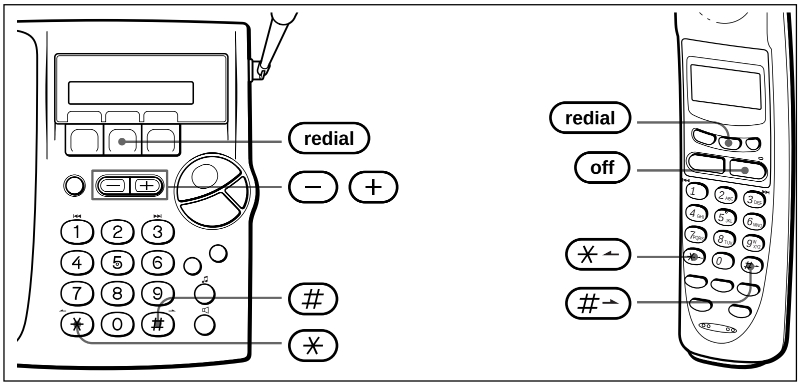
通話中に電話がかかってくると
↓
キャッチホンの呼び出し音がします。
↓
「ピッ」という割り込み音がします。
↓
約1秒間、無音の状態になります。 *
↓
あとからかけてきた相手（割り込み者）の電話番号などが表示窓に表示されます。 **

* 本機と、通話中の相手とそのどちらにも、無音の状態になります。
**大きな声で話しているときや、NTTの交換機と本機の距離が遠い場合には電話番号が表示されないことがあります。

ご注意
- キャッチホン・ディスプレイの設定をされると、本機が通話中の会話をキャッチホンの割り込み音と誤認して動作することがあります。その場合、約4秒間無音の状態になりますが、故障ではありません。
- 通話を保留にしているときや、取り次ぎ中にかかってきた電話の番号は表示されません。

再ダイヤルから電話をかける

お話し中だった相手や、一度切った相手に再びかけ直すときに便利です。親機、子機それぞれ最近かけた10件の番号が記憶されます。（子機が2台以上ある場合は、それぞれの子機でかけた番号が記憶されます。）



再ダイヤルを確認する

ちょっと一言

- 再ダイヤルから電話帳に登録することもできます。詳しくは、「再ダイヤルから登録する」（☞44ページ）をご覧ください。
- 同じ電話番号にかけたときは、新しい再ダイヤルのみが残ります。
- 名前を登録してある電話帳からかけた場合、再ダイヤルを表示すると、名前が表示されます（子機のみ）。

ご注意

再ダイヤル中に記録できるのは20桁以内です。それ以上の場合は、最初の20桁のみ履歴に残ります。

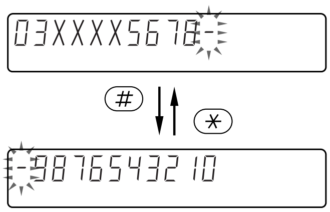
1 **親機** **受話器を置いたままで、（redial）を押す。**

最新の記録が表示されます。20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（play/stop）を押してください。

2 **（＋）を押す。**

押すたびに新しい再ダイヤルから順に、10件まで確認できます。また、呼び出し音声（☞50ページ）が録音または登録された電話番号と一致する再ダイヤルを表示すると、呼び出し音声が聞こえ確認できます。最後までいったとき、更に（＋）を押すと、「ピッ」という音が鳴ります。（－）を押すたびに1つ前の記録に戻ります。

発信電話番号が20桁の場合



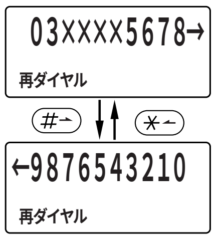
子機 **電話を切った状態で、（redial）を押す。**

最新の記録が表示されます。20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（off）を押してください。

続けて（redial）を何度か押す。

押すたびに新しい再ダイヤルから順に、10件まで確認できます。最後までいったとき、更に（redial）を押すと、「ピッ」という音が鳴り、最初の記録に戻ります。

発信電話番号が12桁以上の場合



再ダイヤルがないときは

親機

－

5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(play/stop)を押してください。

子機

アリマセン
再ダイヤル

5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(off)を押してください。

再ダイヤルが10件を超えると

古いものから消えます。

再ダイヤルから電話をかける

1 **親機** **受話器を置いたままで、(redial)を押して、かけたい再ダイヤルを表示させる。**

子機 **通話を切った状態で、(redial)を押して、かけたい再ダイヤルを表示させる。**

2 **受話器を取る。**

子機 **(talk)を押す。**

再ダイヤルを消す

ちょっと一言
再ダイヤルを消去すると、表示は次の再ダイヤルになります。続けて消去するときは、手順2〜3を行ってください。

1件ずつ消去します。

1 **親機** **受話器を置いたままで、消したい再ダイヤルを表示させる。**

03XXXX5678

子機 **通話を切った状態で、消したい再ダイヤルを表示させる。**

03XXXX5678
再ダイヤル

2 **(erase)を押す。**
電話番号が点滅します。

03XXXX5678

子機 **(hold/erase)を押す。**
「スル」が点滅します。

ショウキョ スル/シナイ
再ダイヤル

3 **もう一度(erase)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

子機 **もう一度(hold/erase)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

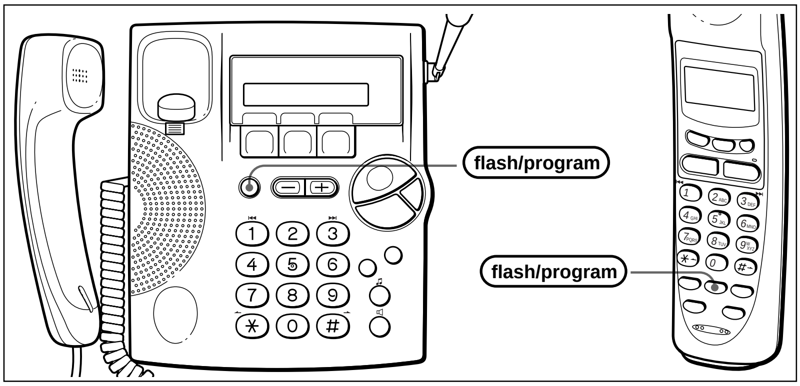
消去を中止するには

親機 手順2のあとで(play/stop)を押します。

子機 手順2のあとで(#)を押して「シナイ」を点滅させ、(flash/program)を押します。

キャッチホンを受ける（flashボタン）

flashボタンは、NTTの通話中着信サービス「キャッチホン」を利用するためのボタンです。**「キャッチホン」を利用するためには、NTTとの契約が必要です。お近くのNTT支店、営業所または局番なしの116番にお申し込みください。**



ご注意

キャッチホンの呼び出し音がしていないときに(flash/program)を押すと通話が切れてしまいます。

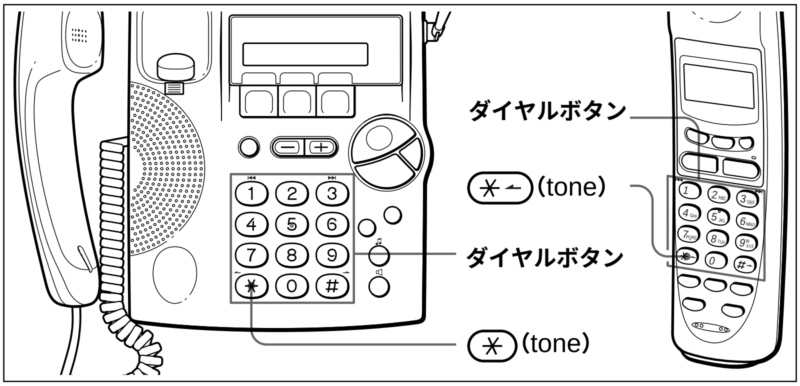
1 **キャッチホンの呼び出し音がしたら、(flash/program)を押す。**

あとからかかってきた電話に出られます。

2 **もとの通話に戻るには、(flash/program)をもう1度押す。**

プッシュホンサービスを利用する(toneボタン)

ダイヤル回線（☞16ページ）でも、預金残高照会や航空券の予約などのプッシュホンサービスをご利用になれます。
プッシュ回線の場合はこの操作は必要ありません。



ご注意
(⚹)(tone) を使っても、サービスを受けられない場合もあります。詳しくは各サービス機関にお問い合わせください。

ちょっと一言
(⚹)(tone) は一度押すと通話を切るまで働きます。ダイヤルボタンを押すたびに押す必要はありません。

1 **サービス機関に電話をかける。**

2 **ダイヤル回線の場合：** **電話がつながったら(⚹)(tone)　を押す。**
プッシュホン信号に切り換わります。
プッシュ回線の場合： **この操作は必要ありません。**

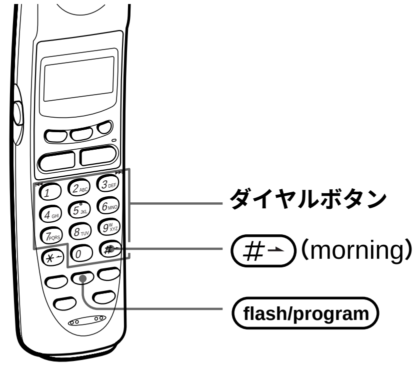
3 **相手の指示に従ってダイヤルボタンを押す。**

便利な使いかた

指定した時刻に子機のベルを鳴らす（モーニングコール機能）

ちょっと一言
- モーニングコールのベル音は、ベル音量を「切」にしていても聞こえます。
- 子機が2台以上あるときは、それぞれの子機で設定することができます。

時刻を指定し、その時刻になると、約2分間、子機にベル音を鳴らすことができるので、子機を目覚まし時計やタイマーの代わりに使うことができます。また、ベル音をKDDIの「えらんでメロディ」で取り込んだメロディーに変えることができます。詳しくは「モーニングアラームをメロディーに変えるには」（☞71ページ）をご覧ください。
必ず日付•時刻は合わせておいてください（☞15ページ）。
鳴らしたい子機で操作します。



モーニングコールを設定する

ご注意
指定時刻になったときに、その子機が電話中だったり、他の操作中の場合には、ベル音は鳴りません。

1 **通話を切った状態で、flash/program、3または#(morning)を続けて押す。**

ｼﾞｺｸ　24:00

2 **時刻を押す。**
24時間制です。ひと桁の時刻を設定するときは前に「0」を付けて4桁を入力します。
例：午前7時30分は「0」「7」「3」「0」と押す。

ｼﾞｺｸ　07:30

3 **flash/programを押す。**
「((🔔))」が表示され、確認のために、「ピー」と鳴ります。

便利な使いかた

指定した時刻になると

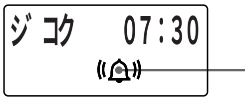
ご注意
ベル音が鳴っている最中に外から電話がかかってくるとモーニングコール機能が中止され、通常の着信ベル音が鳴ります（内線呼び出しでも同じです）。

子機でベル音が鳴り、1分たつとベル音が大きくなります。約2分間ベル音が鳴りますが、鳴っている途中で止めるには、子機のボタンのどれかを押すか、または充電台から持ち上げます。
指定した時刻になると予約は解除になるので、次の日も使うのであれば、「モーニングコールを予約する」の手順を行ってください。

モーニングコールの時刻を確認するには

ちょっと一言
#(morning) を押したとき、「24:00」が点滅した場合は、62ページの手順でモーニングコールの時刻を設定してください。

通話を切った状態で、#(morning) を押す。
設定時刻が表示されます。

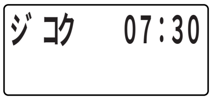


20秒たつと、エラー音が鳴りもとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときはoffを押してください。

モーニングコールを予約する

ご注意
エラー音が聞こえ、「((🔔))」が表示されないときは、親機や別の子機の通話を終えてから操作してください。

1 **通話を切った状態で、#(morning) を押す。**



2 **1を押す。**
「((🔔))」が表示され、確認のために、「ピー」と鳴ります。

モーニングコール予約を解除するには

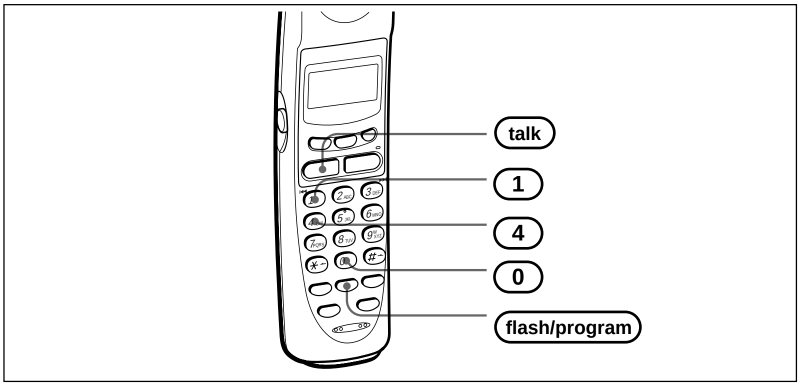
モーニングコールは、設定した時刻になると自動的に解除されますが、その前に解除するには以下の操作をします。
モーニングコールが予約されている子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、#(morning) を押す。**

2 **0を押す。**
「((🔔))」の表示が消え、確認のために、「ピー」と鳴ります。

クイック通話の設定を変える

子機は(talk)を押さなくても充電台から子機を持ち上げるだけで通話ができるようになっています（クイック通話「設定」)。クイック通話の設定を解除することもできます。



1 **通話を切った状態で、(flash/program)、(4)または(talk)を続けて押す。**



2 **(0)（解除）を押す。**



3 **(flash/program)を押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

クイック通話機能に戻すには

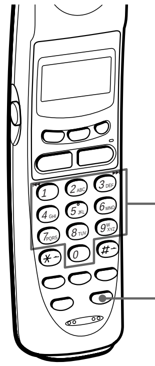
上記の手順2で(1)（設定）を押します。
(flash/program)を押すと、「ピー」と鳴ります。

便利な使いかた

指定した子機を先に鳴らす（優先着信）

ご注意
優先着信にしているときは、トールセーバー機能（☞80ページ）は使えません。

子機のベルを親機よりも先に約4回鳴らすことができます（優先着信）。友達からの電話を家族よりも先に取りたいときなどに便利です。子機が2台以上ある場合は、いずれかひとつの子機で設定できます。
優先着信は、設定してから1〜9時間（指定した時間）後に自動的に解除されます。
先に鳴らしたい子機で操作します。



ご注意
- 他の子機が優先着信になっているときは設定できません。
- すでに優先着信に設定されている子機でこの操作をすると、設定内容が更新されます。
- 他の子機で設定済みのときは、「C52」と表示されます。
- 子機のベル音量を「切」にしていると、ベルは鳴りません。

ちょっと一言
- 留守番状態にしているときは、親機のベルが鳴り始めてから設定されているベルの回数（☞77ページ）のあとで応答メッセージが流れます。
- 電話をかけてきた相手に聞こえるベルの回数は、子機または親機で鳴る回数より1〜2回多く聞こえます。

1 **通話を切った状態で、(handset priority)を押す。**

2 **(1)〜(9)で 優先着信が自動的に解除される時間（1桁）を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。
電話がかかってくると、その子機のベルが他より先に鳴ります。

優先着信をやめるには

優先着信は、設定した時間後に自動的に解除されますが、その前に解除するには以下の操作をしてください。
優先着信が設定されている子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、(handset priority)を押す。**

2 **(0)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。
優先着信が解除されます。

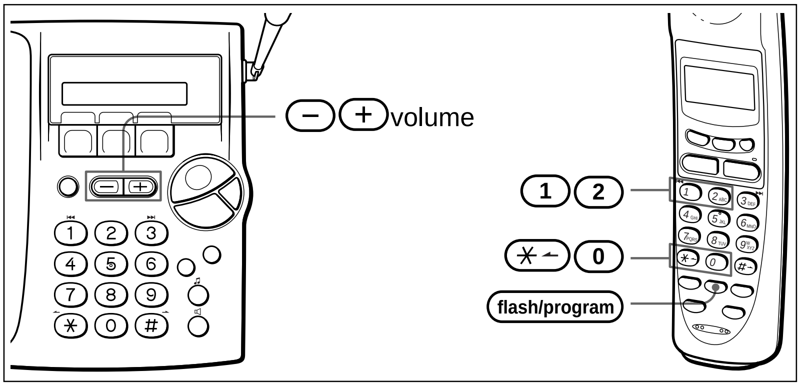
子機が2台以上ある場合

優先着信を設定した子機で優先着信中（ベル4〜5回以内）に電話に出ると、他の子機には着信記録は残りません（親機には残ります）。

ベル音量を調節する

親機 ベル音量大、ベル音量中、ベル音量小、ベル音「切」の4つから選びます。

子機 ベル音量大、ベル音量小、ベル音「切」の３つから選びます。



ちょっと一言

- 「切」ではベルが鳴りませんが、通話／着信表示が点滅して、電話がかかってきたことが分かります。
- お買い上げ時は、「中」になっています。

親機のベル音量

受話器を置いたままで、＋（大）または－（小）volumeボタンを押す。
大⟷中⟷小と切り換わり、設定した音量でベルが鳴ります。ベル音を「切」にするには、volumeボタンの －を「ベルOFFです」と聞こえるまで押し続けます（約2秒間）。
おやすみ応答（☞67ページ）になっているときは、続けて「おやすみ応答設定しました」と聞こえます。

ちょっと一言

- 「切」ではベルが鳴りませんが、in use/chargeランプなどの点滅で、電話がかかってきたことが分かります。
- お買い上げ時は、「大」になっています。
- 内線通話のベル音量は「切」になっていても「小」で鳴ります。
- ベル音が「切」になっていても、モーニングコールのベル音は聞こえます。

子機のベル音量

1 **通話を切った状態でflash/program、2または ＊を続けて押す。**



2 **0（切）1（小）2（大）のうちひとつを押す。**
選んだ音量でベルが鳴ります。
番号を変更しない場合は手順3へ進んでください。

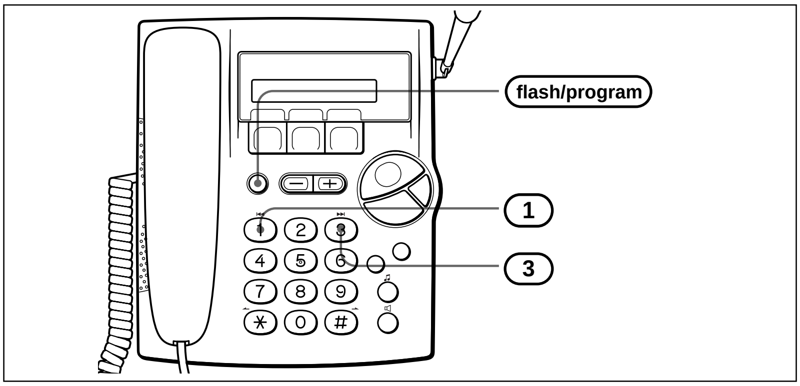


3 **flash/programを押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

留守番電話の応答を聞こえなくする（おやすみ応答）

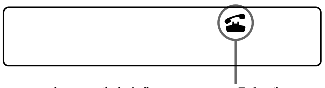
おやすみ応答を設定すると、親機のベル音も「切」になり、留守設定中に電話がかかってきたとき、応答メッセージや相手の声が聞こえなくなります。

親機で操作します。



💡 **ちょっと一言**

- お買い上げ時はおやすみ応答は解除になっています。
- おやすみ応答設定時には

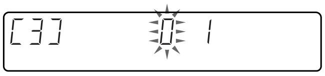


この表示が点滅して、電話がかかってきたことが分かります。

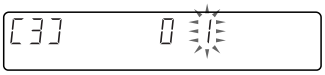
- ベル音「切」のまま、おやすみ応答のみを解除するには手順2で（0）（解除）を選んで（flash/program）を押します。

1 **受話器を置いたままで、（flash/program）、（3）を続けて押す。**

「おやすみ応答設定」



2 **（1）を押す。**



3 **（flash/program）を押す。**

「ピー」と鳴り、確認のため「おやすみ応答、設定しました。ベルOFFです」と聞こえます。

💡 **ちょっと一言**

右記の方法で、ベル音量を小、中または大にした場合、次にベル音「切」にすると、自動的におやすみ応答になります。

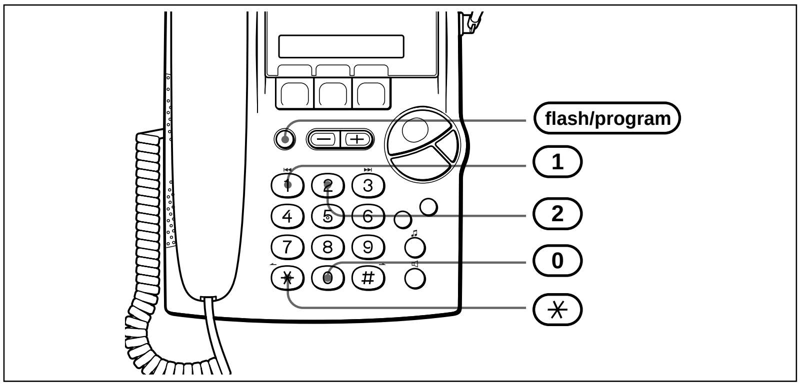
おやすみ応答を解除に戻すには

66ページの手順でベル音量を小、中または大にします。

「おやすみ応答、設定を解除しました」

電話の自動応答をやめる（自動応答解除）

ベルが鳴っても電話に出ないと、15回ベルが鳴ったときに、「ただ今留守にしています。のちほどおかけ直しください。」のメッセージが流れます。この自動応答機能を解除することができます。
親機で操作します。

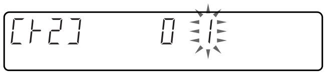


ご注意

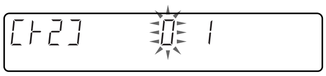
- 自動応答を解除すると、留守設定していない場合は、留守番電話のリモコン操作ができなくなります。
- 自動応答を解除すると、留守設定していない場合は、77セレクティのデータ受信が自動でできなくなります。

ちょっと一言
お買い上げ時は自動応答機能は設定になっています。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(＊)、(2)を続けて押す。**
「自動応答設定」



2 **(0)を押す。**



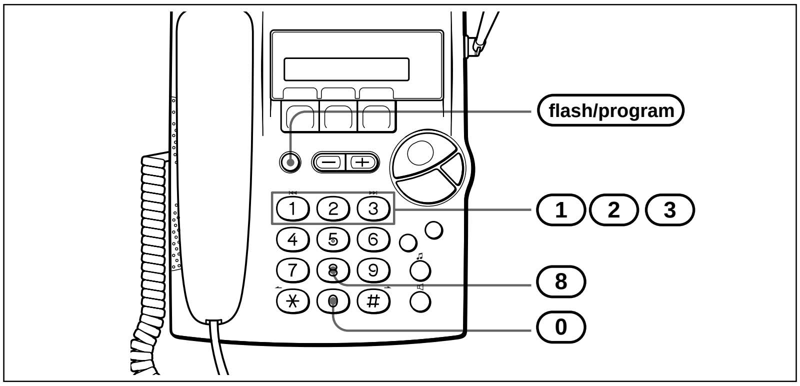
3 **(flash/program)を押す。**
「ピー」と鳴り、確認のため、「設定を解除しました」と聞こえます。

自動応答を設定に戻すには

上記の手順2で(1)（設定）を押します。
(flash/program)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のため「設定しました」と聞こえます。

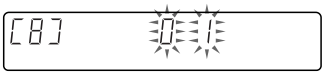
子機で着信メロディーを利用する

親機に登録された着信メロディーを子機へ転送し、子機で着信メロディーやモーニングコールメロディーとして利用することができます。また、子機1台につき最大2曲まで転送することができます。ただし、増設子機SPP-HG600には転送できません。
親機に着信メロディーを登録するには「「えらんでメロディ」サービスを利用する」（☞92ページ）をご覧ください。
親機で操作します。

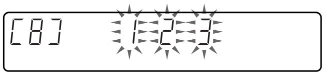


1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(8)を続けて押す。**

「メロディー転送」

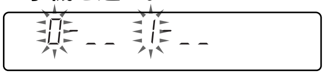


2 **(0)（メロディー0）または(1)（メロディー1）を押して、親機側のメロディーを選ぶ。**



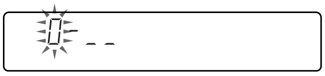
子機が1台の場合は、手順3の表示になります。

3 **(1)（子機1）、(2)（子機2）または(3)（子機3）を押して、転送先の子機を選ぶ。**



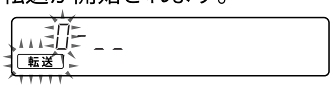
子機側の登録先0または1を選びます。すでにメロディーを登録してある場合は、登録番号のあとに「dd」と表示されます。メロディー登録済みの登録先を選ぶと、新しく登録されたメロディーに変更されます。

4 **(0)（登録先0）を押す。**



5 **(flash/program)を押す。**

転送が開始されます。



転送先子機の表示



転送が正常に終了すると確認のために、「ピー」と鳴ります。

ご注意
- 手順2で、親機に着信メロディーが登録されていない場合、エラー音が鳴り、「[62]」が表示されたあと、もとの状態に戻ります。
- 「ピピピピピ」と鳴り、「[73]」と表示されたときは、手順1からやり直してください。

ちょっと一言
増設子機SPP-HG600をお使いの場合、手順2で子機番号は表示されますが、転送はできません。

ご注意
初めてメロディー登録を行う場合は、必ず(0)（登録先0）を選んでください。

着信音／モーニングコールを取り込んだメロディーに変える

通常の着信音、またはモーニングコールアラームの代わりに、KDDIの「えらんでメロディ」（☞92ページ）（77セレクティをご利用のかたのみ）で取り込んだメロディーのうち1曲に変えることができます。子機では、着信メロディーをあらかじめ親機から転送する必要があります（☞69ページ）。

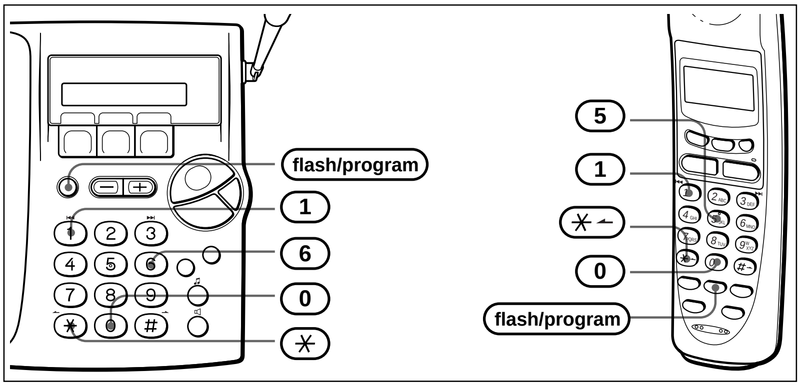
着信音をメロディーに変える

ご注意

ナンバー・ディスプレイ（☞30ページ）をお使いの場合は、以下のようになります。

- 音声呼び出し機能が設定されている場合、非通知理由音声呼び出し、呼び出し音声による着信のほうが着信メロディーよりも優先されます。
- 着信音をメロディーに変えると、着信音鳴り分け機能は働かなくなります。

親機で取り込んだメロディー（最大2曲）のうちから1曲を着信メロディーとして利用できます。

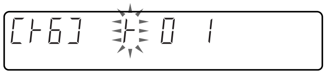


ご注意

手順1で、メロディーが登録されていない場合、エラー音が鳴り、「C62」が出たあと、もとの状態に戻ります。

1 **親機** **受話器を置いたままで、（flash/program）、（✳）、（6）を続けて押す。**

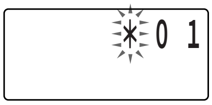
「着信メロディー設定」



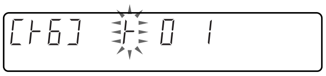
子機 **通話を切った状態で（flash/program）、（5）を続けて押す。**



（1）を押して、着信メロディー設定を選ぶ。

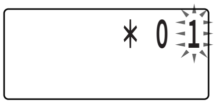


2 **親機** **（0）または（1）を押して、メロディーを選ぶ。**



（✳） 通常着信音
（0） 着信メロディー0
（1） 着信メロディー1

子機 **（0）または（1）を押して、メロディーを選ぶ。**



（✳） 通常着信音
（0） メロディー0
（1） メロディー1

ちょっと一言
手順3で、子機で(play)を押すとメロディーが再生されます。再生中もう一度(play)を押すとメロディーは止まります。また、メロディー再生中でも、(0)、(1)または(flash/program)を押すことができます。

3 **(flash/program)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

(flash/program)を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

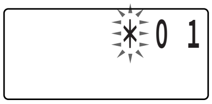
通常の着信音に戻すには

手順2で(✱)(通常着信音)を押します。(flash/program)を押すと、確認のために、「ピー」と鳴ります。

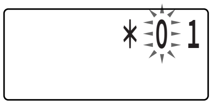
モーニングコールアラームをメロディーに変えるには（子機のみ）

モーニングコールのアラームを登録したメロディーに変えることができます。メロディーをあらかじめ親機から転送する必要があります（☞69ページ）。

1 70**ページの手順**1**で(flash/program)、(5)を続けて押したあとで、(2)を押してモーニングメロディー設定を選ぶ。**



2 **(0)または(1)を押して、メロディーを選ぶ。**



(✱) アラーム
(0) メロディー0
(1) メロディー1

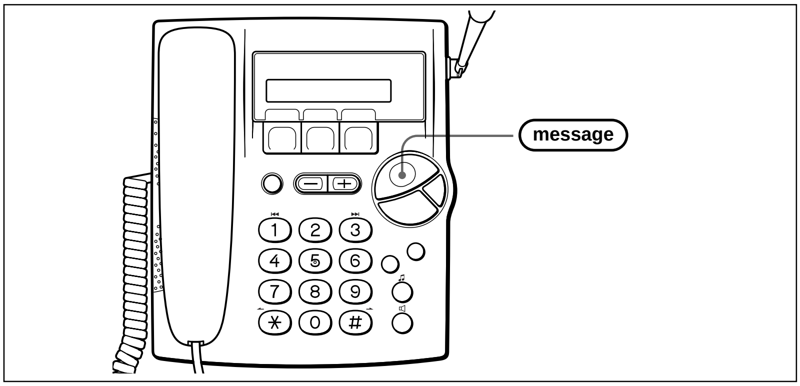
3 **(flash/program)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言
手順3で、(play)を押すとメロディーが再生されます。再生中もう一度(play)を押すとメロディーは止まります。また、メロディー再生中でも、(0)、(1)または(flash/program)を押すことができます。

留守番電話の基本の使いかた

外出前に

必ず日付•時刻は合わせておいてください（☞15ページ）。
親機で操作します。



message を押して点灯させる。

「ただ今留守にしています。発信音のあとにお話しください」と聞こえます。

留守中に電話がかかると

かかってきた電話に誰も出ないと、女性の声で「ただ今留守にしています。発信音のあとにお話しください」が流れ、相手の話した用件を録音します。

用件の録音時間は

合計約10分（最大20件）まで録音できます。用件がいっぱいになると、それ以上は録音できません。自分で応答メッセージを録音した場合や、呼び出し音声を録音した場合は、用件を録音できる時間が短くなります。

自分で応答メッセージを録音するには

75ページをご覧ください。

相手を確かめてから電話に出るには

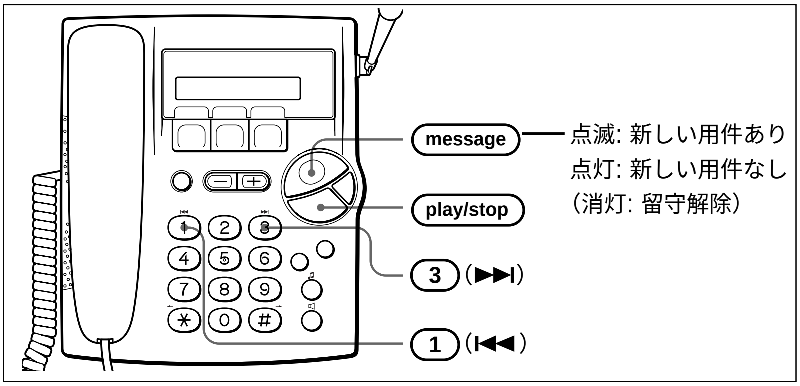
応答メッセージと相手の声は親機のスピーカーから聞こえます。この間に親機または子機で電話に出られます。電話に出ると録音は止まります。

ご注意

- message を押したときにエラー音が聞こえ、「C42 FULL」が表示されたときは、メモリーが満杯です。不要な用件を消去(☞78ページ）してから、もう一度 message を押してください。
- 相手が約7秒以上黙っていると電話は切れます。
- 留守中に用件がいっぱいになったときは、応答専用メッセージ「ただ今留守にしています。のちほどおかけ直しください。」に切り換わり、用件は録音されません。
  帰宅してから不要な用件を消去するか(☞78ページ)、外出先からリモコン操作で用件を聞いたあと、消去してください(☞81ページ)。

帰宅してから

親機で操作します。



1 **新しい用件があるか確かめる。**

2 **留守番状態のまま用件を聞くには**

(play/stop)を押す。

「用件はXX件です」

↓

用件の再生が始まる。

1件終わるごとに、

「X月X日、X曜日、午前（午後）XX時XX分」（タイムスタンプ機能）

↓

すべての用件を再生し終わると、再生を停止します。

「再生終了」

↓

(message)ボタンのランプが点灯に変わります。

留守番状態を解除して用件を聞くには(message)を押す。

(message)ボタンのランプが消え、

「用件はXX件です」

↓

用件の再生が始まる。1件終わるごとに、

「X月X日、X曜日、午前（午後）XX時XX分」（タイムスタンプ機能）

↓

すべての用件を再生し終わると、再生を停止します。

（着信記録から用件を再生するには（ダイレクト用件再生）☞35ページ）

用件の再生を途中でやめるには

(play/stop)を押します。

ご注意

- 用件の再生中に電話がかかってくると、再生は止まります。
- 外出先からリモコン操作で用件を聞いた場合、留守ボタンは点灯に変わりません。

ちょっと一言

- 用件がないときに(play/stop)を押すと「用件はありません」と聞こえます。
- 用件がないときに(message)を押して留守解除すると「用件はありません」と聞こえます。

留守番電話の使いかた

用件をもう一度聞くには

(play/stop)を押すと1件目からもう一度聞くことができます。

用件を消すには

(erase)を押します。
（詳しくは78ページをご覧ください。）

今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）

(1)（I◀◀）を押します。
再生が始まってから2秒以内にボタンを押したときは1つ前の用件に戻ります。

次の用件を聞くには（スキップ）

(3)（▶▶I）を押します。
次の用件の最初から再生します。

用件再生の音量は

(+)（大）または(−)（小）volumeボタンで調節します（☞29ページ）。

子機で用件を再生するには

ご注意
子機で用件を再生し終わっても(message)ボタンのランプは点滅のままです。

ちょっと一言
用件がないときに(play)を押すと「用件はありません」と聞こえます。

充電台から取って(off)を押してから、(play)を押す。
受話口から用件が聞こえます。

用件の再生を途中でやめるには

(off)を押します。

用件をもう一度聞くには

(play)を押すと1件目からもう一度聞くことができます。

今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）

(1)（I◀◀）を押します。
再生が始まってから2秒以内にボタンを押したときは1つ前の用件に戻ります。

次の用件を聞くには（スキップ）

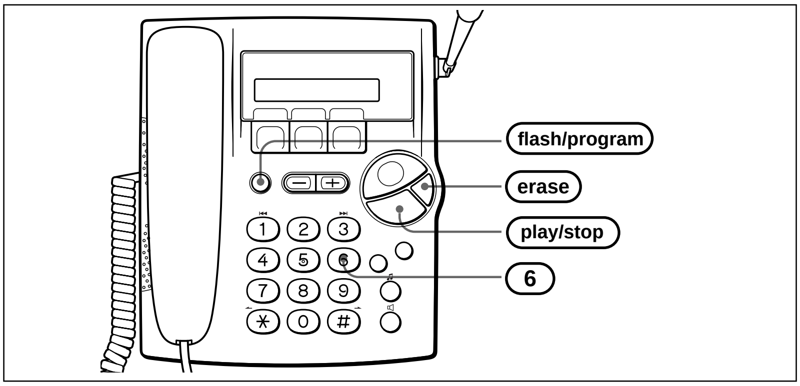
(3)（▶▶I）を押します。
次の用件の最初から再生します。

用件再生の音量は

(talk)（volume）ボタンで調節します（☞21ページ）。

自分で応答メッセージを録音する

あらかじめ録音されている応答メッセージ(☞72ページ) を使いたくないときは、自分で応答メッセージを録音できます。
親機で操作します。



ちょっと一言
自分で応答メッセージを録音すると、留守番電話の応答はそのメッセージに変わります。あらかじめ録音されている応答メッセージに戻すには76ページをご覧ください。

ご注意
- 応答メッセージは、聞き取りやすいように、ゆっくり、はっきりと話してください。
- 録音しようとするとき、エラー音が聞こえ、「C42 FULL」と表示されたときは、用件がいっぱいに録音されていて、メモリーが満杯です。不要な用件を消去してください (☞78ページ)。
  本機の録音可能時間は、用件、自分で録音した応答メッセージ、呼び出し音声を含めて約10分です。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(6)を続けて押す。**
「応答メッセージ録音。受話器を取って発信音のあとにお話しください。録音のあとに停止を押してください。」



2 **受話器を取り、「ピー」と鳴ったら受話器に向かって応答メッセージを話す。**



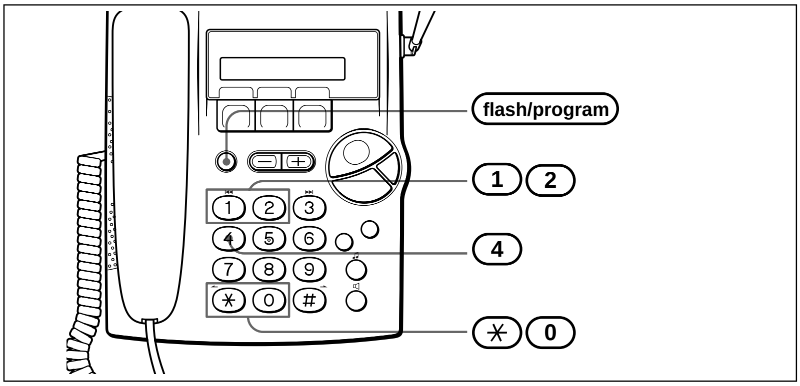
3 **(flash/program)、または(play/stop)を押す。または受話器を戻す。**
「ピー」と鳴り、録音した応答メッセージが聞こえます。
録音内容を確認してください。

録音した応答メッセージを聞くには
(message)を押して、留守番状態に設定します。

録音した応答メッセージを消去するには
1 (message)を押して応答メッセージを再生中に(erase)を押します。
「もう一度消去を押してください」
2 もう一度(erase)を押します。「ピー」と鳴ります。

応答メッセージを選ぶ

応答メッセージを選ぶことができます（メッセージの内容については手順2をご覧ください）。
お買い上げ時はあらかじめ録音されたメッセージ（レディメイドメッセージ）で応答し、応答メッセージを録音すると、そのメッセージに変わるようになっています。
親機で操作します。



ご注意

- 自作の応答メッセージがない場合は、あらかじめ録音されている応答メッセージで応答します。
- ナンバー・ディスプレイが解除になっているとき（☞30ページ）は「2」を選んだ場合、あらかじめ録音されたメッセージのみが使われます。

ちょっと一言

手順2で「0」に設定してあっても、応答メッセージを録音（☞75ページ）すると、自動的に「1」に変わります。

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(＊)、(4)を続けて押す。**

「応答メッセージ選択」



2 **(0)〜(2)を押して希望の応答メッセージを選ぶ。**



(0) あらかじめ録音されている応答メッセージ（☞72ページ）
(1) 自分で録音した応答メッセージ（☞75ページ）
(2) 電話帳に登録された（☞41ページ）電話にだけ自作の応答メッセージで応答する（ナンバー・ディスプレイ（☞30ページ）をお使いの場合）（自動切り換え応答）

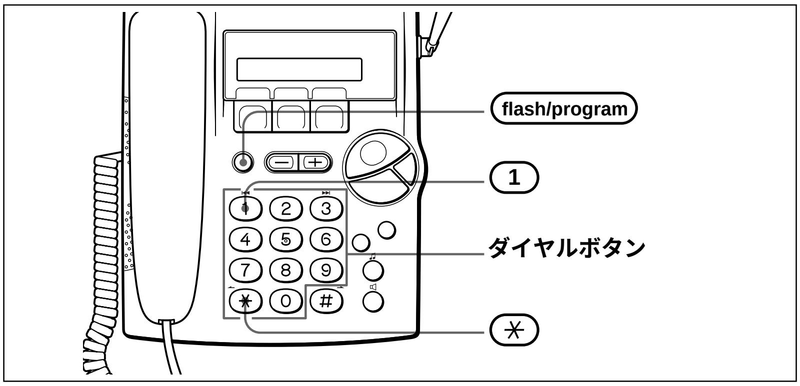
3 **(flash/program)を押す。**

確認のため、「ピー」と鳴ります。

ベルの鳴る回数を変える

ご注意
このページで説明している「ベルの鳴る回数」とは、かけてきた相手に聞こえるベル音の回数のことです。本機側で聞こえる回数とは異なる場合があります。ご注意ください。

留守番電話として使っているときに応答メッセージが流れるまでに鳴るベルの回数を選ぶことができます。お買い上げ時は、用件がないときは約5回、再生されていない用件があるときは約2回鳴ってからつながるようになっています（トールセーバー機能、☞80ページ）。
ベルの回数は、2回〜9回の間で選ぶことができます。ベルの鳴る回数を変えると、用件の有無に関係なく、選んだ回数だけベルが鳴ります。その場合、トールセーバー機能は使えません。
親機で操作します。



1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(*)、(1)を続けて押す。**

「ベル回数」

0 23456789

2 **(2)〜(9)を押して回数を選ぶ。**

0 23456789

3 **(flash/program)を押す。**

「ピー」と鳴り、選んだ回数「ベル回数（2〜9の番号）」が聞こえます。

トールセーバー機能に戻すには

手順2で(0)を押す。
(flash/program)を押すと、「ピー」と鳴り、「トールセーバー」と聞こえます。

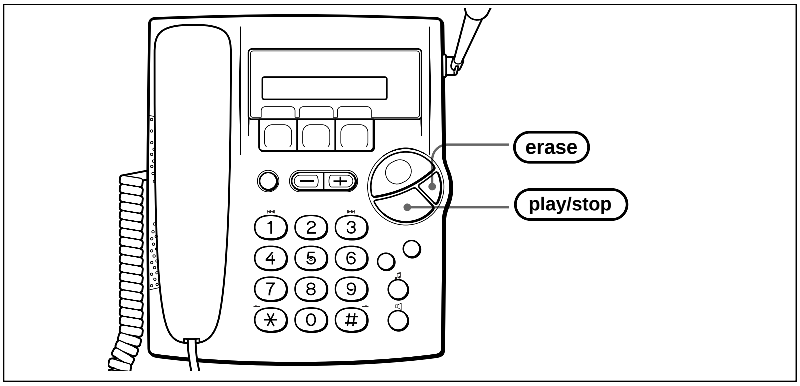
用件を消す

ご注意

- 用件は、親機またはリモコン操作で、一度は再生しないと消せません。
- 子機では用件を消すことはできません。

録音した用件は、以下の操作またはリモコン操作(☞81ページ)で消去するまで残っています。用件がいっぱいになってしまうと(約10分)新しい用件を録音できなくなるので、不要な用件は消してください。一度にすべての用件を消すことも、不要な用件だけを消すこともできます。

親機で操作します。



すべての用件を一度に消す

ご注意

(erase)を押したときに、「ピピピピピ」と鳴り、「C61」が表示されたときは、すべての用件を再生してから操作をやり直してください。

1 **すべての用件を再生する(☞73ページ)。**

2 **受話器を置いたままで、(erase)を押す。**

「もう一度消去を押してください」

3 **(erase)を押す。**

確認のため、「ピー」と鳴ります。

用件を1件ずつ再生しながら消す

1 **消したい用件を再生する(☞73ページ)。**

2 **再生している間に、(erase)を押す。**

「もう一度消去を押してください」

3 **(erase)を押す。**

確認のため、「ピー」と鳴り、次の用件の再生が始まります。

再生を止めるには、(play/stop)を押します。

外出先で用件を聞く（リモコン操作）

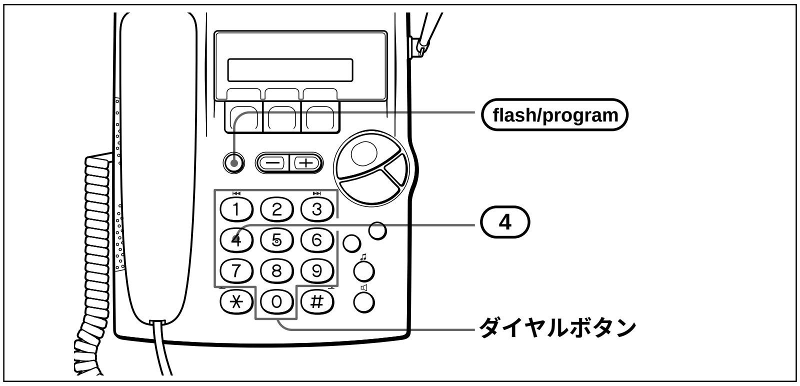
つづく→

外出先から自宅に電話をかけて、留守中に録音された用件を聞くことができます。外出時には、81ページのリモコンカードを持っていくと便利です。

親機で操作します。

暗証番号を登録する

まず、暗証番号を登録します。この番号は「用件を外出先に転送する」（☞83ページ）でも共通に使います。



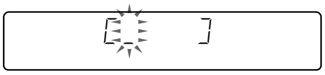
ご注意

- 暗証番号は確認することができません。忘れてしまったら、登録し直してください。
- 暗証番号を消すことはできません。

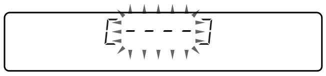
1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(4)を続けて押す。**

「暗証番号登録」

初めて設定する場合

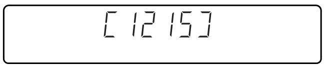


設定済みの場合



2 **ダイヤルボタンで4桁の数字を押す。**

例：暗証番号「1215」を登録する場合



3 **(flash/program)を押す。**

「ピー」と鳴ります。忘れないように、81ページのリモコンカードにメモしておいてください。

暗証番号を変えるには

上記の手順1〜3を行う。

外出先で用件を聞く

ご注意

- ダイヤル回線の場合、手順2の前にトーンボタンなどでプッシュホン信号に切り換えてから、(#)と暗証番号を押します。
- 暗証番号を3回間違えると電話は切れます。
- 命令待ちの20秒の間に何も操作しないと電話は切れます。
- 一連の操作は5秒以内に行ってください。（例えば(#)(2)(#)と操作する場合、(#)を押して5秒以内に(2)を、(2)を押して5秒以内に(#)を押してください。）5秒以上かかると、命令待ちの20秒に戻るので、もう一度操作をやり直してください。
- 親機の(message)ボタンのランプが点滅しているとき、外出先で用件を再生しても親機の(message)ボタンのランプは点滅したままです。

ちょっと一言

用件再生の途中で再生を停止したり、他のリモコン操作をしたい場合は、(＊)(＊)と押してください（☞82ページ）。

プッシュ回線の電話（公衆電話など）またはトーンボタンなどでプッシュホン信号の出せる電話機から操作してください。

1 **プッシュ回線の電話（公衆電話など）で本機に電話をかける。**

2 **応答メッセージが流れている間に(#)と4桁の暗証番号を押す。**
用件があるときは、「用件はXX件です」が聞こえ、用件が再生されます。再生が終わると「再生終了」と「ピー」という音の後に命令待ちの音「ピッ…ピッ…」が聞こえます。
用件がないときは、「用件はありません」が聞こえ、すぐに命令待ちになります。

3 **さらにリモコン操作をする場合は、81ページの表に従って操作する。**
リモコン操作をしない場合は、電話を切る。

留守番電話にするのを忘れて外出したら

ご注意

自動応答機能が解除されている（☞68ページ）と操作できません。

1 本機に電話をかけ、ベルが15回以上鳴るのを待つ。
2 「ただ今留守にしています・・・」が聞こえたら、(#)と暗証番号を押す。
「ピー」と鳴ります。
3 命令待ちの音が聞こえている間に(#)(0)(#)と押す。
応答メッセージが流れ、本機は留守番状態になります。

外出先で用件の有無を確かめるには（トールセーバー機能）

ご注意

ベルの鳴る回数を変えているとき（☞77ページ）は、トールセーバー機能は働きません。

お買い上げ時には、再生されていない用件があるときはベルが約2回、用件がないときはベルが約5回鳴るとつながるようになっています。
外出先から電話をして、ベルが3回鳴ってもつながらないときには用件は入っていませんので、この時点で電話を切れば電話料金がかかりません。

つづく→

外出先でできる操作

命令待ちの音「ピッ...ピッ...」(20秒間) が聞こえている間に以下の操作をしてください。
それぞれの操作が終わると確認音「ピー」が鳴り、命令待ちの状態に戻ります。

こんなときは	この操作をします
用件を聞く(再生)	(#)(2)(#)
今聞いている用件をとばして次の用件を聞く(スキップ)	再生中に：(#)(3)(#)
今聞いている用件をもう1度聞く(リピート)	再生中に：(#)(1)(#) 再生が始まってすぐに操作すると、1件前の用件に戻ります。
用件を全部消す(消去)	すべての用件を再生した後に：(#)(4)(#)→(5秒以内に)(#)(4)(#) (リモコン操作では特定の用件を消すことはできません。)
用件を録音する	(#)(5)(#)→「ピー」→用件を吹き込む→(*)(*)(停止命令)
「用件転送」に設定する	(#)(7)(#)
「用件転送」を解除する	(#)(8)(#)

リモコンカード

- 外出先からのリモコン操作にお使いください。
- 点線から切り取ってお使いください。
- 暗証番号を記入しておくと忘れたときなどに便利です。

SPP-VC111 **リモコン操作**

暗証番号 # □□□□

外出先から用件を聞くには

1 自宅に電話をかける。
2 応答メッセージが聞こえている間に、(#)と暗証番号を押す。

用件が1件目から聞こえます。

外出先から留守番電話に設定するには

1 自宅に電話をかけ、ベルが15回以上鳴るのを待つ。
2 「ただ今留守にしています・・」と聞こえたら、(#)と暗証番号を押す。
3 (#)(0)(#)と押す。

応答メッセージが流れ、自宅の電話は留守番状態になります。

他の操作をするには、裏面を見てください。

SPP-VC111 **リモコン操作**

暗証番号 # □□□□

外出先から用件を聞くには

1 自宅に電話をかける。
2 応答メッセージが聞こえている間に、(#)と暗証番号を押す。

用件が1件目から聞こえます。

外出先から留守番電話に設定するには

1 自宅に電話をかけ、ベルが15回以上鳴るのを待つ。
2 「ただ今留守にしています・・」と聞こえたら、(#)と暗証番号を押す。
3 (#)(0)(#)と押す。

応答メッセージが流れ、自宅の電話は留守番状態になります。

他の操作をするには、裏面を見てください。

外出先で用件を聞く（リモコン操作）（つづき）

こんなときは	この操作をします
用件転送（☞83ページ）の用件の転送先を登録変更する	(#)(9)(#)→転送先電話番号→(#)(9)(#) 例：ポケベルを転送先に登録する場合：(#)(9)(#)→ポケベル番号→（本機をダイヤル回線で使っている場合のみ(#)(3)） →(#)(4)・(#)(4)・(#)(4)・(#)(4)・(#)(4)・(#)(4)（ポーズ6回分*） →メッセージ** →(#)(2)・(#)(2)（終了命令）→(#)(9)(2)(#) (#)(3)は「トーン」を、(#)(4)は「ポーズ」を置き換えたものです。
応答メッセージを録音する	(*)(7)(*)→「ピー」→応答メッセージを吹き込む→(*)(*)（停止命令） →応答メッセージの確認
留守番状態を設定/解除する	(#)(0)(#) 押すたびに、設定←→解除と切り換わります。 留守番に設定されたときは、応答メッセージが再生されます。 解除されたときは、☞「留守設定を解除しました」と聞こえます。
リモコン操作をやり直す	(*)(*) 今の操作が中止され、確認音が「ピー」と鳴り、命令待ちになります。用件再生中にリモコン操作をやめるときは、必ず(*)を2回押してから受話器を戻してください。この操作をしないと、本機はすべての用件の再生が終わるまで話し中の状態が続く場合があります。

* サービス会社によって、ポーズ（(#)(4)）の登録回数が異なります。ポケベルが呼び出されたときに、登録したメッセージが表示されなかったときは、ポーズの回数を調節してください（ポーズ1回は約4秒です）。
** 電話番号やメッセージを入力するとき、(*)（アスタ）は(#)(1)に、(#)（シャープ）は(#)(2)に置き換えてください。

用件を聞く**（再生）**	(#)(2)(#)
次の用件を聞く**（スキップ）**	(#)(3)(#)
今聞いている用件をもう1度聞く**（リピート）**	(#)(1)(#)
用件を全部消す**（消去）**	(#)(4)(#)→(#)(4)(#)
用件録音	(#)(5)(#)
「用件転送」設定	(#)(7)(#)
「用件転送」解除	(#)(8)(#)
転送先登録	(#)(9)(#)→電話番号→(#)(9)(#)
留守設定・解除	(#)(0)(#)
応答メッセージ録音	(*)(7)(*)
リモコン操作やり直し	(*)(*)

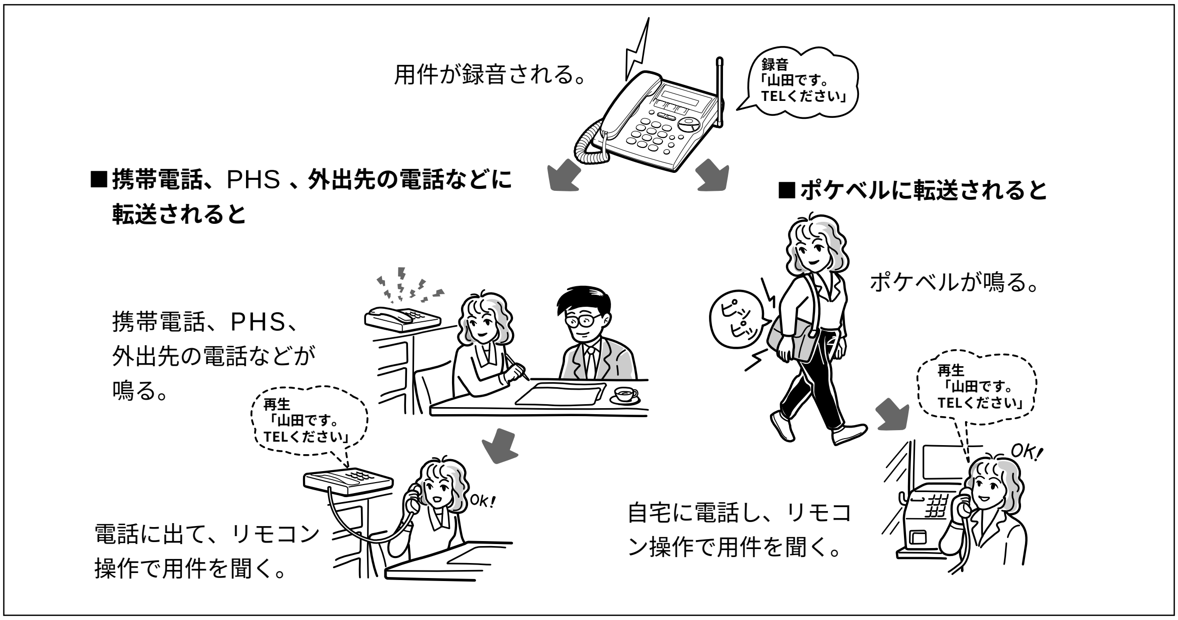
用件を聞く**（再生）**	(#)(2)(#)
次の用件を聞く**（スキップ）**	(#)(3)(#)
今聞いている用件をもう1度聞く**（リピート）**	(#)(1)(#)
用件を全部消す**（消去）**	(#)(4)(#)→(#)(4)(#)
用件録音	(#)(5)(#)
「用件転送」設定	(#)(7)(#)
「用件転送」解除	(#)(8)(#)
転送先登録	(#)(9)(#)→電話番号→(#)(9)(#)
留守設定・解除	(#)(0)(#)
応答メッセージ録音	(*)(7)(*)
リモコン操作やり直し	(*)(*)

用件を外出先に転送する（用件転送）

つづく→

ご注意
- NTTの転送電話サービスとは異なります。かけてきた相手と直接話しをする機能ではありません。
- 用件を転送する料金は本機側の負担となります。

留守中に録音された用件を外出先に転送することができます。
携帯電話、PHS、外出先の電話、ポケベルなどを転送先として登録できます。登録できる転送先は1か所です。
転送は15分間隔で3回呼び出します。それでもつながらない場合は、そこで終了します。



操作の流れ

準備1：暗証番号を登録する　（☞79ページ）
準備2：転送先の電話番号を登録する（☞84ページ）
⬇
外出前に：「用件転送」に設定する　（☞85ページ）
⬇
外出先で：転送された用件を聞く　（☞85ページ）

転送先として登録できるのは

- 携帯電話、PHS
- プッシュ回線の電話
- トーンボタンなどでプッシュホン信号の出せる電話機
- ポケベル

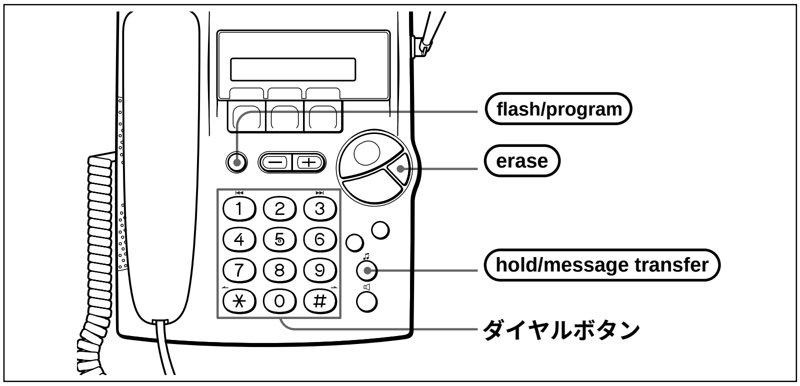
準備1：暗証番号を登録する

79ページ「暗証番号を登録する」の手順を行う。
暗証番号はリモコン操作（☞79ページ）で共通に使います。

外出先での操作

準備2：転送先の電話番号を登録する

親機で操作します。



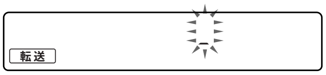
ちょっと一言
手順1の「設定済みの場合」の表示で(erase)を押すと全桁が削除され、新たに番号を入力できます。
手順2で番号入力中に(erase)を押すと1文字削除されます。

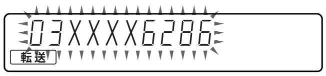
1 受話器を置いたままで、(flash/program)、(hold/message transfer)を押す。

「転送先登録」

番号を変更しない場合は、手順3へ進んでください。

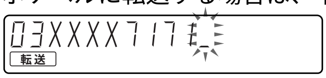
初めて設定する場合 / 設定済みの場合





2 転送先の電話番号を押す（40桁以内）。

ポケベルに転送する場合は、下記をご覧ください。



3 (flash/program)を押す。

「ピー」と鳴り、確認のため、登録した番号が聞こえます。

登録してある転送先の電話番号を消すには

転送先の電話番号が設定済みの場合、消去することができます。

1 手順1のあとで(erase)を押す。

2 そのまま(flash/program)を押す。

「ピー」と鳴ります。

ポケベルに転送するときは

ポケベルに表示させるメッセージも登録できます。
手順2で番号を登録するとき、以下のように入力します。

ポケベル番号 → (＊)（トーン）* → (redial)を6回** → 表示させるメッセージ → (#)(#)

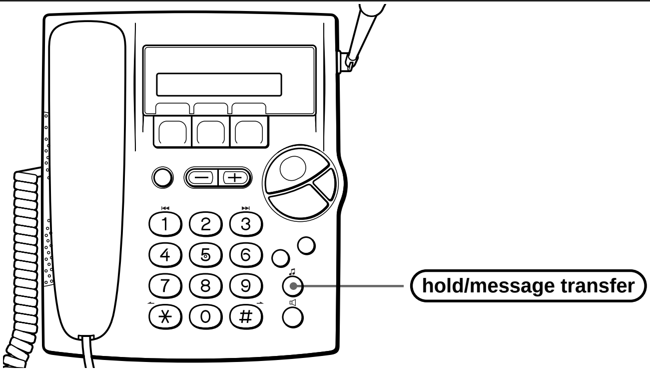
（40桁以内）

* 本機をダイヤル回線（☞16ページ）でお使いの場合のみ

** サービス会社によって、(redial)ボタンの登録回数が異なります。ポケベルが呼び出されたときに、登録したメッセージが表示されなかったときは、(redial)ボタンの登録回数を調節してください（(redial)ボタンを1回押すごとに、約4秒のポーズが作られます）。

外出先での操作

外出前に：「用件転送」に設定する



ちょっと一言

一度「用件転送」に設定すると、解除するまで、留守番状態にするたびに自動的に「用件転送」に設定されます。

ご注意

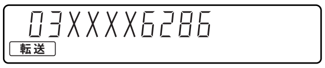
応答メッセージの設定が「0」のときは、あらかじめ録音されている応答メッセージが、「1」または「2」のときは、自作応答メッセージ（録音されていない場合は、あらかじめ録音されている応答メッセージ）が再生されます（☞72ページ）。

ご注意

「ピピピピピ」とエラー音が鳴ったときは、下記の項目を確認してください。

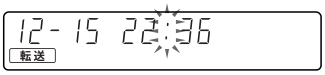
- 表示窓に「C 62」が出た場合：
  - 暗証番号が登録されているか（☞79ページ）。
  - 転送先が登録されているか（☞84ページ）。
- 表示窓に「C 42　FULL」が出た場合：
  - メモリーが満杯になっていないか。不要な用件を消去してください（☞78ページ）。

受話器を置いたままで、(hold/message transfer)を押す。



「ピー」と鳴り、「用件転送 設定しました」と聞こえます。

表示窓の「転送」の表示が点灯します。留守番状態になっていないときは留守ボタンも点灯し、留守番状態になり、応答メッセージ（☞72ページ）が聞こえます。



転送の設定を解除するには

受話器を置いたままで、(hold/message transfer)を押す。

「ピー」と鳴り、「用件転送 設定を解除しました」と聞こえます。

表示窓の「転送」の表示が消灯します。（このとき、留守状態は解除されません。）

外出先から転送を解除するときは81ページをご覧ください。

外出先で：転送された用件を聞く

ご注意

- ダイヤル回線の電話から操作する場合は、トーンボタンなどでプッシュホン信号に切り換えてから、(#)と暗証番号を押します。
- 暗証番号を3回間違えると電話は切れます。
- 電話が鳴ってから約40秒以内に暗証番号を押さないと、電話は切れます。
- 外出先からリモコン操作で用件を聞いても、(message)ボタンのランプは点滅のままです。

1 **外出先の電話またはポケベルが鳴ったら、以下の操作をする。**

- 転送先が電話のとき：電話を取り「暗証番号を押してください」が聞こえたら、(#)と4桁の暗証番号を押す。
- 転送先がポケベルのとき：本機に電話をかけ、応答メッセージが聞こえている間に(#)と4桁の暗証番号を押す。

用件が1件目から聞こえます。再生が終わると命令待ちの音「ピッ… ピッ…」が聞こえます。

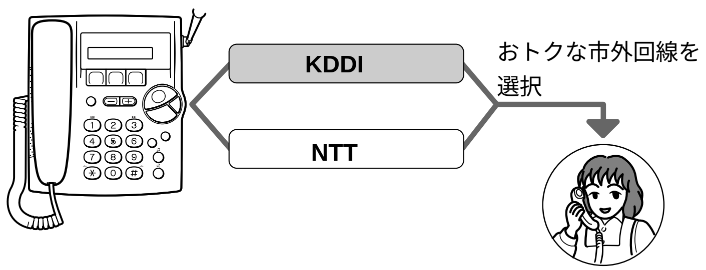
2 **さらにリモコン操作をする場合は、81ページの表に従って操作する。リモコン操作しないときは、電話を切る。**

0077 SELECTY 77セレクティとは？

「77セレクティ」は、親機をつなぐだけで、市外へ電話をかける場合、ダイヤルした相手先の電話番号と、曜日、時間帯により、KDDI*1の0077市外電話サービスとNTT*2回線のうち、通常通話料金*3のおトクな回線を本機が自動的に選択してくれる機能です。
電話をかけるとき、「0077」をダイヤルする必要がありません。
これまで通り市外局番からダイヤルするだけで、そのままKDDIの0077市外電話サービスがご利用いただけます*4。

- 親機をつなぐだけで、通常約1時間後にはそのままご利用いただけます。
- 登録料、定額料金等は一切不要です。（KDDIをご利用になった通話料金等は、KDDIから請求されます。）
- NTTと同額の場合は、KDDI (「0077」)を選択します。

*1 株式会社ディディアイ（2000年10月1日、DDI、KDD、IDOは合併します。）
*2 NTTコミュニケーションズ、NTT東日本、NTT西日本をいいます。
NTT東日本、NTT西日本の各社は、お住いの地域によってどちらか一方のご利用となります。
*3 割り引きサービス適用前の料金です。
*4 INS64等のダイヤルイン子番号に本機を設置された場合、KDDI とのご契約電話番号はダイヤルイン親番号となります。



77セレクティをご利用になると：

えらんでメロディ 和音（えらんでメロディ）

最新ヒット曲のなかから、お好きな曲を着信メロディーとして取り込むことができます（☞92ページ）。

77セレクティの問い合わせは、下記にご連絡ください。

KDDI カスタマサービスセンター

0077-772 **（無料）**

受付時間 9:00〜21:00
（土・日・祝も受付中）

他社の割り引きサービスをご利用されている場合

市外への通話がすべてKDDI通話となることにより、割り引きが適用されなくなる場合がございますので、ご注意ください。ご不明の点がございましたら、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

0077 SELECTY 77セレクティをご利用になるには

ご注意

- 次の場合は，77セレクティを正しくご利用いただけない場合があります。KDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。
  - ホームテレホンや構内交換機、ピンク電話、共同電話、着信専用電話等に接続したとき。
  - 移転などにより電話番号に変更があったとき。
  - 時計の設定に誤りがあるとき。（時刻は正しく設定してください、 ☞15ページ。）
- 本機からの発信時のみ77セレクティをご利用いただけます。本機以外からKDDIを利用して電話をおかけになりたい場合は、市外局番の前に「0077」をつけてダイヤルしてください。

本機には77セレクティがついています。77セレクティは、親機をつなぐだけで、通常約1時間後、そのままご利用いただけます。登録料金等はかかりません。0077市外電話をご利用になった通話料金のみKDDIから請求されます。

- NTTの基本料金は通常通りNTTから請求されます。

親機を接続します

「この電話機は、お取り付けいただくだけで、KDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は次の操作を行ってください。登録*、7、#（シャープ）と押して、液晶の「0077」が消灯したことを確認してください」と聞こえます。

* 登録ボタンとは、(flash/program)ボタンのことです。

↓（約1時間後）

本機が自動的にKDDIのセンターに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取ります（料金無料）

↓

オンライン通信（☞90ページ）

↓ 表示窓の「0077」表示が点灯します。

77セレクティがご利用になれます

（KDDIから77セレクティご利用開始の電話によるアナウンス）「こちらはKDDIです。おトクな0077市外電話の自動選択機能、77セレクティが設定されました。液晶の「0077」マークが点灯していることをご確認ください」と聞こえます。

ご注意

- 77セレクティのご利用開始のご案内は翌日になる場合があります。
- 話し中等により、KDDIからのご利用開始の電話によるアナウンスをお聞きにならなかった場合でも、表示窓の「0077」表示が点灯していれば、77セレクティが作動します。

001*[1]国際電話を利用する

「001」をダイヤルしてください。次に、国番号、地域番号、電話番号の順にダイヤルします。
例：アメリカのニューヨークの123-4567へかける場合
001 → 1*[2] → 212*[3] → 123-4567*[4]

*[1] KDDIの国際アクセス番号
*[2] アメリカの国番号
*[3] ニューヨークの地域番
*[4] 通話相手先の電話番号

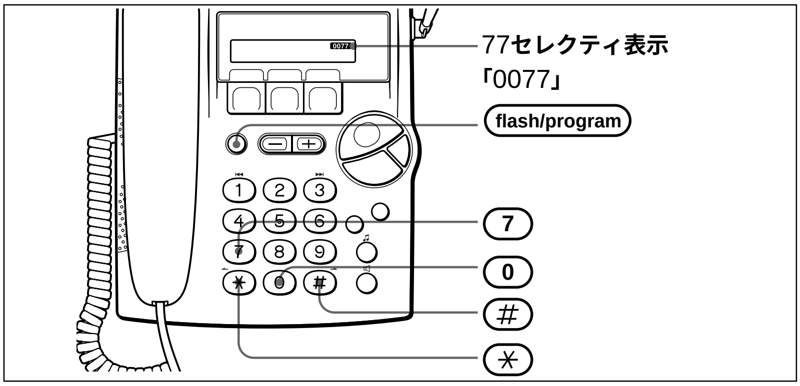
0077市外電話を利用する

相手先の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。（「0077」のアクセス番号のダイヤルの必要はありません。）

- NTTと同額の場合は、KDDI（「0077」）を選択します。
- 通話料金は、利用した電話会社からそれぞれ請求されます。

0077 SELECTY 77セレクティをご利用にならない場合は／再びご利用になる場合は

0077市外電話をご利用にならない場合、または、ホームテレホンや構内交換機、ピンク電話、共同電話などのご利用のため、77セレクティをご利用になれない場合、次の操作を行ってください。
親機で操作します。



77セレクティをご利用にならない場合は

ご注意

- 「77セレクティをご利用にならない場合は」の操作を行った場合でも、データが送信される（データ通信中は、表示窓の「0077」が点滅する）ことがありますが、ご利用にならない状態になっています。
- KDDIの割り引きサービスなどをご利用されている場合は、別途KDDIとのご解約の手続きが必要です。KDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。ご連絡いただけない場合は、月額料などが引き続きかかる場合があります。

受話器を置いたままで、(flash/program)、(7)、(#)を続けて押す。
「ピー」と鳴り，「77セレクティ、設定を解除しました」と聞こえます。
表示窓の「0077」が消灯します。

77セレクティを再びご利用になる場合は

受話器を置いたままで、(flash/program)、(7)、(*)を続けて押す。
「ピー」と鳴り，「77セレクティ、設定しました」と聞こえます。
操作後（約1分後）、本機が自動的にKDDIセンターに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取ります（オンライン通信）。（料金無料）オンライン通信については90ページをご覧ください。
表示窓の「0077」が点灯します。

その通話に限り77セレクティを使用しない場合は

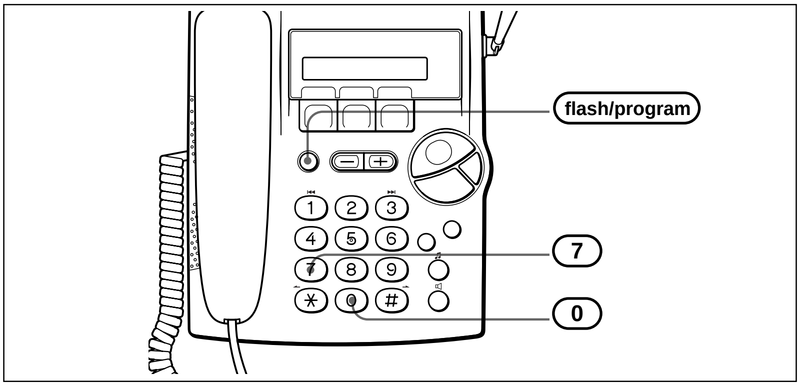
ちょっと一言
NTTエリアプラスなどを使って電話をかける場合、エリアプラス登録の相手先番号を「0000」から電話帳に登録すると便利です。

一時的に77セレクティを働かせないで、NTT市外回線を指定して電話をかけるときは、電話番号を押す前に(0)(0)(0)(0)を押してください。

電話番号が変わったとき

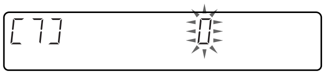
転居して電話番号に変更があった場合や、表示窓の「0077」の表示が点灯後、何らかの理由により点滅した場合は、次の操作を行ってください。

親機で操作します。



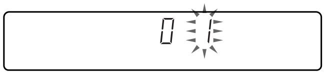
1 受話器を置いたままで、(flash/program)、(7)を続けて押す。

「77セレクティ」



2 (0)を押す。

「データ受け取り」



3 そのまま(flash/program)を押す。

「ピー」と鳴り、「データ受け取り、設定しました」と聞こえます。

操作後（約1分後）、本機が自動的にKDDIセンターに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取ります（オンライン通信）。（料金無料）オンライン通信については90ページをご覧ください。

ちょっと一言

この操作を行うと、それまでの77セレクティのデータはすべて消去されます。

ご注意

- KDDIの割り引きサービス等をご利用されている場合、KDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
- 表示窓の「0077」の表示が点灯後、何らかの理由により点滅した場合は、右の操作を行わないと77セレクティは正常に動作しません。
- 右の操作により、現在、NTTのエリアプラス、テレホーダイ、テレチョイス等の割り引きサービスにご加入のお客様は、市外への通話がすべてKDDI通話となることにより、割り引きが適用されなくなる場合がございますのでご注意ください。ご不明な点がございましたら、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

0077 SELECTY (77セレクティ)オンライン通信について

下記のような場合は、本機がKDDIのセンターへ自動的に電話をかけ、77セレクティのデータを受信します。

- お買い上げ時に電源を入れ、電話機コードを接続したとき（約1時間後にオンライン通信が始まります。）
- 「電話番号が変わったとき」（☞89ページ）の操作をしたとき（約1 分後にオンライン通信が始まります。）
- 「77セレクティを再びご利用になる場合は」（☞88ページ）の操作をしたとき（約1分後にオンライン通信が始まります。）

通話料金は一切かかりません。
表示窓の「0077」の表示が点灯すれば、77セレクティをご利用いただけます。

上記のオンライン通信の際、本機は自動的にKDDIのセンターへ電話をかけます。
これにより、NTTの発信者番号表示サービスにより、お客様のご利用されている電話番号がKDDIに通知されます。この場合、「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTと契約されているお客様の電話番号も、「186」が付加されKDDIへ通知されますので、ご了承ください。
「オンライン通信」はお客様がお使いになる地域の料金データ等をKDDIからお客様にお送りするために必要です。

お客様の電話番号などの情報は、KDDIのご利用サービスのみに利用するもので、他の目的に利用するものではありません。

尚、お買い上げ時に電源を入れ、電話機コードを接続してすぐに「77セレクティをご利用にならない場合は」（☞88ページ）の操作をしたときには、KDDIとのオンライン通信はされないことがあります。

77セレクティのご利用開始後も、料金の改定などに際し、必要に応じてKDDIから自動的にデータの更新のために電話がかかってくることがあります。

- データ受信のために電話を受けたときに、本機で電話を受けると、「ピポパ」音のあとに「こちらはKDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました。」と聞こえます。電話を切ってしばらくお待ちください（約1～2分）。
- 留守番電話に設定されていなくても、呼び出し音が15回鳴ると、自動的に本機が対応して、データを受信します。
- 同じ回線につないでいる他の電話機（ブランチ接続等）でオンライン通信の電話を受けたときは、「ピポパ」音を繰り返し、電話は切れます。KDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

ご注意

- データ通信中は、表示窓の「0077」が点滅していますが、そのときでも親機では電話をかけることができます。電話をかけるには、受話器を上げ「ピーピーピーピー」（話し中の音）を確認してから電話を一旦切り、しばらく待ってからおかけ直しください。その場合、データ通信は中断され、のちほど再び行われます。
- 留守番電話に設定していないとき、自動応答機能が解除されていると、（☞68ページ）、オンライン通信ができません。自動応答を設定に戻してください。
- データが正常に受信できなかった場合などは、再度送られてくることがあります。
- 西暦、日付、時刻を合わせていなくても、データ受信が終了すると、KDDI標準時刻に書き換えられます。
- 77セレクティご利用開始後、KDDIからご利用確認の連絡が入ることがあります。

ご利用にあたってのご注意・お願い

「77セレクティ」のご利用に基づき、KDDIから提供される電話サービス等は、KDDI電話サービス等契約約款によります。

KDDIの0077市外電話サービス、および他のサービスをご利用された料金は、KDDIから請求されます。

（NTTご利用の通話料金は従来通りNTTから請求されます。）

次のようなときにはKDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

- 表示窓の「0077」の表示が点灯後、何らかの理由により点滅または消灯したとき
- 通話料金・サービスなどに関してのお問い合わせ
- 転居などにより住所、電話番号が変更になったとき
- ダイヤルイン子番号に本機を設置したとき
- 本機を取り外したとき
- 本機を電話回線に接続後、数日たっても表示窓の「0077」の表示が点灯しないとき

KDDI のご利用料金のご請求およびお支払いについて

- ご利用料金は、銀行、郵便局等の金融機関ならびにコンビニエンスストア等の窓口にてお支払いいただけます。また、口座振り替えでもお支払いいただけます。
- 口座振り替えはお手続きが必要となりますので、KDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- 通話料金等のご請求のため、必要に応じ、お客様の電話番号、住所、氏名等についてKDDIがNTTから情報の提供を受けることがあります。

2001年5月のマイライン導入について

「マイライン*」（電話会社選択サービス）をご利用の場合

ご登録されている電話会社にかかわらず、77セレクティが作動し、KDDI「0077」を選択します。

「マイラインプラス*」（電話会社固定サービス）をご利用の場合

ご登録されている電話会社のみのご利用となります。

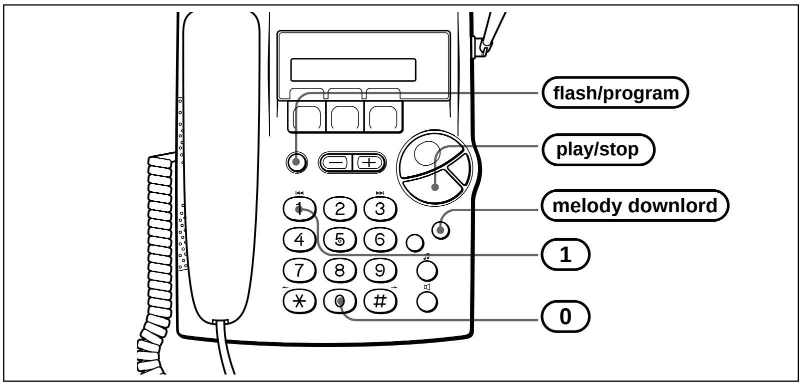
KDDIを「マイラインプラス*」にご登録されていない場合、KDDI「0077」は選択されません。電話をかけるときに「ピ、ピ、ピ」という機械音がする場合、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

*「マイライン」「マイラインプラス」は、NTT東日本、NTT西日本のサービスです。

「えらんでメロディ」サービスを利用する

ご注意
ご利用には東京国分寺（0423）までの0077市外通話料金がかかります。

KDDIが提供している「えらんでメロディ」サービスより、親機に着信メロディーを2曲まで登録することができます。また、サービス基本料金や登録料金は必要なく、通話料金のみでご利用いただけます。
「えらんでメロディ」は、表示窓の「0077」が点灯しているときにご利用いただけます。
親機で操作します。

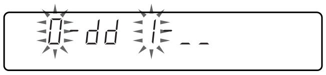


ご注意
音声呼び出し機能が設定されている場合、非通知理由音声呼び出し、呼び出し音声による着信の方が着信メロディーよりも優先されます。

ちょっと一言
手順2で(play/stop)を押すと操作を中止できます。

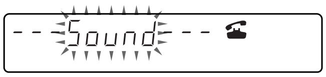
えらんでメロディの曲目について
下記にてご確認できます。
- KDDIカスタマサービスセンター
  フリーコール 0077-772（無料）
  受付時間 9:00～21:00
  （土・日・祝も受付中）
- ホームページ
  http://www.kddi.com/
  (URLは予告なく変更する場合があります。)

1 **受話器を置いたままで、(flash/program)、(melody downlord)を続けて押す。**



すでにメロディーが登録されている場合は、登録番号のあとに「dd」と表示されます。メロディー登録済みの登録先を選ぶと、新しく登録されたメロディーに変更されます。

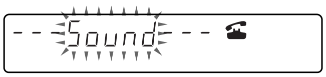
2 **(0)または(1)を押して、登録先番号を選び、(flash/program)を押す。**
自動的にサービスセンターに電話がかかります。



メロディー指定の準備が整うと（[　]内に最大有効曲番号を表示）



3 **メロディー曲番号を指定桁数で押す。**
（最大有効曲番号が120の場合は、[001]～[120]を入力してください。）
メロディーの取り込みを開始します。



メロディーの取り込みが終了すると曲の再生が始まります。



ちょっとー言
曲の再生中に何も操作しないと手順2に戻ります。

4 **登録したい曲が再生されたら、再生中に(flash/program)を押す。**
メロディーの保存を開始します。保存が終了すると電話は切れ、「ピー」と鳴ります。

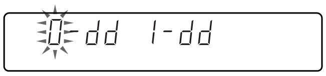
登録しない場合は
再生中に(play/stop)を押します。
手順2に戻ります。曲番号選択からやり直してください。

取り込んだメロディーを親機の着信メロディーとして利用するには
「着信音をメロディーに変える」(☞70ページ)を行ってください。

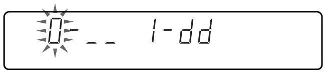
取り込んだメロディーを子機で利用するには
「子機で着信メロディーを利用する」(☞69ページ)を行ってください。

登録した着信メロディーを確認するには

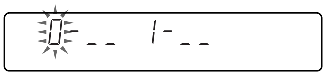
1 **受話器を置いたままで、(melody downlord)を押す。**
例1:登録先0、1ともにメロディーが登録されている場合



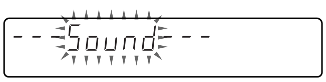
例2:登録先1のみメロディーが登録されている場合



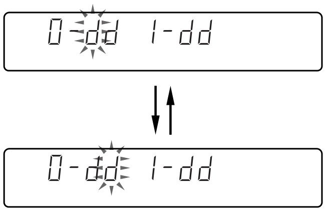
例3:登録先0、1ともにメロディーが登録されていない場合



2 **(0)(登録先0)または(1)(登録先1)を押す。**
例:手順1の例1の状態で、0を押した場合
メロディー再生準備中



登録先0のメロディー再生中



登録先0のメロディーを再生しながら、「d」が交互に点滅する。

ちょっとー言
メロディー再生を途中でやめるには、(play/stop)を押してください。

正しくお使いいただくために

取り扱いについて

- 電話機の内部を改造することは法律で禁じられています。
- コードレス電話機は、親機と子機の間で電波を使って交信します。無線機を使用している場所や放送局の近くなどでは電波障害を受けることがあります。
- このコードレス電話機は国内用です。海外ではお使いになれません。
- このコードレス電話機は、交信に複数の電波を利用し傍受されにくいようにしてあります。しかし第三者が特殊手段を講じて通話内容を傍受するケースが全くないとは言えませんのでご注意ください。この電話機にはスクランブル（盗聴防止）機能はついていませんので、特に重要な通話には、親機をご利用ください。

電源について

- 親機はDC 9Vで動作します。付属の電源アダプターAC-T34を家庭用電源コンセント（AC 100V）につないでお使いください。
- 充電台はAC 100Vで動作します。電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100V）につないでお使いください。
- 使用中、電源アダプターが温かくなりますが、故障ではありません。
- 電源アダプターや電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源アダプター本体か電源プラグを持って抜いてください。またコードを傷つけないように注意してください。

お手入れについて

キャビネットのクリーニング

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤液を水でうすめたもので湿らせた布で拭いたあと、から拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

停電時のご使用について

つづく→

停電時に電話をかけたり受けたりするには

停電中でも、親機では電話をかけたり受けたりすることができます。
子機は使えません。

親機で

- 電話をかけたり受けたりすることはできます。
  ただし、プッシュ回線でお使いの場合は、2時間以上の停電中は電話機の設定がダイヤル回線になってしまうため、電話をかけられなくなることがあります。
  この時は、電話をかける度に(＊)(tone) ボタンを押してから相手の電話番号を押してください（☞61ページ)。なお、停電から復帰すると、自動的にプッシュ回線に再設定されますので（☞16ページ)、通常通りお使いになれます。
- 電話がかかってくると、通常のベルではなく、停電時用のベルが鳴ります。
- 受話音量は調節できません。
- ナンバー・ディスプレイ機能は使えません。
  ナンバー・ディスプレイに加入しているかたは、電話がかかってきたときに、最初に短く鳴っても電話に出ずに、普通にベルが鳴ってから出てください。電話に出るときに「ジャー」という音が聞こえた場合は、いったん受話器を戻してください。
- オンフックダイヤルは使えません。
- 77セレクティは使えません。
- 再ダイヤル、着信記録、電話帳は使えません。
- おことわり機能は使えません。
- 停電中、親機のすべてのランプは消えています。

留守番機能は

- 留守番電話としては使えません。
- 用件の再生など、留守番電話の機能はすべて使えません。

長い停電から復帰すると

長い停電のあとは、日時表示が2000年1月1日にリセットされます。日付、時刻を設定(☞15ページ)し直してください。77セレクティをお使いのかたは、約1時間で自動的に日付、時刻が設定されます。日付、時刻が再設定されても表示窓の「0077」が点滅、または消灯しているときは、KDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

電話帳などの登録内容や録音内容は？

以下の内容は、2時間以上の停電があった場合はお買い上げ時の状態に戻ります。（電源に接続してから2時間以上たっていないときは、2時間以内の停電であっても、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。なお、電源アダプターを2時間以上抜いた場合も停電時と同じです。）

- 日付、時刻設定（2000年1月1日にリセットされます。☞15ページ）
- 親機の受話音量（☞19ページ）、親機のベル音量（☞66ページ）、スピーカー音量（☞29ページ）
- 優先着信の設定（☞65ページ）
- 再ダイヤル（☞58ページ）
- 留守の設定（☞72ページ）

以下の内容は保持されます。

- 録音された用件とその時刻（タイムスタンプ）
- 録音した応答メッセージ
- 呼び出し音声
- ベルの回数
- 用件転送設定
- 用件転送先電話番号
- 暗証番号
- 電話帳の登録内容
- 着信記録
- おことわり先電話番号
- 非通知理由音声呼び出し設定
- ナンバー・ディスプレイの設定
- キャッチホン・ディスプレイの設定
- 77セレクティの設定
- 応答メッセージの選択設定
- 着信メロディー
- 着信メロディー設定
- おやすみ応答設定
- 自動応答設定

以下の内容は、子機のバッテリーをはずしたり、消耗した場合はお買い上げ時の状態に戻ります。

- クイック通話設定（☞64ページ）
- 子機のベル音量（☞66ページ）
- 子機再ダイヤル（☞58ページ）
- モーニングコール指定時刻（☞62ページ）
- モーニングコール予約設定（☞63ページ）

子機では以下の内容は保持されます。

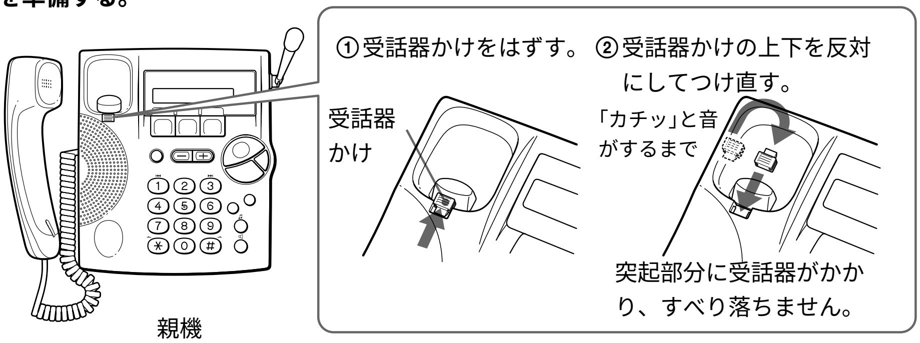
- 子機電話帳の登録内容
- 子機着信記録
- 着信メロディー
- 着信メロディー設定
- モーニングコールのメロディー設定

壁に取り付ける

別売りの壁かけアダプターTL-E96を使って親機を壁に取り付けることができます。

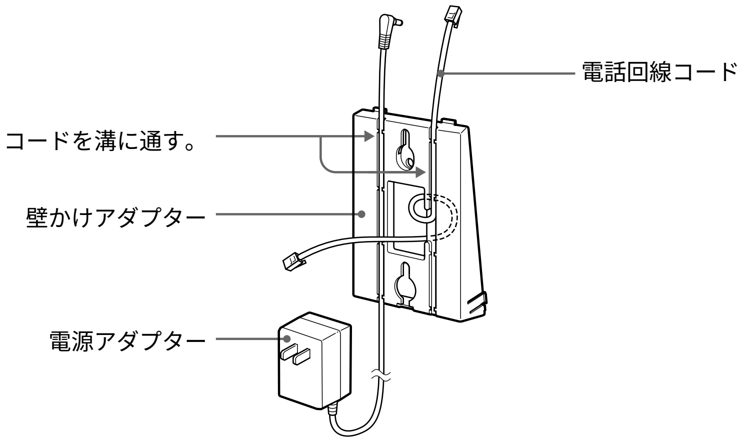
- 電話回線と家庭用電源コンセントにつなぐことのできる場所を選んでください。
- 壁に親機の重みがかかりますので、しっかりした壁を選んで取り付けてください。

1　親機を準備する。



2　壁かけアダプターを準備する。

電話回線コードをアダプターの穴に通し、電源アダプターのコードを溝に通す。



3　壁かけアダプターと親機を壁に取り付ける。

取り付けかたについては、詳しくはTL-E96の「取り付けかた」をご覧ください。

ご注意

TL-E96に付属のネジをお使いください。

4　アンテナをまっすぐに上に立てる。

故障かな？と思ったら

親機

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
「ツー」という発信音が聞こえない。	• 電話回線コード、受話器コードはしっかりつながっていますか？	☞ 12
	• ナンバー・ディスプレイのデータ受信中ではありませんか？いったん受話器を置いて、普通にベルが鳴ってから、もう一度持ち上げてください。	☞ 14
電話をかけたり受けたりはできるが、その他の操作ができない。	• 停電中ではありませんか？停電の間は親機の受話器でのみかけたり受けたりすることができます。	☞ 95
	• 電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
オンフックダイヤルできない。	• 停電中ではありませんか？　停電中はオンフックダイヤルできません。	☞ 95
スピーカーから聞こえる音が小さい。	• スピーカー音量が最小になっていませんか？ 通話中に(＋)または(－)volumeボタンを押して聞きやすい音量に調節してください。	☞ 29
ベルが鳴らない。	• ベル音量を「切」にしていませんか？	☞ 66
子機で保留にした電話を親機で受けようとしても受けられない。	• 子機で保留にしたあと、充電台に戻すか、(off)ボタンを押しましたか？いずれかをしないと、親機で電話に出ることはできません。	☞ 22
受話器を上げたのにベルが鳴っている。	• ナンバー・ディスプレイのデータの着信中です。 いったん受話器を置いてから、もう一度持ち上げてください。	☞ 14
3桁の番号が呼び上げられる。	• 販売店で設定するための機能です。故障ではありません。	—
色々な表示が次々に出て、どのボタンを押しても動作しない。	• 電話回線コードは接続されていますか？	☞ 13

子機

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
ベルが鳴らない。	• バッテリーが消耗していませんか？バッテリーを10時間ほど充電してみてください。	☞ 17
	• 本機の近くで他のコードレス電話を使っていませんか？2組以上のコードレス電話機を使用するときはできるだけ離れた場所に設置してください。	☞ 11
	• ベル音量を「切」にしていませんか？	☞ 66
「ツー」という発信音が聞こえない。（充電台から取ったとき、またはtalkボタンを押したとき）	• バッテリーが消耗していませんか？バッテリーを10時間ほど充電してみてください。	☞ 17
	• 停電中ではありませんか？停電中は子機では電話をかけたり受けたりできません。	☞ 95
	• 親機の電話回線コードや電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
	• 親機に子機を近づけて再び試してみてください。	☞ 11
雑音が多い。	• 親機と離れすぎていませんか？	☞ 11
	• 他の電化製品から離してみてください（親機、子機とも）。	☞ 10

つづく→

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
電話を受けようとしたが、通話できない。	• 子機のベルが鳴り始める前に、電話を受けようとしませんでしたか？子機のベルが鳴り始める前に、電話を受けると、通話できないことがあります。	☞ 21
親機（または他の子機）で保留にした電話を子機で受けようとしても、受けられない。	• 親機（または他の子機）で保留にしたあと、受話器を戻しましたか？親機（または他の子機）の受話器を戻さないと、子機では電話に出ることはできません。	☞ 22
再ダイヤルから電話できない。	• 21桁以上ダイヤルしませんでしたか？	☞ 58
	• 再ダイヤルすべてを消去してありませんか？	☞ 59
モーニングコールが鳴らない。	• 指定時刻になったときに電話中だったり、他の操作中の場合には、ベル音は鳴らないことがあります。	☞ 62
充電できない。	• 充電台の上に子機を置いたとき、ランプは点灯していますか？充電台の電源コードが電源コンセントにしっかりつながれているかどうか確認してください。	☞ 17
	• バッテリーの寿命ではありませんか？	☞ 18
子機を充電台にのせても充電ランプが点灯しない.。	• 充電台の電源コードが電源コンセントにしっかりつながれているかどうか確認してください。	☞ 17
子機で通話していないのにtalkボタンのランプが点灯している。	• 子機を充電台にのせたまま充電台の電源コードを抜きませんでしたか？充電台を電源コンセントにつないでください。	☞ 17

親機/子機共通

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
電話をかけても電話がかからないか、違う相手にかかる。	• 電話回線の種類の設定を確かめてください。使用している電話回線の種類に合わせます。	☞ 16
	• 停電中ではありませんか？親機でも、プッシュ回線でお使いの場合、2時間以上の停電中は、電話機の設定がダイヤル回線になってしまうために、電話をかけられなくなることがあります。この場合は、電話をかける度に(＊)(tone) ボタンを押してから相手の電話番号を押してください。	☞ 95
内線通話ができない。	• 停電中ではありませんか？	☞ 95
	• 電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
電話をかけていないのに電話がかかってしまった。	• 用件の転送中の可能性があります。受話器を戻し、本機が再び転送を始める前に転送を解除してください。	☞ 85
ベル音の種類が違うことがある。	• 電話帳に登録された相手からの通話を検出して鳴り分けています。	☞ 35
通話中の会話が途切れ、無音状態になる。	• キャッチホン・ディスプレイを設定していませんか？キャッチホン・ディスプレイの設定をされると、本機が通話中の会話をキャッチホンの割り込み音と誤認して動作することがあります。その場合、約4秒間無音の状態になりますが、故障ではありません。	☞ 57
短いベル音が普通のベル音の前に鳴る。	• ナンバー・ディスプレイが解除になっていませんか？	☞ 30
受話器を取ると「ジャー」という雑音が聞こえる。	• ナンバー・ディスプレイが解除になっていませんか？	☞ 30

ナンバー・ディスプレイ機能

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
相手の電話番号が表示されない。	• NTTのナンバー・ディスプレイに加入していますか？	☞ 30
	• ナンバー・ディスプレイが解除になっていませんか？	☞ 30
	• 「-0-」「-C-」などの表示が点灯していませんか？	☞ 31
呼び出し音声が出ない。	• 呼び出し音声が正しく登録または録音されているか確認してください。	☞51、53、54
	• 非通知理由音声呼び出し機能が解除されていませんか？	☞ 39
	• 電話帳に登録するときに市外局番から登録してありますか？	☞ 41
外出先から電話すると「恐れいりますが、186を最初にダイヤルしてからおかけ直しください」と聞こえる。	• 非通知おことわり設定していませんか？「186」を頭につけてダイヤルしてください。	☞ 37

留守番機能

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
留守ボタンが点灯しない。	• 用件が満杯ではありませんか？不要な用件は消去してください。	☞ 78
留守中に電話がかかったのに応答しない。	• 電話回線コードや電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
	• 停電がありませんでしたか？ 停電中は留守録音しません。	☞ 95
	• 留守番状態を解除していませんか？	☞ 73
相手の用件を最後まで録音しない。	• 相手の声が小さすぎたり、言葉が途切れて約7秒以上黙ったままでいると電話は切れてしまいます。	☞ 72
用件を録音できない。	• 用件が満杯ではありませんか？不要な用件は消去してください。	☞ 78
用件を録音した時間（タイムスタンプ）が実際とずれる。	• 日付、時刻の設定は合っていますか？	☞ 15
	• 電源アダプターを抜いたか停電がありませんでしたか？日時の設定をし直してください。	☞ 15
自作応答メッセージが流れない。	• 自作応答メッセージが正しく録音されていますか？	☞ 75
	• 応答メッセージを切り換えていませんか？	☞ 76

外出先からリモコン操作するとき

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
6回ベルを鳴らしても応答しない。	• 留守番状態を解除しているのではありませんか？	☞73、82
	• ベルの鳴る回数を変えていませんか？	☞ 77
暗証番号を押しても受け付けない。	• ダイヤル回線の電話ではありませんか？プッシュホン（トーン）信号を出す機能のある電話機の場合はプッシュホン信号に切り換えてください。 ない場合は、プッシュ回線の電話（公衆電話など）からかけ直してください。	☞ 80
暗証番号を押すとすぐ「暗証番号を押してください」が流れる。	• 電話機に登録した暗証番号と違う番号を押していませんか？暗証番号を3回間違えると電話は切れます。	☞ 80

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
(#)(0)(#)と押しても留守番状態にならない。	• 用件が満杯ではありませんか？不要な用件を消してから、やり直してください。	☞78、81
本機と同じ回線につないだファクシミリが動作してしまう。	• ファクシミリのリモコンモードに入っていませんか？ファクシミリのリモコン命令番号を変更してください。	—
「恐れいりますが、186を最初にダイヤルしてからおかけ直しください」が流れる。	• 非通知おことわり設定していませんか？（ただし、おことわりメッセージが流れている間に暗証番号を押すと、リモコン操作はできます。）	☞ 37

外出先へ用件を転送するとき

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
外出先で転送されてきた用件が聞けない。	• 転送先の電話がダイヤル回線ではありませんか？プッシュ回線またはプッシュホン信号の出せる電話でないと用件は聞けません。	☞ 83
用件の転送ができない。	• 暗証番号を登録してありますか？暗証番号を登録していないと転送はできません。	☞ 79
	• 転送先の電話番号を登録してありますか? 登録していないときや、他の番号を登録してあるときは、登録し直してください。	☞ 84

警告音

	こんな警告音が聞こえたら	もう一度お確かめください…
子機	「ピッ…..ピッ…..（3秒間隔）」	• バッテリーが消耗しています。子機を充電台に戻して充電してください。通話中のときは、通話を切るか、18ページの方法で親機で続けて通話することもできます。
	「ピッ・ピッ・ピッ…（1秒間隔）」	• 親機との距離が通話可能な範囲（見通しで約50〜100m)を越えています。約15秒間で通話が切れてしまうので、通話できる距離まで近づいてください（☞11ページ）。
		• 親機のアンテナをまっすぐ立ててください。
	「ピー・ピー・ピー・ピー・ピー」	• 子機でかけようとしたが、親機（または他の子機）で通話中または何らかの操作中のとき。 ➔このとき電話はかけられません。
		• 子機でかけようとしたが親機から離れすぎているとき。 ➔親機に近づいてみてください（☞11ページ）。
		• 子機でかけようとしたが停電のとき。 ➔このとき子機では電話はかけられません（☞95ページ）。
親機・子機共通	「ピー・ピー・ピー・ピー・ピー」	• 親機でかけようとしたが、子機で通話中または何らかの操作中のとき。 ➔このとき電話はかけられません。
		• 登録操作をしようとしたが、親機、または他の子機が通話中のとき。 ➔通話を切ってから操作をやり直してください。
		• 親機の設置場所をご確認ください（☞10ページ）。
	「ピピピピピ」	• 登録操作が間違っているとき。
	「プーッ・プーッ・プーッ（話し中の音）」	• 充電台の電源コードが抜けてtalkボタンの ランプが点灯していませんか？ ➔充電台を電源コンセントにつないでください。
		• 親機の受話器がはずれていませんか？

アルファベットで始まる表示が出たら、次ページをご覧ください。

自己診断表示（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機には自己診断表示がついています。これは本機が正しく動作していないときに、表示窓にアルファベットと数字の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。
以下の表をご覧になり、各表示にあった対応をしてください。

表示	原因	対応のしかた
C42 FULL 子機 「C42メモリフル」	• 親機・子機の電話帳のメモリー満杯時にさらに登録しようとした。	不要な電話帳を消去してください（☞45ページ）。
	• おことわり先が10件登録されているときにさらにおことわり先登録を行おうとした。	不要なおことわり先を消去してください（☞38ページ）。
	• 未消去用件が多く残っているときに応答メッセージ録音や呼び出し音声録音を行った。	不要な用件を消去してください（☞78ページ）。
	• 未消去用件が多く残っているときに留守設定を行った。	不要な用件を消去してください（☞78ページ）。
	• 録音用のメモリーが満杯時に応答メッセージ録音、または呼び出し音声録音を行った。	不要な用件を消去してください（☞78ページ）。
	• 録音用のメモリーが満杯時に留守設定、または転送設定を行った。	不要な用件を消去してください（☞78ページ）。
C43	• 子機が使用中のため、親機の操作ができない。	子機の通話を終えてから操作してください。
C51 子機 「C51ソウサエラー」	• 制限時間内に有効な操作をしなかった。	操作をやり直してください。
	• 登録できる桁数より、多くまたは少なく入れようとした。	正しい桁数で登録してください。
子機 「C52ヨヤクズミ」	• ある子機で優先着信設定済みのときに、別の子機で設定しようとした。	設定済み子機の設定を解除してから操作してください。
子機 「C52ニチジセッテイ」	• 現在時刻を設定せずにモーニングコールの時刻を設定しようとした。	日時・時刻を設定してから、やり直してください（☞15ページ）。
C61 子機 「C61ムコウ」	• 登録時、無効なボタンを押した。	正しいボタンを押し直してください。
	• 未再生用件が残っているときに消去しようとした。	用件をすべて再生してください。
	• 子機間通話操作で、内線通話できない子機番号を選んだ。またはメロディー転送で、転送できない子機番号を選んだ。	増設子機SPP-HG600は子機間通話、またはメロディー転送はできません。
C62 子機 「C62ミトウロク」	• 暗証番号が未登録のまま転送設定を行った。	暗証番号を登録してから操作してください（☞79ページ）。
	• 転送先電話番号を登録せずに転送設定を行った。	転送先を登録してから操作してください。
	• メロディーを登録せずに設定または転送設定を行った。	メロディーを登録してから操作してください。
C72	• 電話回線がとだえた。	電話回線コードが正しく接続されているか確認してください（☞12ページ）。
		電話回線コードに重いものがのっていたり、何かにはさまれていたりしないか確認してください。
	• 受話器が上がりっぱなしになっている。	受話器を戻してしばらくお待ちください。
C73 子機「C73」	• 子機でベルが鳴る前に出ませんでしたか？	子機でベルが鳴ってから出てください。
	• 子機で着信記録が正しく受信されなかった。	親機で着信データを確認してください。
C74	• FAX、モデム、ISDN回線のターミナルアダプターをつないでいませんか？	これらの機器をつないでいると、ナンバー・ディスプレイが正しく受信されない場合があります。FAX、モデム、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。
	• ナンバー・ディスプレイが正しく受信されなかった。	回線事情や雑音によってナンバー・ディスプレイの情報が正しく受信できなかったときは、電話番号が表示されません。この場合、「C74」という表示が出ますが、本機は正常に動作しているので、そのままお使いいただけます。
		この表示が頻繁に出るときは、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

機器名	SPP-VC111
適合認定番号	親機の底面に記載
ダイヤル方式	回転ダイヤル回線/プッシュホン回線切り換え可能
付属品	受話器（1個） 受話器コード（1本） 電話回線コード（長さ2m）（1本） 電源アダプターAC-T34（長さ1.8m）（1本） バッテリーパック（充電式ニカド電池）BP-T50（子機用）（1個） 子機（1台） 充電台（1台） 「77セレクティ」パンフレット（1式） 取扱説明書（1部） 保証書（1部） ソニーご相談窓口のご案内（1部）

親機

電源	付属の電源アダプターAC-T34使用 （入力：AC100V、10VA、50/60Hz 出力：DC9V）
消費電力	着信待機時：約1.5W 動作時最大：約3W
最大外形寸法	約182×83×199mm （幅/高さ/奥行き、アンテナ含む）
質量	約610g
保留メロディー	「主よ、人の望みの喜びを」

子機

電源	バッテリーパック（充電式ニカド電池） （BP-T50、DC2.4V、600mAh、Ni-Cd）
充電時間	約10時間
バッテリーの使用可能時間	待ち受け時：約240時間（約10日間） 連続通話時：約6時間
最大外形寸法	約48×189×40mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約165g（付属のバッテリーを含む）

充電台

電源	AC100V
最大外形寸法	約78×59×105mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約140g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売り品

- 増設用子機SPP-HC333、HC111、HG600
  別売りの子機をあと2台増やすことができます。
  －SPP-VC111の子機として増設できるのは、上記の指定された別売りの増設用子機のみです。ソニー製の他の電話機に付属の子機はお使いになれません。
  －子機を増設してお使いいただくためには、IDコードの登録が必要です。コードレス子機をお買い上げの際、必ず親機と付属の子機をご持参のうえ、お買い上げ店でIDコードを登録していただくよう、お願いいたします（IDコードの登録は有料となります）。
- バッテリーパックBP-T50
- 壁かけ用アダプターTL-E96

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、電話機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：**SPP-VC111
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **お買い上げ年月日**

アフターサービスを依頼するときは

必ず親機とすべての子機・充電台（増設子機を含む）とバッテリーをお持ちください。すべてそろっていないと修理できないことがあります。

 つづく→

親機

イラストはクールメタリックモデルを使用しています。

directory(電話帳)ボタン
(☞45、46、47)

flash/program(キャッチ／登録)
ボタン(☞8、60)

select/ringer/handset/speaker
(選択／ベル／受話／スピーカー音量)
ー/＋ボタン(☞19、21、29、32、
41、51、66)

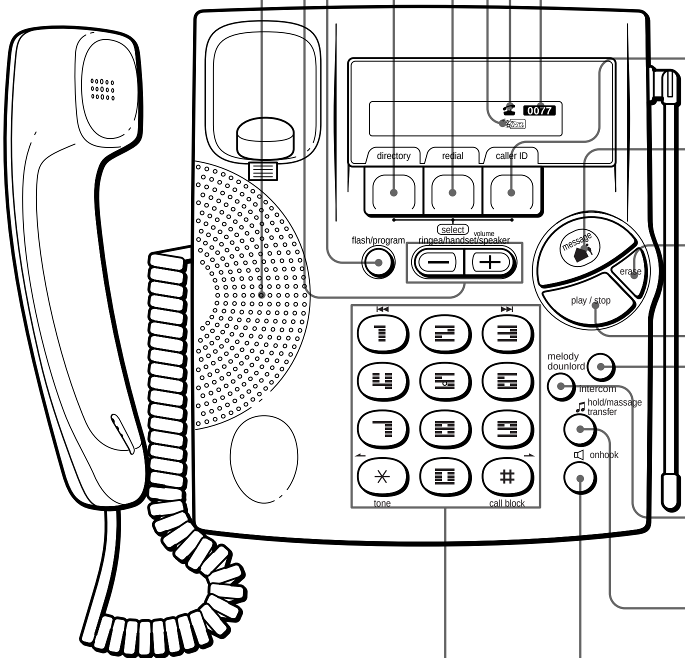
スピーカー(☞29)

redial (再ダイヤル)ボタン
(☞44、58)

名のってる表示
(☞30)

通話／着信表示
(☞19、22)

77セレクティ表示(☞87、88)



caller ID(着信記録)ボタン
(☞32、43)

message(留守)ボタン
(☞72、73)

erase(消去)ボタン(☞35、59、
78)

play/stop(再生／停止)ボタン
(☞73、75、78)

melody download(えらんでメロディ)ボタン(☞92)

intercom(内線)ボタン
(☞23、27)

hold/message transfer(保留／
用件転送)ボタン(☞22、84)

on hook(オンフック)ボタン
(☞29)

ダイヤルボタン
- (＊)(tone)ボタン(☞8、49、61)
- (＃)(call block)ボタン(☞8、36、49)
- (1)(I◀◀)ボタン(☞74)
- (3)(▶▶I)ボタン(☞74)

その他

表示窓

次の表示が出ます
- 日付、現在時刻（操作をしていないとき）
- ダイヤルしている電話番号
- 着信記録(☞32、43)
- 再ダイヤル(☞44、58)
- おおよその通話時間
- 登録された電話番号／アドレス番号(☞40)
- 内線・取り次ぎ情報(☞23)
- 自己診断表示(☞102)

通話中、または受話器を上げているときに点灯

本機をつなぐと約1時間後に点灯



転送設定されているときに点灯(☞85)

登録操作中に点灯

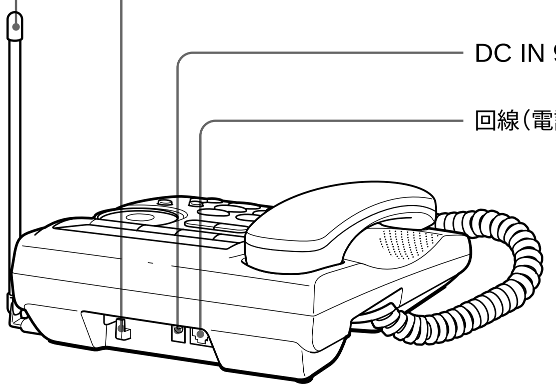
録音操作中に点灯

ナンバー・ディスプレイのおことわり機能を使うときに点灯(☞36～38)

ナンバー・ディスプレイが設定されているときに点灯(☞30)

記号は以下のように表示されます。

記号	#	＊（トーン）	ポーズ
表示	H	ト	P



アンテナ(☞12)

コードかけ(☞12)

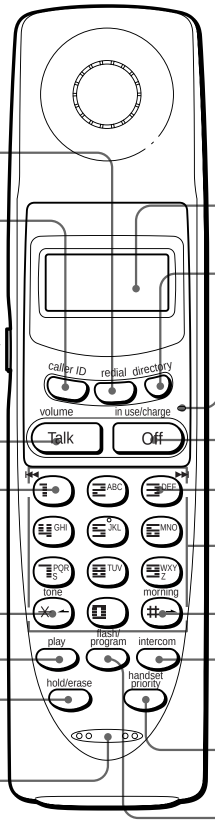
DC IN 9V(電源接続)端子(☞12)

回線（電話回線接続）端子(☞12)

つづく→

子機

イラストはクールメタリックモデルを使用しています。



redial(再ダイヤル)ボタン(☞44、58)
call ID(着信記録)ボタン(☞32､43)
子機間通話ボタン(☞26)
talk(通話)ボタン(☞20､21､23､25､27､64)
volume(音量)ボタン(☞20､21)
①(⏮)ボタン(☞74)
(＊)ボタン(☞49､58､66)
tone(トーン)ボタン(☞61)
play(再生)ボタン(☞74)
hold/erase(保留／消去)ボタン(☞22､45)
マイク

表示窓(☞下記)
directory(電話帳)ボタン(☞45､46､47)
in use/charge(着信／充電)ランプ(☞17)
off(切)ボタン(☞20､21)
③(⏭)ボタン(☞74)
ダイヤルボタン
(＃)ボタン(☞49､58)
morning（モーニング）ボタン(☞62)
intercom(内線)ボタン(☞24､25､27)
handset priority(優先)ボタン(☞65)
flash/program(キャッチ／登録)ボタン(☞9､60)

表示窓

次の表示が出ます
- ダイヤルしている電話番号
- 着信記録(☞32､43)
- 再ダイヤル(☞58)
- おおよその通話時間
- 登録された電話番号／名前(☞40)
- 内線・取り次ぎ情報(☞23､24)
- モーニングコール設定／設定された時間(☞62､63)
- 自己診断表示(☞102)



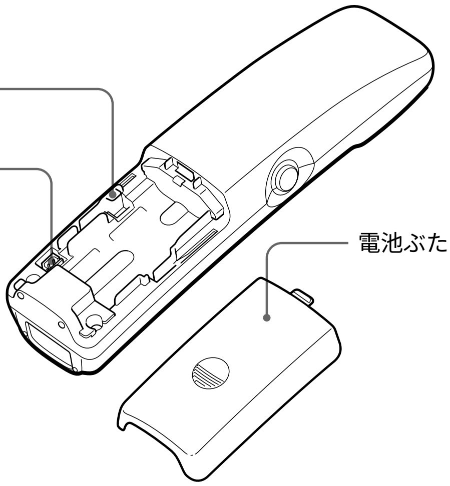
着信記録を使用しているときに点灯(☞32)

再ダイヤルを使用しているときに点灯(☞58)

モーニングコールが設定され、予約されているときに点灯(☞62､63)

バッテリーが消耗したときに点灯(☞18)

その他



コードかけ(☞17)
電池コネクター(☞17)
電池ぶた(☞17)

This unit is for the use in Japan only.

Table of contents

Getting Started

Basics

Telephone Features

Answering Machine Features

Additional Information

►Getting Started

Checking the package contents

Make sure you have received the following items in the package.

- Receiver
- Base phone
- Handset
- Handset charger
- Telephone line cord (length: 2m)
- AC power adaptor (cord length: 1.8m)
- Receiver cord
- Rechargeable battery pack
- Operating instructions
- "77 SELECTY" brochure (1 set)
- Warranty
- Sony information center address list

Choosing the location for the base phone

- Where you place the base phone affects the reception quality of the handset.
  Be sure to place the base phone:
  - Away from television sets and other electronic equipment
  - Away from noise sources such as a window by a street with heavy traffic
  - Away from personal computers, microwave ovens or other equipment that generates magnetism.
- To protect the unit from damage, place the base phone:
  - Away from heat sources, such as radiators, airducts and sunlight
  - Away from excessive moisture, extremely low temperature, dust, mechanical vibration or shock
  - Away from an inclined or unstable place.
- If severe noise is heard, move the base phone to another location.
- If the unit is used near a broadcasting facility or radio programs interfere with the telephone conversation quality, contact your nearest Sony dealer.
- When using more than one cordless telephones,
  - Do not connect both telephones to the same telephone line. If you do, the phones may not operate correctly.

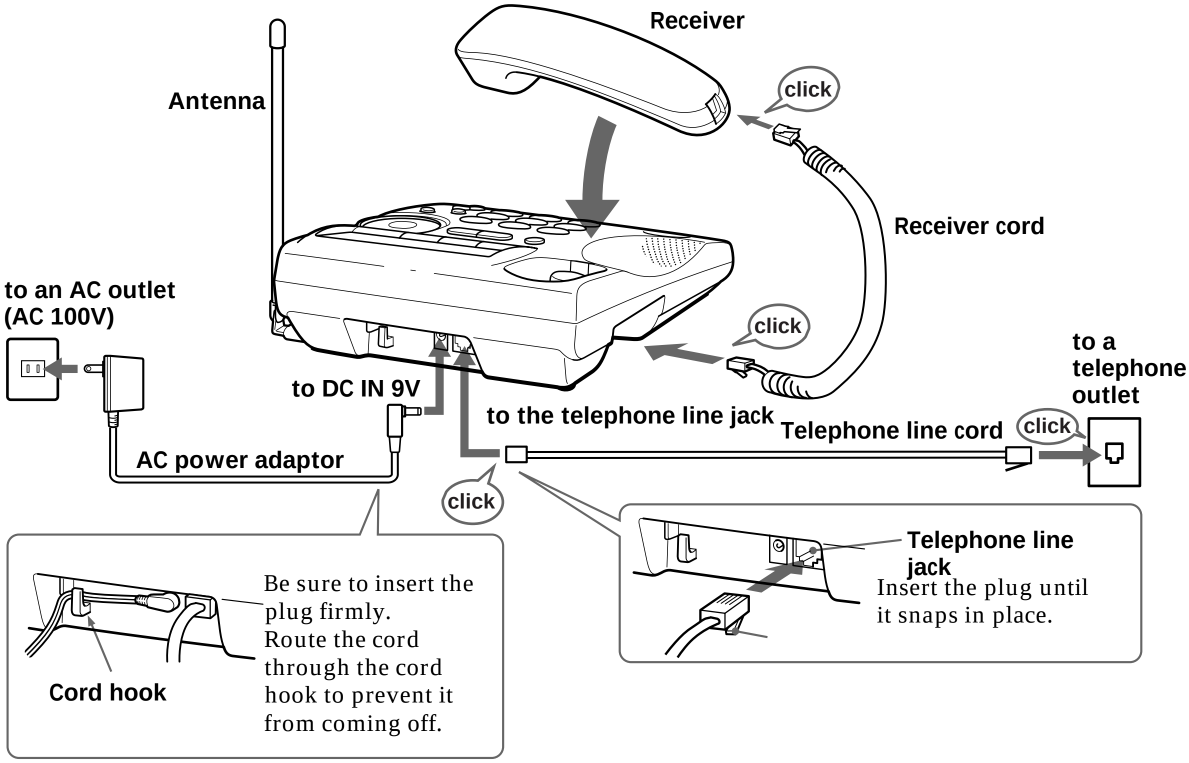
Transmission range of the handset

- The handset can be used within the range of approximately 50 to 100 meters from the base phone. However, operating conditions greatly affect the range. When you operate the phone for the first time, make sure that the handset is within the transmission range.
  When using more than one handset, you can talk between handsets when the handsets are within the range of approximately 25 to 50 meters from the base phone.
- Make sure the base phone antenna points to the ceiling.
- If the handset is too far from the base phone, it may not be possible to make or receive calls. If you hear an intermittent beep, move the handset closer to the base phone. The call may be cut off after approximately 15 seconds if the handset is kept away from the base phone for too long.

Preparations

1 Connecting the base phone

Connect the base phone to the telephone outlet and to an AC outlet.



1 **Connect the receiver to the base phone and place it on the base phone.**

2 **Connect the telephone line cord to the base phone and to a telephone outlet.**

3 **Connect the AC power adaptor to the DC IN 9V jack and to an AC outlet (AC 100V).**

4 **Raise the antenna. Make sure it points towards the ceiling.**

After you connect the AC power adaptor, the unit starts initializing the built-in answering machine. Wait for approximately 30 seconds until a beep is heard.

Notes

- Insert the receiver cord and the telephone line cord until the plugs snap in place.
- Do not bundle the telephone line cord or the AC power adaptor cord. If you do, interference noise may be heard.

What is 0077 SELECTY (77 SELECTY)?

"77 SELECTY" is a features of this phone with which the unit automatically selects the 0077 long-distance service of either KDDI or NTT whichever is cheaper. The selection is made when you place a long-distance call and depends on the telephone number you are calling, day of the week and the time of day. You do not need to dial 0077 before making your call.

This feature is activated about one hour after you have completed the connection of the base phone. There is no registration fee; you only have to pay the charges for the 0077 long-distance calls you made.

- NTT basic fees apply as usual.
- If you have any questions, please call to toll-free:
  KDDI Customer Service Center
  0077-772 (9:00 a.m. - 21:00 p.m. daily)

2 Setting the date and time

Use the buttons on the base phone.

1 Press (flash/program) and (2) continuously with the receiver on the base phone.
A voice guide is heard.

2 Enter the proper number for the year, month and day.
For the year, enter the last two digits.
For example, to set the date to December 5, 2000, press (0) (0)(1)(2)(0)(5).

3 Set the time.
The unit uses the 24-hour system.
To enter a number smaller than 10, press (0) first.
For example, to set the time to 10:06 PM, press (2) (2)(0) (6).

4 Press (flash/program).
A beep is heard and the clock starts.

Notes

- If a power interruption occurs, the day and time will be reset to January 1, 2000. Set the date and time again.
- If the current day and time are not set, you will not be able to set the time for a morning call.
- If an error beep is heard after step 4, go back to step 1 and follow the steps all over again.
  Make sure you enter the correct numbers in steps 2 and 3.

3 Choosing the dialing mode

This unit automatically selects the appropriate dialing mode (tone or pulse) for your telephone line. However, if the call cannot connect , follow the steps below to select an appropriate dialing mode.

1 Press (flash/program), (*) and (3) continuously with the receiver in place on the base phone.
A voice guide is heard.

2 Press (3).

3 Press (flash/program).
A beep is heard.

4 Make a trial call.
If the call connects, your dialing system is tone.

If the call cannot connect

Your dialing system is pulse.
Repeat the above steps and press (2) (20PPS) in step 2. If the call still cannot connect, press (1) (10PPS) in step 2.

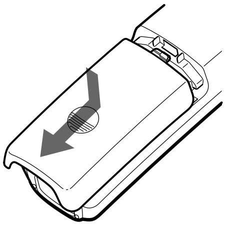
4 Charging the battery pack

Warning

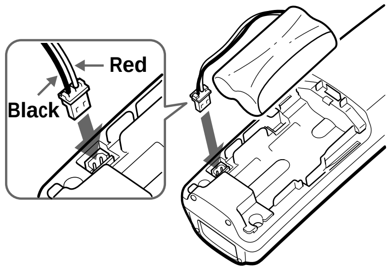
- Do not peel off or scratch the plastic cover on the battery pack.
- Do not twist the cords of the battery pack.

Charge the battery pack for more than 10 hours before you start using your phone.

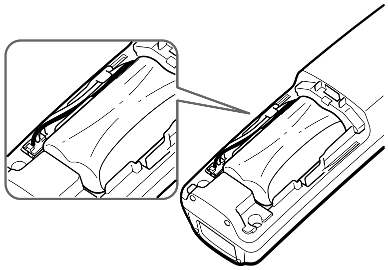
1 Slide open the battery compartment lid of the handset.



2 Connect the battery connector with the correct polarity (black and red cords).



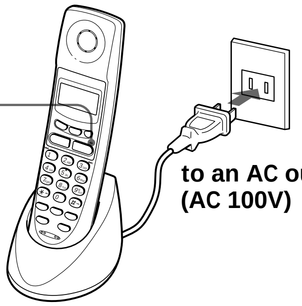
3 Hook the cords and insert the battery pack.



4 Close the lid.

(continued)

5 Connect the charger to an AC outlet and place the handset on the charger.
Make sure you place it with the button side facing out.



Note

Do not disconnect the charger cord while the battery pack is being charged.

Battery duration

A fully charged battery pack lasts for
– approx. 6 hours when you use the handset continuously, and
– approx. 240 hours (10 days) when the handset is left unused without being placed on the charger.

If you are not going to use the handset for more than 10 hours, fully charge the battery pack and remove the battery pack from the handset.

If the battery pack is exhausted while in use

(battery icon) flashes on the display and a short beep is heard. In order to talk on the base phone, do the following:

1. Press (hold/erase) on the handset.
2. Place the handset on the charger or press (off).
3. Pick up the receiver from the base phone.

Return the handset to the charger and have it charged for more than 10 hours.

When to purchase a new battery pack

If the battery lasts only for a few minutes even after 10 hours of charging, the usable life of the battery has expired and the battery pack must be replaced. Contact your local Sony dealer or service center and ask for a Sony BP-T50 rechargeable battery pack.
We recommend you return the handset to the charger for charging after every use.

▶*Basics*

Making calls

On the base phone

Pick up the receiver and if you hear a dial tone, dial the number using the number buttons.

When you finish talking

Return the receiver to the base phone.

Note

If "C43" appears in the display window, a handset is in use.

To adjust the volume

During phone conversation, press volume (+) or (–).

On the handset

1 Pick up the handset from the charger.
If the handset is not on the charger, press (talk).

2 Dial the number using the number buttons.

When you finish talking

Return the handset to the charger or press (off).

Tip

To prolong the battery life, we recommend you return the handset to the charger after every use.

Note

If you hear a long continuous beep when you press (talk), the base phone is in use and you cannot use the handset.

To adjust the volume

During a phone conversation, press (talk) (volume). Each press on the button switches the volume between high and low.

Receiving calls

On the base phone

Pick up the receiver when the phone rings.

On the handset

Pick up the handset from the charger when the phone rings.
If the handset is not on the charger, press (talk).

When you finish talking

Base phone:
Return the receiver to the base phone.
Handset:
Return the handset to the charger or press (off).

If you do not answer the phone

After ringing 15 times, a message asking the caller to call back will be heard.

When you receive another call during a conversation

Press (flash/program).
To return to the previous call, press the button again.

Note

The handset starts ringing after the base phone rings once or twice. Pick up the handset only after the handset starts ringing.

To adjust the volume

Base phone: During a phone conversation, press volume (+) or (−).
Handset: During a phone conversation, press (talk) (volume). Each press on the button switches the volume between high and low.

Putting a call on hold

While talking via the base phone

1 Press (hold/message transfer) during a phone conversation.
The in use indication will flash on the display and a melody is heard.

2 To resume conversation, press (hold/message transfer) again.

To resume conversation on the handset after putting a call on hold on the base phone

Return the receiver to the base phone and pick up the handset from the charger or press (talk).

Tips

- Returning the receiver to the base phone after step 1 does not hang up the phone. Just pick up the receiver to resume the conversation.
- After step 1, you can transfer a call by pressing (intercom).
- You can also put a call on hold during on-hook dialing.

While talking via the handset

1 Press (hold/erase) during a phone conversation.
The (talk) button will flash.

2 To resume conversation, press (hold/erase) again or press (talk).

To resume conversation on the base phone after putting a call on hold on the handset

Return the handset to the charger or press (off). A melody is heard through the base phone speaker. Pick up the receiver to resume the conversation (or to resume a conversation on another handset, pick that handset up from the charger or press (talk).)

Tips

- Returning the handset to the charger after step 1 does not hang up the phone. Just pick up the handset or press (talk) to resume the conversation.
- After step 1, you can transfer a call from the handset to the base phone by pressing (intercom). If you have more than one handset, you can transfer a call from one.

Switching phones during a call

To switch from the base phone to the handset

1 When using one handset:
Press (intercom) during a phone conversation.
When using more than one handset:
Press (intercom) during a phone conversation, and then press the handset number.

To switch to	Press
Handset 1	(1)
Handset 2	(2)
Handset 3	(3)
All handsets at the same time*	(#)

* The phone connects to the first answered handset.

The phone is put on hold and a melody is heard.

2 When the handset rings, pick it up from the charger, or press (talk) when the handset is not on the charger.

(continued)

Switching phones during a call (continued)

3 Tell the person on the handset that you are switching phones.

4 Place the receiver on the base phone.

If nobody answers

Press (intercom) to resume conversation on the base phone.

Tips

- When using more than one handset, "H (all handsets)" and all the handset numbers are displayed.
- You can switch phones after putting the call on hold by pressing (hold/message transfer).
- If you return the receiver to the base phone after pressing (intercom), a melody is heard from the base phone speaker. The call can be answered either on the base phone or on a handset.
- If an intercom call is terminated on the handset after step 3, you can resume the conversation on the base phone.

Note

The time counter displayed on the handset after switching from the base phone shows the duration of operation from the moment you started talking on the handset.

To switch from the handset to the base phone

1 When using one handset:
Press (intercom) during the phone conversation.
When using more than one handset:
Press (intercom) and (0) during a phone conversation.
The phone is put on hold and a melody is heard.

2 When the base phone rings, pick up the receiver.
You cannot use on-hook dialing.

3 Tell the person on the base phone that you are switching phones.

4 Place the handset on the charger or press (off).

If nobody answers

Press (intercom) or (talk) to resume the conversation on the handset.

Tips

- You can switch phones after putting the call on hold by pressing (hold/erase).
- If you return the handset to the charger or press (off) after pressing (intercom), a melody is heard from the base phone speaker. The call can be answered either on the base phone or on a handset.
- If an intercom call is terminated on the base phone after step 3, you can resume the conversation on the handset.

To switch from one handset to another (when using more than one handset)

1 Press (intercom) during a phone conversation.

2 Press the handset number.
For example: To switch from handset 1 to handset 2, press (2) on handset 1.

The phone is put on hold and a melody is heard.

3 When the handset rings, pick up the handset from the charger or press (talk) when it is not on the charger.

4 Return the handset to the charger after switching.

If nobody answers

Press (intercom) or (talk) to resume the conversation on the handset.

Tips

- You can switch phones after putting the call on hold by pressing (hold/erase).
- On the switched handset, the handset number you are using is displayed.
- When using more than one handset, the handset you are using displays the numbers of the base phone number ("0") and the other handsets.

To talk between the handsets

You can talk between two handsets like talking on walkie-talkies

For example: calling from handset 1 to handset 2

1 Press (intercom) on handset 1.
2 When handset 2 rings, pick up the handset from the charger or press (talk) when it is not on the charger.
3 Keep pressing (子機間通話) and talk on handset 1 after you hear the beep tone.
4 When you finish talking, release (子機間通話).
5 To talk on handset 2, keep pressing (子機間通話) on handset 2 and talk.
When you finish talking, release (子機間通話).

Operating Instructions

Talking between the phones (intercom)

To talk from the base phone to the handset (when using one handset)

1 Base phone: Pick up the receiver and press (intercom).
The handset starts to ring.

2 Handset: Pick up the handset from the charger or press (talk).
You can start talking between the handset and the base phone.

3 When you finish talking, return the receiver to the base phone, or return the handset to the charger or press (off).

To talk from the base phone to the handset (when using more than one handset)

1 On the base phone: Pick up the receiver and press (intercom).

2 Press the handset number.

To talk to	Press
Handset 1	(1)
Handset 2	(2)
Handset 3	(3)
All handsets at the same time*	(#)

*The phone connects to the first answered handset.

The handset starts to ring.

3 Handset: Pick up the handset from the charger or press (talk).
You can start talking between the handset and the base phone.

4 When you finish talking, return the receiver to the base phone, or return the handset to the charger or press (off).

To talk from the handset to the base phone

1 When using one handset: Pick up the handset from the charger and press (intercom).
When using more than one handset: Pick up the handset from the charger, and press (intercom) and (0).
The base phone starts to ring.

2 Base phone: Pick up the receiver.
You can start talking between the handset and the base phone.

3 When you finish talking, return the receiver to the base phone, or return the handset to the charger or press (off).

To talk from one handset to another (when using more than one handset)

1 Pick up the handset from the charger or press (talk) and press the handset number.

To talk to	Press
Handset 1	(1)
Handset 2	(2)
Handset 3	(3)
All handsets and base phone at the same time*	(#)

*The phone connects to the first answered handset or the base phone .

The handset starts to ring.

3 When the handset rings, pick up the handset from the charger or press (talk).
You can start talking between the handsets like as a transceiver (see "To talk between two handsets" on page 114).

4 When you finish talking, return the handset to the charger or press (off).

To interrupt an intercom call

Press (intercom) again.

If you receive a call while making an intercom call

The intercom call is interrupted. You have to receive a call either on the base phone or the handset.
Base phone: Return the receiver to the base phone and pick it up again.

Handset: Press (talk) after the handset rings.

Notes

- On the handset, a beep sounds before ringing.
- Return the receiver to the base phone even when you answer the call on the handset.

On-hook dialing

You can make a call without picking up the receiver. This is convenient when you wish to check who is calling before answering or when you wish to listen to a time announcement or weather forecast.

1 Press (on hook) with the receiver placed on the base phone.
You will hear a dial tone.

2 Dial the number using the number buttons.

3 Pick up the receiver after you hear the called party's voice.
If you just listened to time announcement or weather forecast without picking up the receiver, press (on hook) again to disconnect the line.

Notes

- If the called party's voice is low, you may not be able to hear the voice clearly.
- If it is noisy, the called party's voice may be interrupted. We recommend you use this function in a quiet place.
- If you have pressed a wrong button, press (on hook) and start all over again.

Adjusting the speaker volume

The volume is factory-set to medium.
While listening to the voice or recorded messages from the speaker,
press volume (+) or (−).

Switching between on-hook dialing and normal conversation

To switch from on-hook dialing to normal conversation, pick up the receiver.
To switch to on-hook dialing while speaking into the receiver, press (on hook).

Using the phone directory

Storing phone numbers in the phone directory

You can dial a number by scrolling through the phone directory, in which up to 20 phone numbers can be stored.

Base phone:

1 Press (flash/program) and (1) continuously with the receiver placed on the base phone.
The smallest program number available is displayed.

2 Press (+) or (−) to display the desired program number.

3 Press (flash/program).

4 Enter the phone number you wish to store.
You can enter up to 20 digits. Make sure you enter the area code first.

5 Press (flash/program).
A beep will sound for confirmation.

Handset:

1 Press (flash/program) and (1) continuously when a call is not in progress.
"ナマエ?" is displayed.

2 Enter the name using the dialing buttons.
You can enter up to 12 letters. If you do not enter a name, go ahead to step 3.

3 Press (flash/program).

4 Enter the phone number you wish to store.
You can enter up to 20 digits. Make sure you enter the area code first.

5 Press (flash/program).
A beep will sound for confirmation.

When the directory is full

After step 1, "C42 FULL" (on the base phone) or "C42メモリフル" (on the handset) will be displayed.

Tips

- If you enter a wrong number in step 4, erase the number and start from the beginning.
- Even if you store the phone number with the area code, the fee will be the same as that of a local call.

Erasing the phone number stored in the directory

Base phone:

1 Press (directory) and (+) or (−) with the receiver placed on the base phone until the number you wish to erase is displayed.

2 Press (erase).

3 Press (erase) again.
The number is erased and you will hear a confirmation beep.

Handset:

1 Press (directory) or dialing buttons when a call is not in progress until the number you wish to erase is displayed.

2 Press (hold/erase).

5 Press (hold/erase) again.
The number is erased and you will hear a confirmation beep.

Making calls from the phone directory

Base phone:

1 Press (directory) and (+) or (−) with the receiver placed on the base phone until the number you wish to dial is displayed.

2 Pick up the receiver.
The displayed phone number will be dialed.

Handset:

1 Press (directory) or dialing buttons when a call is not in progress until the number you wish to dial is displayed.

2 Press (talk).
The displayed phone number will be dialed.

Recalling phone numbers stored in the directory

Base phone:

Press (directory). Then press (+) or (−). Each press of (+) will display a stored number in the order of program number and each press of (−) will display the previous one.
When a number with the name recorded for name announcement is displayed, the name will be announced.

Handset:

Press (directory). Each press of the button will display a stored number in the order of the names: “katakana” → letters of the alphabet → numbers → marks.
When the first 4 letters are same, they are displayed in the stored order.

Checking a phone number

Base phone:

When the phone number consists of more than 8 digits, only the first 7 digits will be displayed. To display the rest of the digits, press (#) to switch the display.
(If the number is longer than 8 digits and shorter than 12 digits, the whole number is displayed automatically after one second.)

Handset:

The name is displayed first. To display the phone number, press (#). If the number is longer than 12 digits, only the first 10 digits will be displayed. To display the rest of the digits, press (#) to switch the display. To return to the previous display, press (*).

When no telephone number is stored in the phone directory

Base phone:

“ – ” is displayed for 5 seconds. If you wish to return to the previous display, press (play/stop).

Handset:

“トウロクサレテイマセン” is displayed for 5 seconds. If you wish to return to the previous display, press (off).

To stop searching the phone directory

Base phone: Press (play/stop).
Handset: Press (off).

Operating Instructions

Basic operation

Before you go out

Make sure the date and time are set correctly (see page 111).

Press (message) on the base phone so that the button lights up.

When a caller calls
The prerecorded greeting will be played back and the phone records the caller's message.

When the memory is full
The total recording time of this answering machine is approximately 10 minutes including the greeting and messages or up to 20 messages. When the memory is full, no more recordings can be made.

Tips

- You can record your own greeting. See page 119.
- You can answer the phone after checking who is calling. Pick up the receiver or press (talk) on the handset after you hear the caller's voice. The recording stops when you answer the call.

Notes

- If you hear an error beep with "C42" when you press (message), the memory is full. Erase some of the unnecessary messages before you press (message) again.
- The line is disconnected if the caller does not speak for more than 7 seconds.
- When the memory becomes full, the greeting will change to one that asks the caller to call back and no further recordings can be made.

When you come home

1 **Check the (message) button to see if there are new messages.**
If the button is flashing, there are new messages. If the button stays lit, there are no new messages.

2 **To listen to the messages with the answering machine set to on, press (play/stop).**
The messages will be played back and the time of recording is announced for each message. The button remains lit.

To turn the answering machine off and listen to the messages
Press (message) so that the lamp on the button goes off. The messages will be played back and the time and day stamp is announced after each message if you have set the date and time (page 111).

To stop playback
Press (play/stop).

To listen to the messages again
Press (play/stop).
Playback starts from the first message.

Notes

- If a call comes in, the playback will stop.
- If you listen to the messages from an outside phone, the illumination of the (message) button will not change.

Tips

- If you press (play/stop) or (message) when there are no new messages, the machine will announce that no new messages have been recorded.

Additional tasks when playing back messages

To	Do this
Erase the messages	Press (erase).
Repeat the current message	Press (1) (⏮).
Go back to the previous message	Press (1) within the first 2 seconds of the current message playback.
Skip the current message	Press (3) (⏭).
To adjust the speaker	Press volume (+) or (–).

Playing back messages on the handset

Pick up the handset from the charger, press (off) and then press (play).

You will hear the messages from the handset speaker.

To stop playback
Press (off).

Additional tasks when playing back messages

To	Do this
Repeat the current message	Press (1) (⏮).
Go back to the previous message	Press (1) within the first 2 seconds of the current message playback.
Skip the current message	Press (3) (⏭).
To adjust the speaker volume	Press (talk) (volume).

Recording a greeting

If you do not wish to use the prerecorded greeting, you can record your own greeting.

1 Press (flash/program) and (6) continuously with the receiver placed on the base phone.
A voice guide is heard.

2 Pick up the receiver and after you hear a beep, speak in to the microphone.

3 Press (flash/program) or (play/stop), or return the receiver to the base phone.
The recorded greeting is played back after a beep.

To play back the recorded greeting

Press (message) to turn on the answering machine.

To erase the recorded greeting

1 Press (erase) while the greeting is played back.
2 Press (erase) again.
You will hear a confirmation beep.

Selecting the greeting

You can select either the prerecorded greeting or your own greeting.

1 Press (flash/program), (*) and (4) continuously with the receiver placed on the base phone.
A voice guide is heard.

2 Press one of the following buttons to select the desired greeting.
(0) :to play back the prerecorded message
(1) :to play back your own greeting
(2) :to play back your own greeting only when a call is from a number stored for speed dialing or in the phone directory

3 Press (flash/program).
You will hear a confirmation beep.

Notes

- If you have not recorded your own greeting, the prerecorded greeting will be heard.
- Even if “0” is selected in step 2, “1” will be selected automatically when you record your own greeting.

Changing the number of rings

The answering machine is factory-set so that it answers a call after about 5 rings when there is no message and about 2 rings when messages have been recorded.
You can select the number of rings between 2 to 9.

1 Press (flash/program), (*) and (1) continuously with the receiver in place on the base phone.
A voice guide is heard.

2 Press a button among (2) to (9).

3 Press (flash/program).
A beep is heard and the number selected is announced.

To resume the factory setting

Press (0) in step 2.

Erasing messages

The total recording time of this answering machine is approximately 10 minutes including the greeting and messages or up to 20 messages. When no more recordings can be made, the memory is full. Erase some of the messages.
You can erase all the messages at one time or erase messages one by one.

Notes

- You cannot erase a message until you play it back once.
- You cannot erase messages from the handset.

Erasing all the messages at one time

1 Play back all messages.
2 Press (erase) with the receiver on the base phone.
3 Press (erase) again.
You will hear a confirmation beep.

Erasing messages one by one

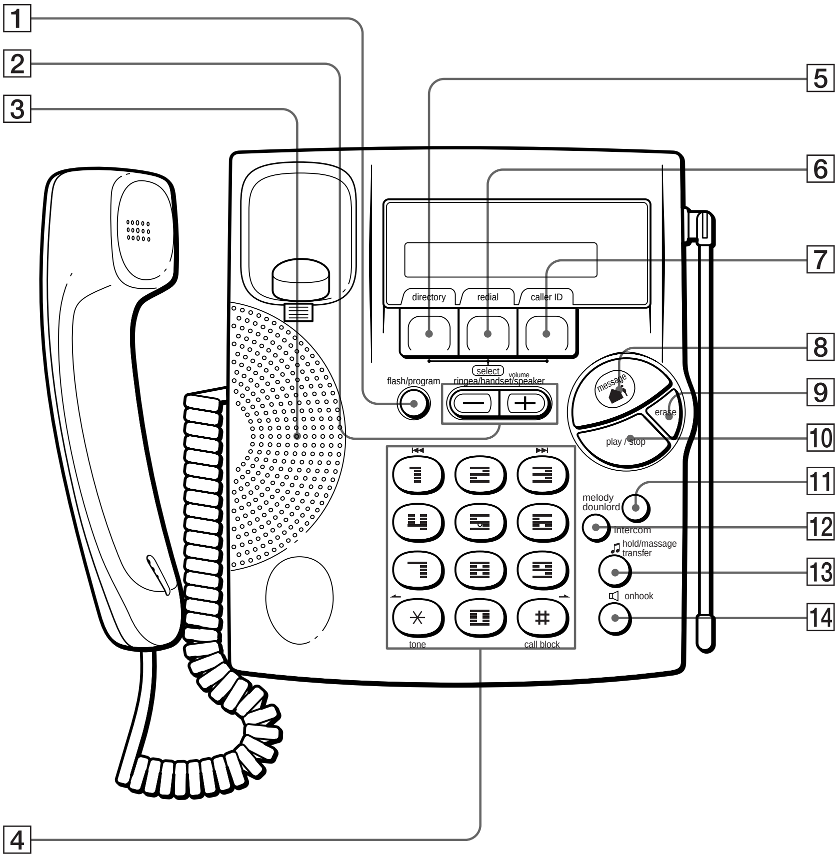
1 Play back the message you wish to erase.
2 While the message is being played back, press (erase) .
3 Press (erase) again.
You will hear a confirmation beep and playback of the next message begins.
To stop playback, press (play/stop).

Operating Instructions

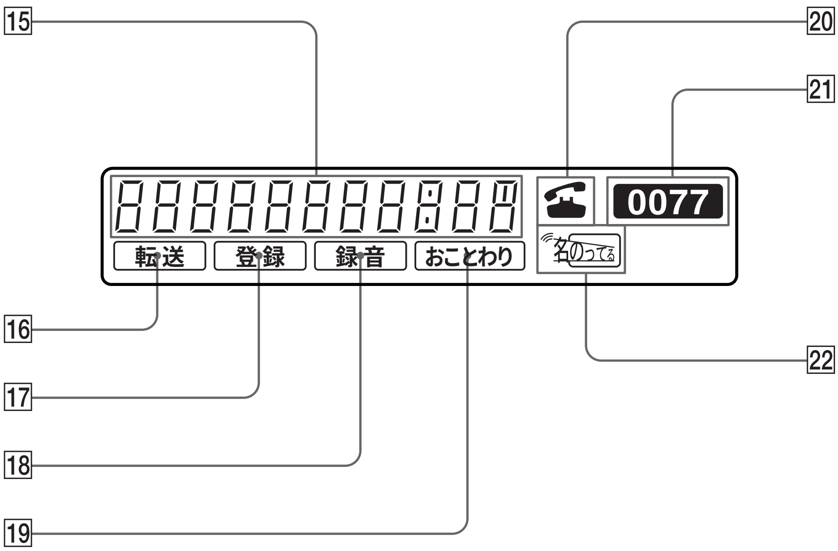
Identifying the parts

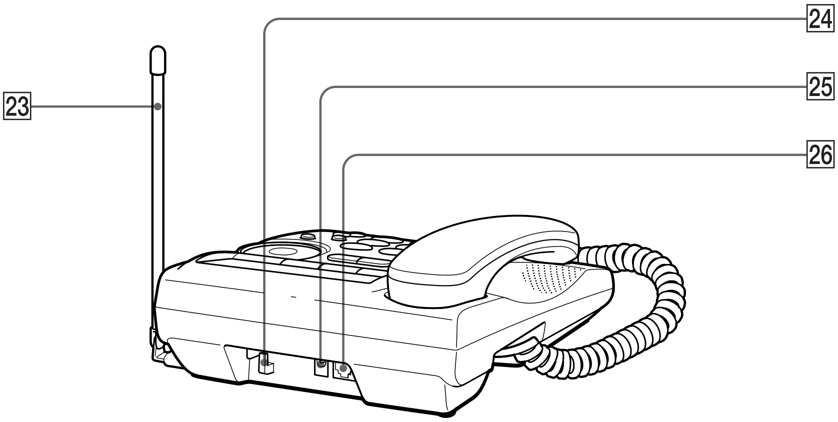
Base phone

The following illustrations are those of the metallic model.



Display window





1 **flash/program button**
Used to answer another incoming call during a phone conversation. This button also enables you to start various setting operations.

2 **select/ringer/handset speaker volume –/+ buttons**

3 **Speaker**

4 **Dialing buttons**
(✱)**(tone) button:** Used to switch temporarily to tone dialing.
(#)**(call block) button:** Used to block the call or to store numbers for blocking.
(1)**(I◀◀) button:** Used to repeat the current message.
(3)**(▶▶I) button:** Used to skip the current message.

5 **directory button**
Used to recall numbers stored in the directory.

6 **redial button**
Redials the last number called.

7 **caller ID button**
Used to recall numbers previously received.

8 **message button**
Turns on the answering machine.

9 **erase button**
Used to erase recorded messages.

10 **play/stop button**
Used to play back recorded messages.

11 **melody download button**
Used to download melody when 77 SELECTY service is available.

12 **intercom button**
Used to make an intercom call.

13 **hold/message transfer button**
Used to hold a call and to transfer a message recorded in the answering machine to a handy phone, etc.

14 **on hook button**
Used to make a call without picking up the phone.

15
- **Date, time (when not in operation)**
- **Telephone number being dialed**
- **Receive data history**
- **Redial data history**
- **Approximate duration of a telephone conversation**
- **Programed telephone number/address number**
- **Information on intercom operation**
- **Self check indications**

16 **Transfer indication**
Displayed when transfering messages.

17 **Storing indication**
Displayed when a storing is made.

18 **Recording indication**
Displayed when a recording is being made.

19 **Call block indication**
Displayed when storing numbers for blocking.

20 **In use indication**
Displayed while talking or when picking up the receiver.

21 **77 SELECTY indication**
Displayed when about one hour has passed after connection of the base phone was completed.

22 **Nanotteru indication**
Displayed when Number Display is activated.

23 **Antenna**

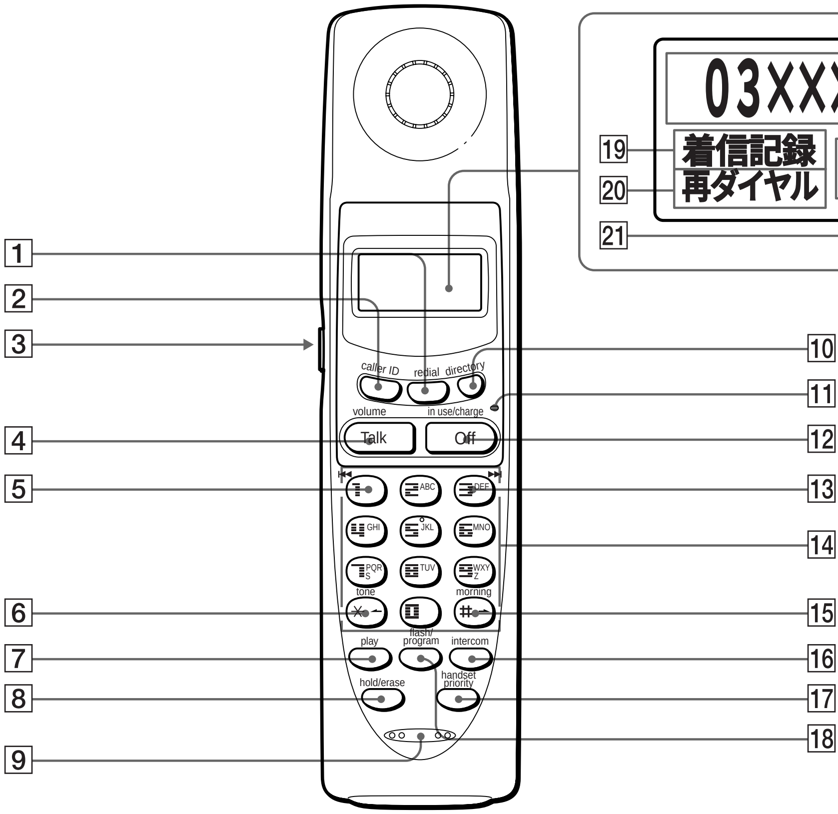
24 **Cord hook**

25 **DC IN 9V jack**

26 **Telephone line jack**

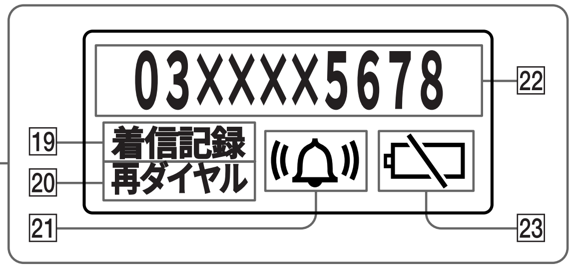
(continued)

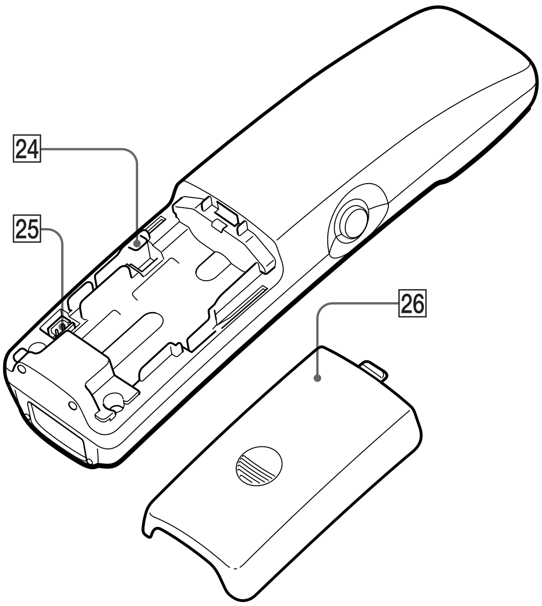
Handset



The following illustrations are those of the metallic model.

Display window





1 **redial data button**
Used to recall numbers previously dialed.

2 **caller ID button**
Used to recall numbers previously received.

3 **H/S intercom button**
Used to talk between two handsets.

4 **talk button**
volume button
Allows you to make or receive a call and to adjust the handset volume during a phone conversation.

5 **(1) (I◀◀) button**
Used to repeat the current message.

6 **(✱-) button**
tone button
Press to switch temporarily to tone dialing.

7 **play button**
Used to play back recorded messages.

8 **hold/erase button**
Used to hold a call and to modify or erase the data stored in the handset directory.

9 **Microphone**

10 **directory button**
Used to recall numbers stored in the directory.

11 **in use/charge lamp**
Lights when the phone is in use or while charging the battery pack.

12 **off button**
Disconnects a call.

13 **(3) (▶▶I) button**
Used to skip the current message.

14 **Dialing keys**

15 **(#-) button**
morning button
Used to set a morning call.

16 **intercom button**
Used to make an intercom call.

17 **handset priority button**
This button also allows the handset to ring 4 times before the base phone starts to ring.

18 **flash/program button**
Used to answer an incoming call during a conversation and allows you to start various setting operations.

19 **Receive data indication**
Displayed when the receive data directory is used.

20 **Redial indication**
Displayed when searching for a list of redfialed number.

21 **Morning call indication**
displayed when a morning call is set.

22
- **Telephone number being dialed**
- **Receive data history**
- **Redial data history**
- **Approximate duration of a telephone conversation**
- **Programed telephone number/name**
- **Information on intercom operation**
- **Morning call setting/time set for morning call**
- **Self check indications**

23 **Battery indicator**
Displayed when the battery pack is exhausted.

24 **Cord hook**

25 **Battery pack connector**

26 **Battery compartment lid**

索引

保証期間中のお取り扱いと技術的なお問い合わせは
●テクニカルインフォメーションセンターへ

フリーダイヤル　0120－51－7411
受付時間　9:00〜18:00
（土・日・祝祭日を除く）

http://www.world.sony.com/

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ……………… 0466-31-2595

受付時間：月〜金 9:00〜20:00、土・日・祝日 9:00〜17:00

Printed in Japan